第2次旭川市緑の基本計画（参考資料）・目次

1 旭川市の現況

1-1）旭川市の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-1

1-2）人口・世帯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-2

1-3）気象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-7

1-4）中心市街地の動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-9

2 旭川市のみどり

2-1）旭川市の自然と公園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-1

2-2）道路のみどり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-12

2-3）公共公益施設のみどり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-14

2-4）民有地のみどり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-15

2-5）農地のみどり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-16

3 旭川市民のみどりに対する意識

3-1）市民アンケート結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-1

3-2）みどりの市民アンケート結果 ・・・・・・・・・・・・・・・ 3-3

3-3）みどりの市民活動の動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-19

4 旭川市緑の基本計画（前計画）の概要

4-1）前計画の基本的視点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-1

4-2）前計画の課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-2

4-3）前計画の目標と基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-4

4-4）前計画の達成状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-8

5 平成26年度緑被現況調査の概要

5-1）調査方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-1

5-2）地区別緑被調査結果（H17→H26の変化）

※河川区域面積算入した場合 ・・・・ 5-4

6 保全を検討すべき樹林地 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-1

7 計画の検討経緯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-1

1　旭川市の現況

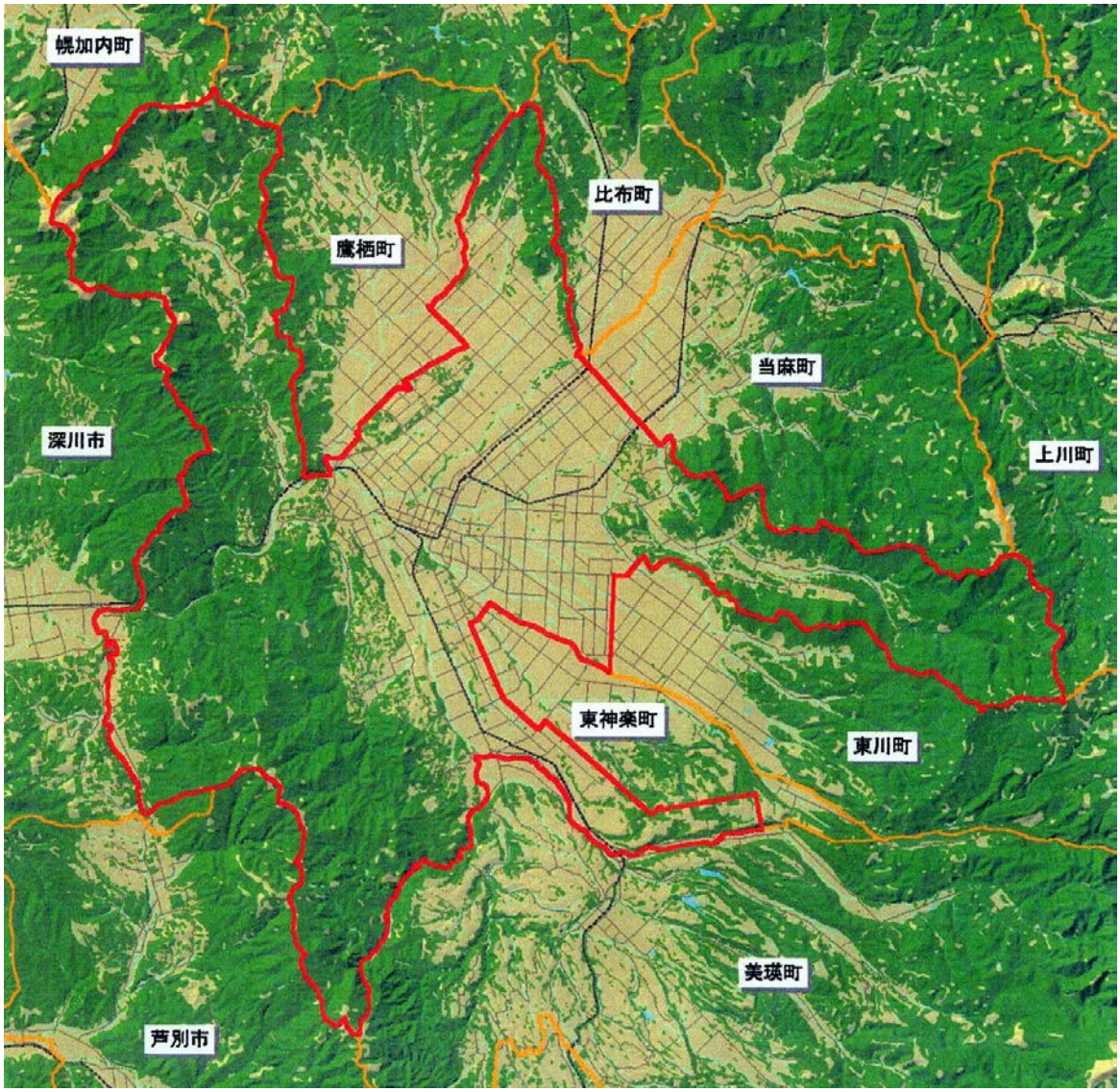
1-1)旭川市の概要

旭川市は，東経142度22分，北緯43度46分，標高111m(市役所所在地)の北海道のほぼ中央部上川盆地に位置しています。

大正11年(1922年)の市制施行時に約6.2万人であった人口は，現在では約35万人を有する北海道の中核都市となっています。

本市は，上川圏に入植した屯田兵，農業入植者のための消費提供型都市と旧陸軍の第7師団を擁する軍事都市として成長しました。戦後数年の市街地は，現在の都心周辺を中心に約20k㎡強の広がりでしたが，昭和30年代からの隣接市町村との合併の結果，現在では747.60ｋ㎡の行政面積を有し，鷹栖町や比布町，当麻町，東川町，東神楽町と楔型に接する行政域を有しています。

■旭川市の地勢



※出典：上川支庁資料

1-2)人口・世帯

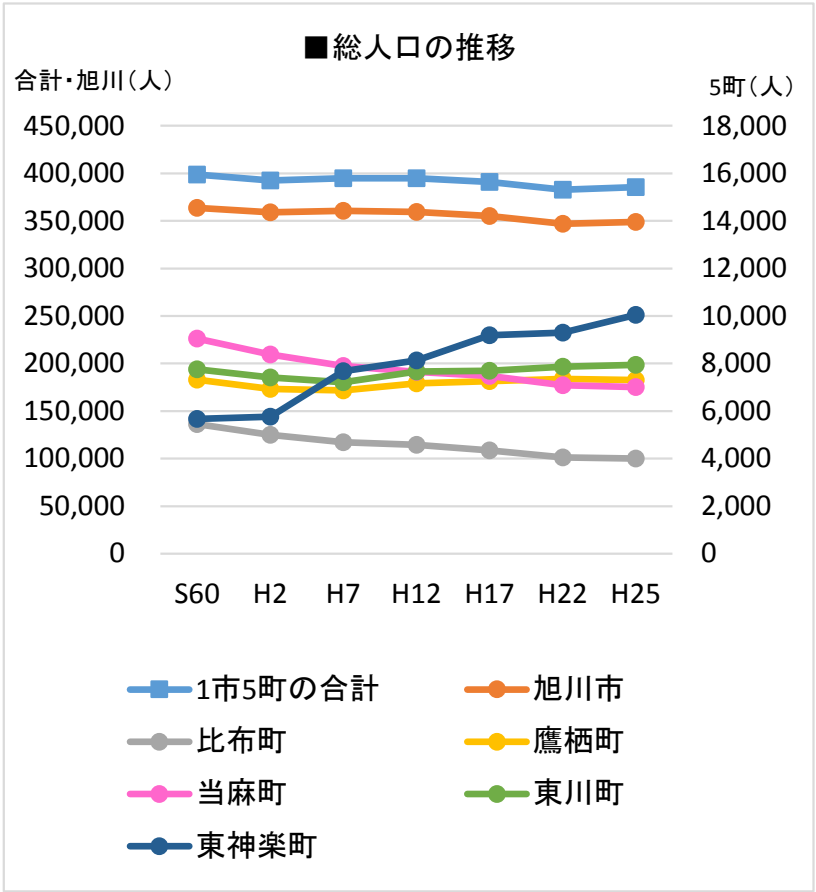
① 総人口と人口動態

旭川市の総人口は約３５万人（H25）で，推移をみると微減の傾向にあります。旭川圏内の１市５町村の合計は約38.5万人（H25）で近年，若干の増加がみられます。特に東神楽町の人口増が顕著となっています。

（人）

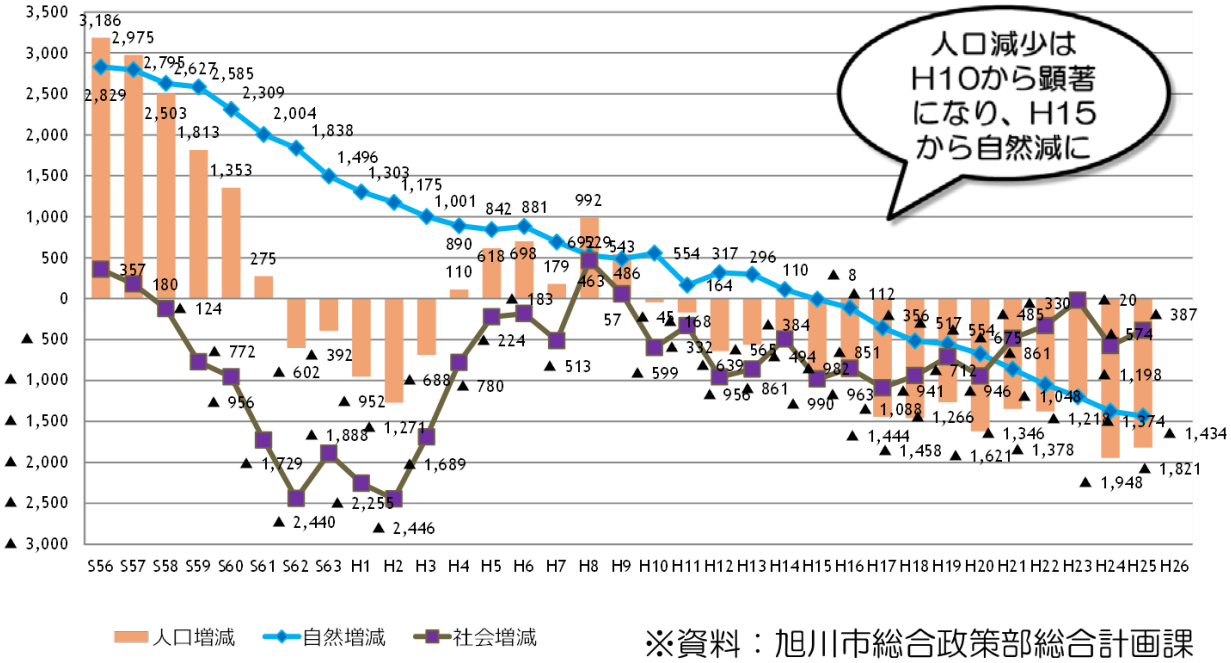
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H25
1市5町の合計	398,878	392,569	394,902	394,718	390,973	382,720	385,360
旭川市	363,631	359,071	360,568	359,536	355,004	347,095	349,057
比布町	5,457	5,004	4,683	4,576	4,340	4,042	4,000
鷹栖町	7,317	6,930	6,871	7,165	7,261	7,345	7,300
当麻町	9,044	8,383	7,893	7,643	7,473	7,087	7,005
東川町	7,760	7,418	7,211	7,671	7,701	7,859	7,948
東神楽町	5,669	5,763	7,676	8,127	9,194	9,292	10,050

※国勢調査（H25のみ住民基本台帳H26.01.01）



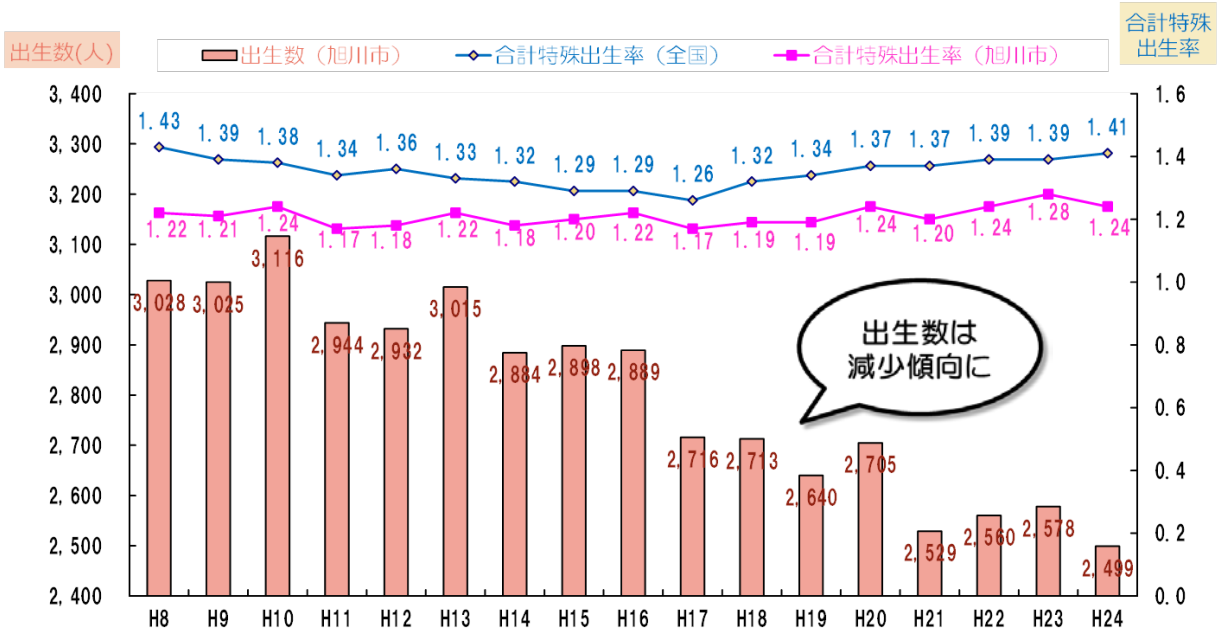
また，旭川市の人口減少は平成10年から顕著になっており自然増減は，平成15年から減少に転じています。出生率は，平成８年頃の約3,000人から現在，約2,500人程度と減少傾向が続いています。

■旭川市の人口減少の動向



※資料：旭川市総合政策部総合計画課

■旭川市の出生数の低下



※資料：旭川市総合政策部総合計画課

② 世帯数動態

旭川市の世帯数は約17.6万世帯（H25）で，推移をみると顕著な増加傾向がみられます。また，世帯人員数は，1.99人（H25）で小規模化が進んでいます。

旭川圏内の1市5町村の合計世帯数は，約19万世帯（H25）で増加傾向がみられます。いずれの市町村も世帯数，平均世帯人員数の減少傾向はほぼ同様ですが，なかでも旭川市の平均世帯人員数は2人を切るなど，小規模世帯化の傾向が顕著です。

■旭川市・周辺5町の世帯数の推移

（世帯）

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H25
1市5町の合計	133,069	138,710	149,303	158,431	163,438	167,780	191,055
旭川市	123,280	128,924	138,350	146,400	150,384	154,393	175,578
比布町	1,546	1,524	1,565	1,636	1,625	1,639	1,840
鷹栖町	1,934	1,998	2,118	2,427	2,591	2,732	3,094
当麻町	2,487	2,438	2,490	2,657	2,784	2,743	3,079
東川町	2,345	2,243	2,380	2,702	2,927	2,983	3,468
東神楽町	1,477	1,583	2,400	2,609	3,127	3,290	3,996

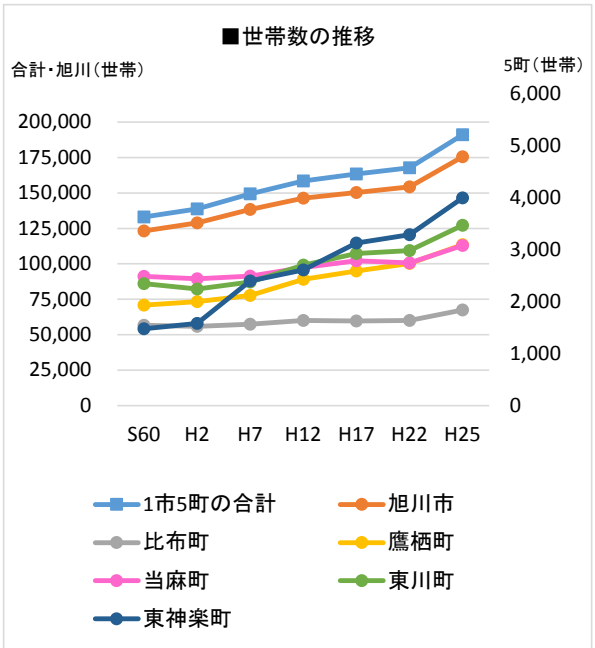
※国勢調査（H25のみ住民基本台帳H26.01.01）

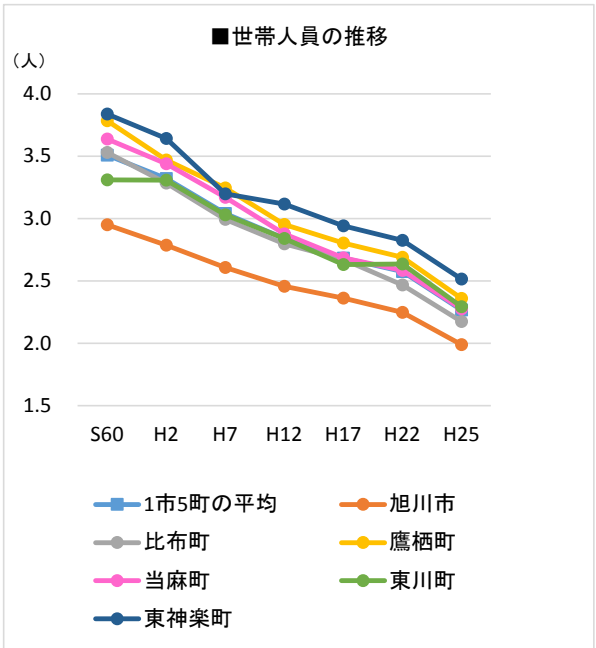
■旭川市・周辺5町の世帯人員数の推移

（人）

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H25
1市5町の平均	3.51	3.32	3.04	2.84	2.68	2.57	2.27
旭川市	2.95	2.79	2.61	2.46	2.36	2.25	1.99
比布町	3.53	3.28	2.99	2.80	2.67	2.47	2.17
鷹栖町	3.78	3.47	3.24	2.95	2.80	2.69	2.36
当麻町	3.64	3.44	3.17	2.88	2.68	2.58	2.28
東川町	3.31	3.31	3.03	2.84	2.63	2.63	2.29
東神楽町	3.84	3.64	3.20	3.11	2.94	2.82	2.52

※国勢調査（H25のみ住民基本台帳H26.01.01）

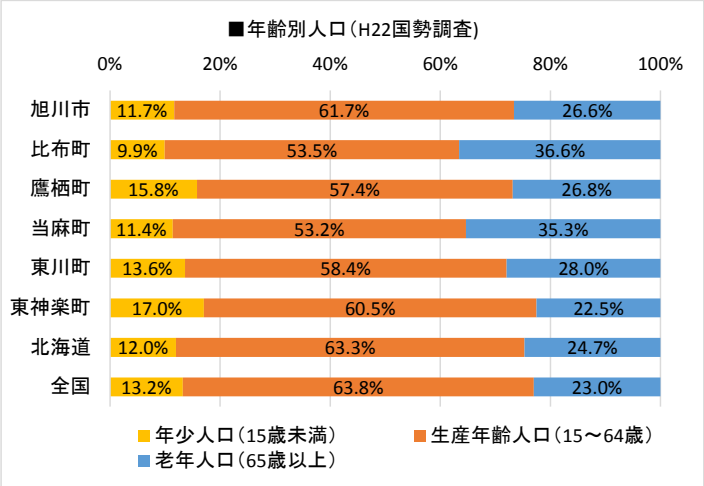




③ 高齢化・少子化

旭川市の年齢別人口構成は，年少人口が約12%，生産年齢人口が約62%，老年人口が約27%で，全道の構成比と概ね同じになっています。老年人口の推移をみると昭和60年から増加傾向が進み，旭川市では27%近くになっています。圏域では比布町，当麻町の老年人口率が35%と高くなっています。

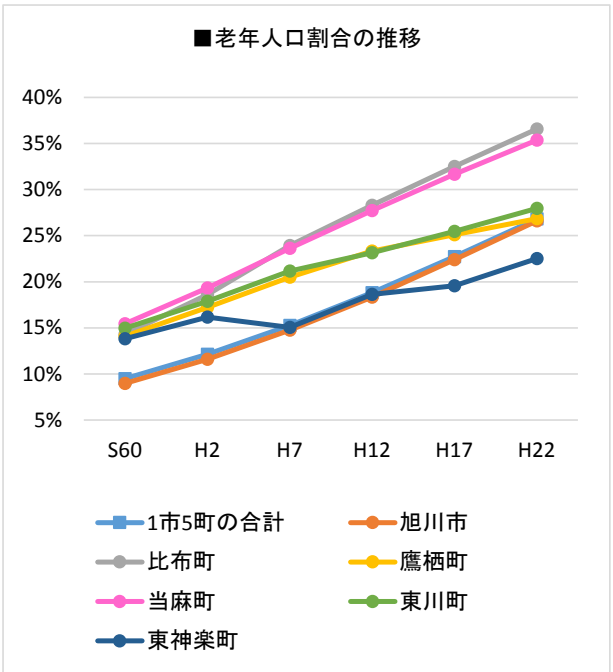
■人口構成比と老年人口割合の推移



■老年人口割合の推移

	S60	H2	H7	H12	H17	H22
1市5町の合計	9.5%	12.1%	15.3%	18.8%	22.7%	26.8%
旭川市	9.0%	11.6%	14.8%	18.3%	22.4%	26.6%
比布町	14.3%	18.6%	23.9%	28.3%	32.5%	36.6%
鷹栖町	14.1%	17.2%	20.5%	23.3%	25.1%	26.8%
当麻町	15.4%	19.3%	23.6%	27.7%	31.6%	35.3%
東川町	15.0%	17.9%	21.2%	23.2%	25.5%	28.0%
東神楽町	13.8%	16.2%	15.1%	18.6%	19.6%	22.5%

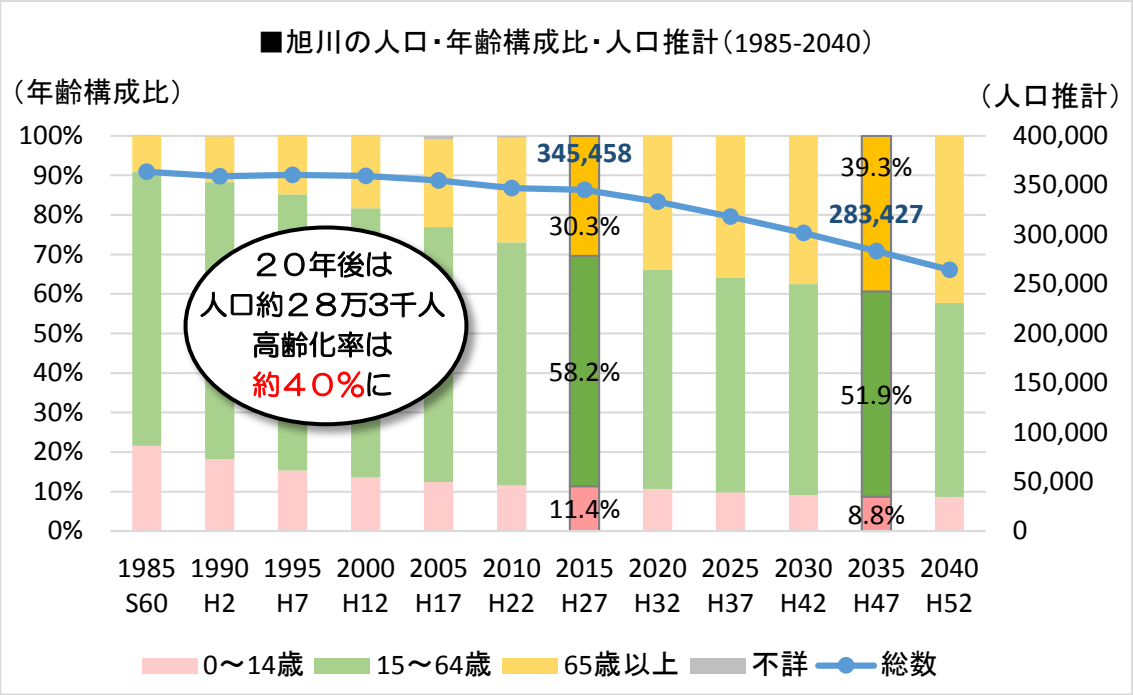
※国勢調査



旭川市の将来人口推計では，20年後の2035年頃には約28万3千人となり，高齢化率は，現在の約30%から約40%に増加することが予測されています。

また，町内会への加入率は，この10年で約70%から約60%まで低下しており，将来の高齢社会の到来とともに，地域コミュニティの活力低下が懸念されます。

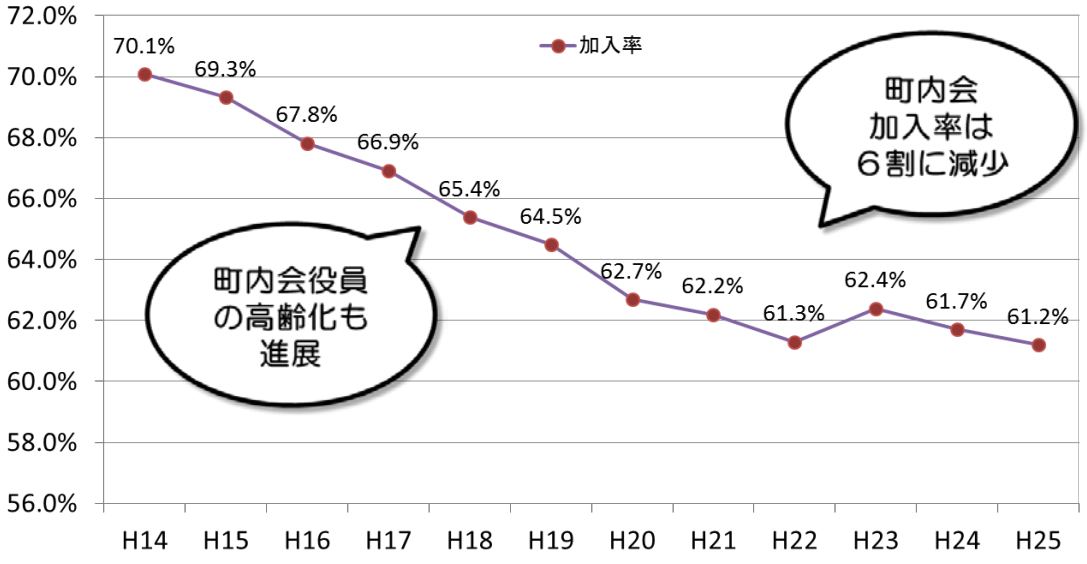
■旭川市の将来人口推計



※H22までは国勢調査，H27以降は第8次総合計画基本構想の将来人口の算出基礎をもとに推計

※基準人口：住民基本台帳（平成26年10月1日）

■旭川市の町内会加入率の動向



1-3) 気象

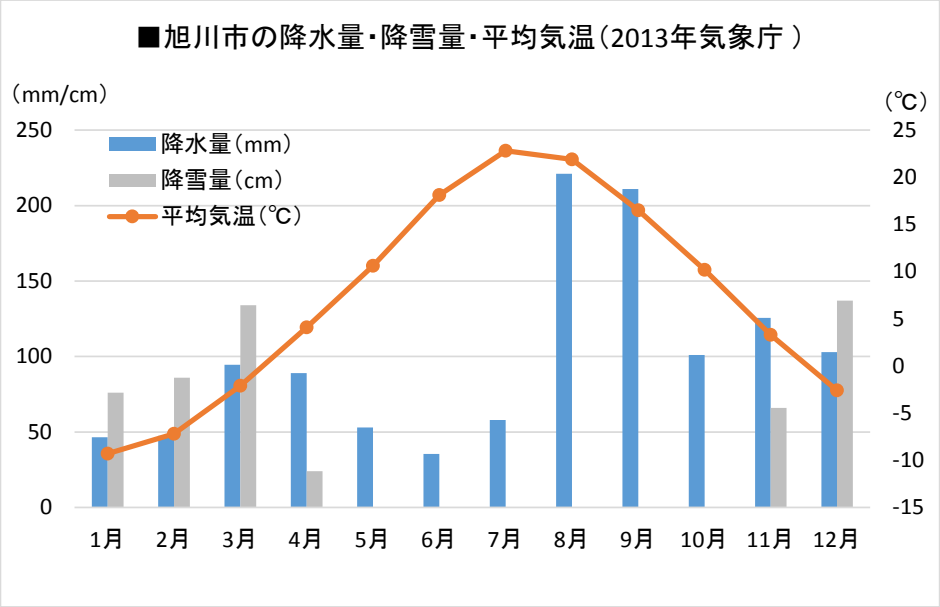
① 気候

旭川市は，盆地特有の気候で，夏期の最高気温は30℃を超え，冬期の最低気温は－20℃以下になるなど，「夏は暑く，冬は寒い」寒暖差の激しい内陸性気候です。特に冬期は，最深積雪の平年値は1m近くと，我が国でも有数の積雪寒冷の厳しい気象条件となっています。

また，風は強くなく，秋～冬に周辺河川による川霧が発生するなどの特徴があります。

■旭川市の降水量・降雪量・平均気温

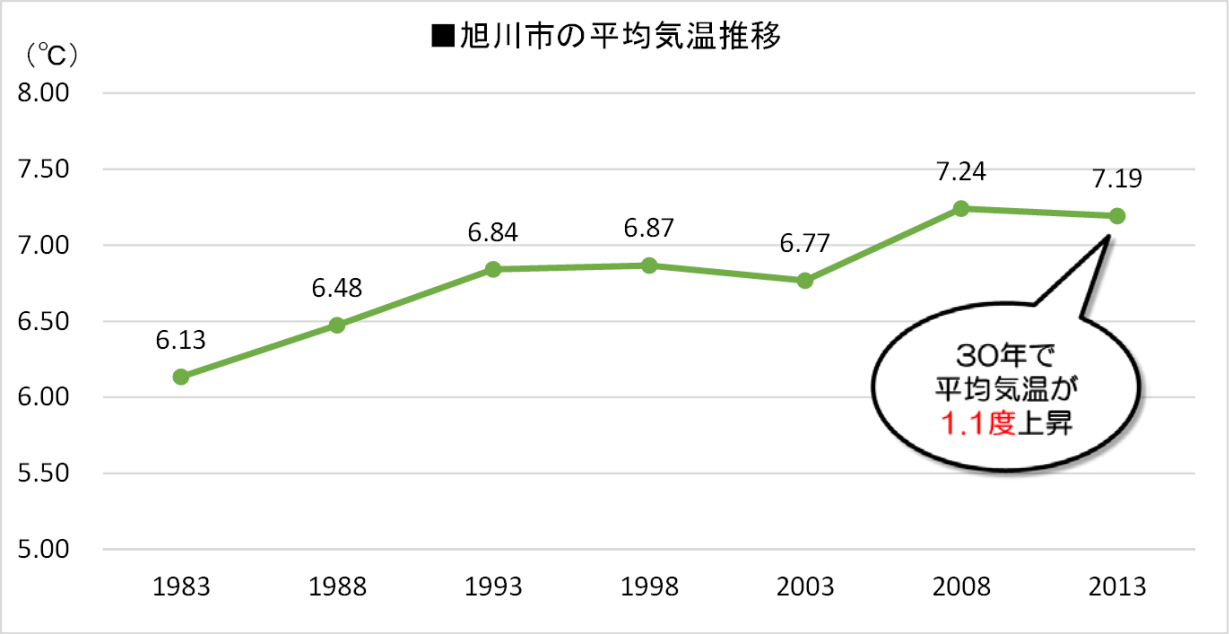
	降水量(mm)	平均気温(℃)	降雪量(cm)
1月	46.5	−9.3	76
2月	47.5	−7.2	86
3月	94.5	−2.1	134
4月	89	4.1	24
5月	53	10.6	−
6月	35.5	18.1	−
7月	58	22.8	−
8月	221	21.9	−
9月	211	16.5	−
10月	101	10.2	−
11月	125.5	3.3	66
12月	103	−2.6	137



② ヒートアイランド化の動向

旭川の市街地の気温は，この30年で1.1℃上昇しており，ヒートアイランド化の傾向がみられます。みどりの温度抑制によるクールアイランド効果は，市街地環境の改善方策の一つとして考慮していく必要があります。

■市街地のヒートアイランド化の傾向



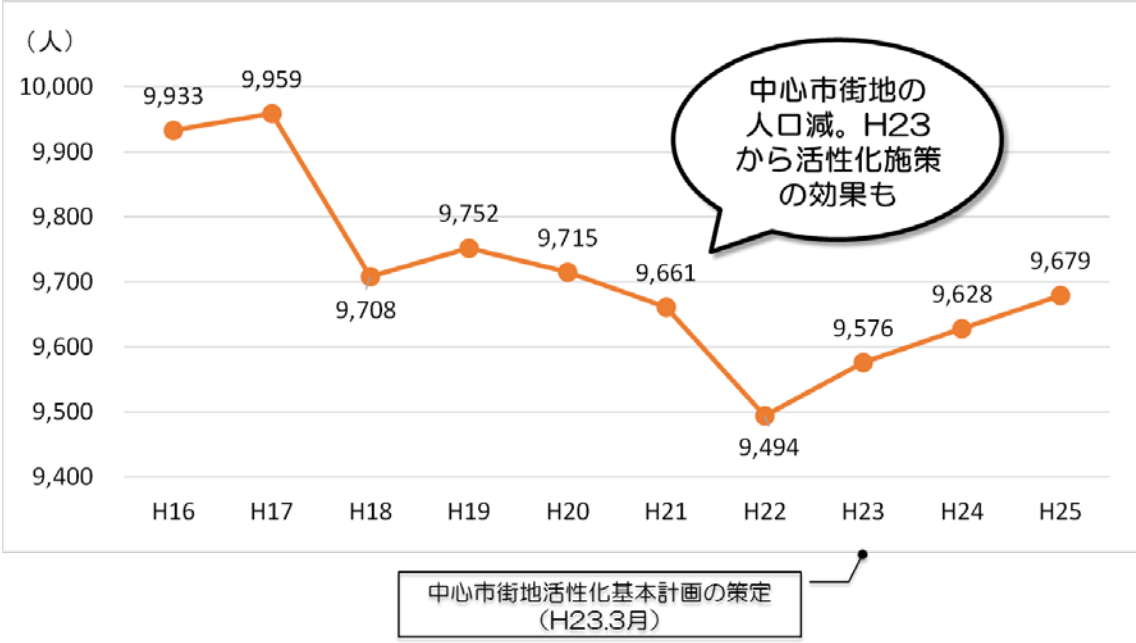
＜観測地点＞
2004年以降：旭川市宮前通東4155番31（合同庁舎）
2004年まで：旭川市8条通11丁目

＊北海道内の同じ内陸性気候の都市と比較すると，現在の旭川の年平均気温は 30 年前の道南の北斗市と同程度になります。
【北斗市】1984 年:7.2℃→2014 年:8.6℃

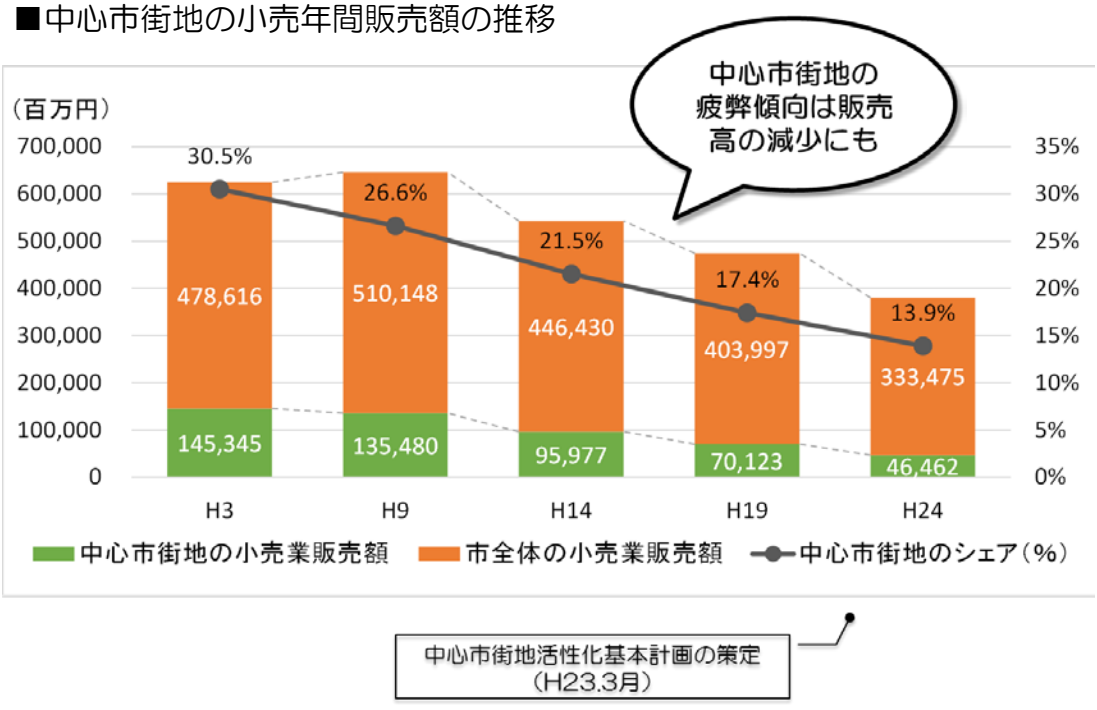
1-4)中心市街地の動向

旭川市の中心市街地は，車社会と市街地拡大などにより，その活力低下が顕著となっています。居住者数の減少，売上高の減少，歩行者通行量の減少などが進展してきましたが，旭川市では中心市街地活性化基本計画（平成23年）を策定し，にぎわいづくりの施策展開を図っており，中心市街地の魅力づくりを担う要素として，みどりのあり方が重要となっています。

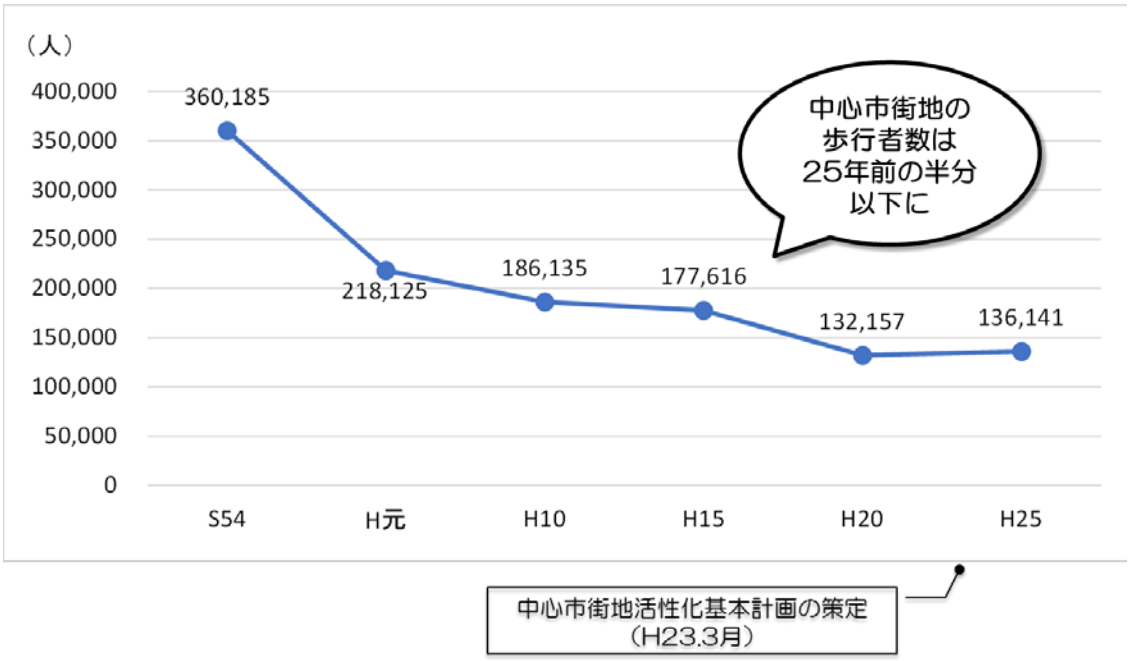
■中心市街地の居住者数の推移



■中心市街地の小売年間販売額の推移



■中心市街地の１日あたりの平均延べ通行量の推移



２　旭川市のみどり

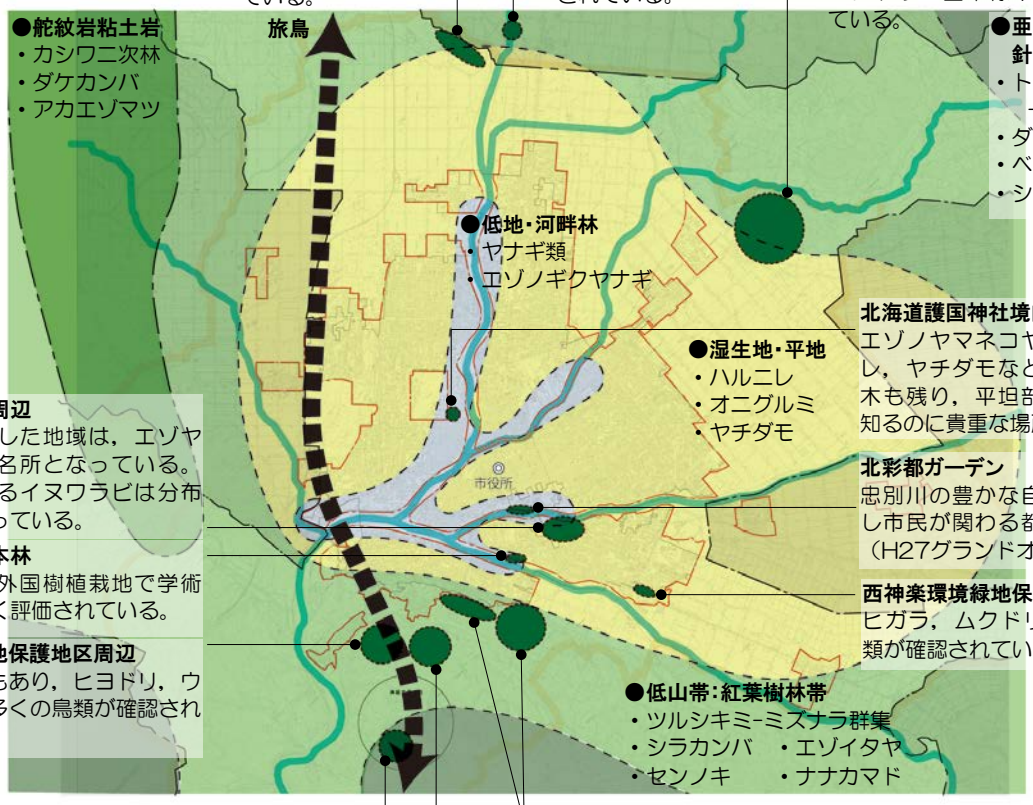
2-1)旭川市の自然と公園

① 土地自然特性

旭川市は，天然記念物や特殊鳥類に指定されているクマゲラ，オジロワシ，オオワシ，クマタカ，オオタカ等の貴重な鳥類が確認されています。また，旭川地方が命名の際に基準標本地となっているオオミヤマエンレイソウ，キクバヤマブドウ，ヒロハノサイハイラン，ウスゲアオミズ，ピップイチゲ，ハナガサイチゲ，ホソバエゾノコギリソウの１変種，６品種の草本類など特徴的な植物の産地となっています。さらに，神居古潭の奇景絶景は本道を代表する景勝地として知られていることなど，自然環境の観点から多くの資質，資源を有しています。

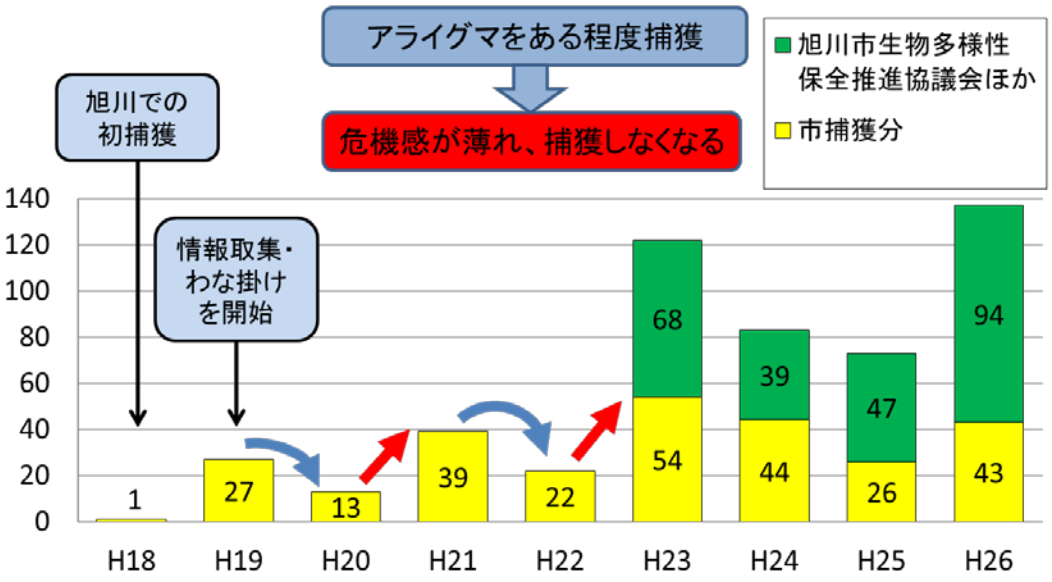
平成27年には北彩都ガーデンがグランドオープン予定など，市民参加による都心における河川環境の再生が期待されています。

■自然特性図



一方，近年北海道では外来種の侵入により，地域固有の生物相や生態系に大きな脅威となる問題が指摘されており，2004 年に「北海道の外来種リスト」（北海道ブルーリスト 2004）が作成されました。このリストには動物，魚類，昆虫類等が 221 種，植物が 639 種，選定されています。旭川市においてもアライグマやウチダザリガニ，オオハンゴンソウ，ブタクサなどが確認されており，生態系の攪乱や農作物への被害が懸念されています。駆除等の取り組みが進められていますが，地域固有の生物多様性の保全が求められています。

■旭川市におけるアライグマの捕獲状況



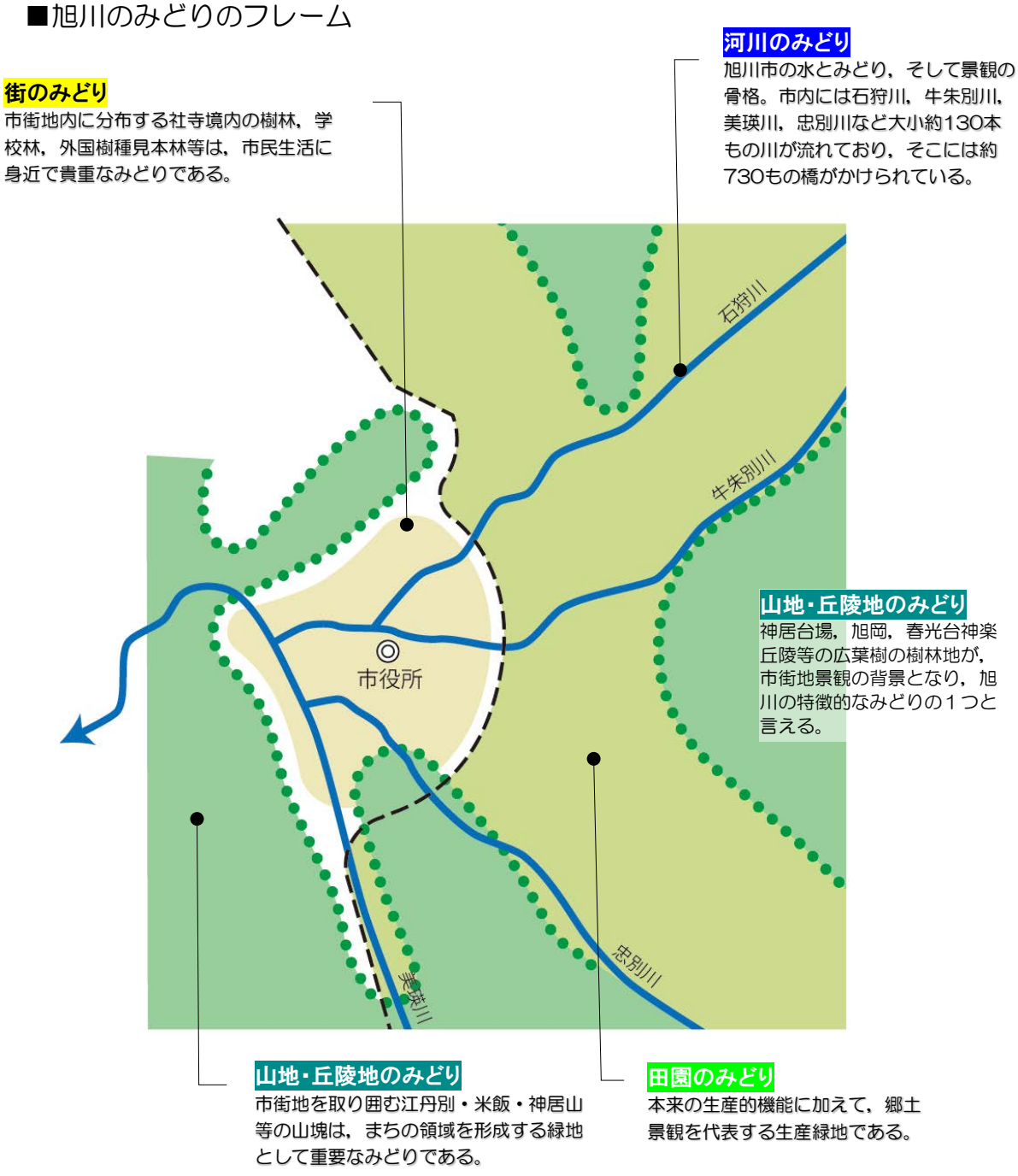
出典：旭川市環境部資料

② 旭川市をとりまくみどり

旭川市のみどりを大きく捉えると，石狩川等の主要な河川による**河川のみどり**，北部の東鷹栖の丘陵地帯，西部の春光台及び嵐山一帯の丘陵地域，南に延びて台場及び神居古潭から神居山地域，さらに大雪山へと連なる最東部の米飯地域といった**山地・丘陵地のみどり**，市街地周辺を包み込む**田園のみどり**，そして市街地内にある公園や街路樹，社寺林による**街のみどり**と４つの骨格的なみどりに分けることができます。

こうした骨格的なみどりは、旭川市独自の風景の基本構造となっており、これを生かした取り組み検討が大切です。

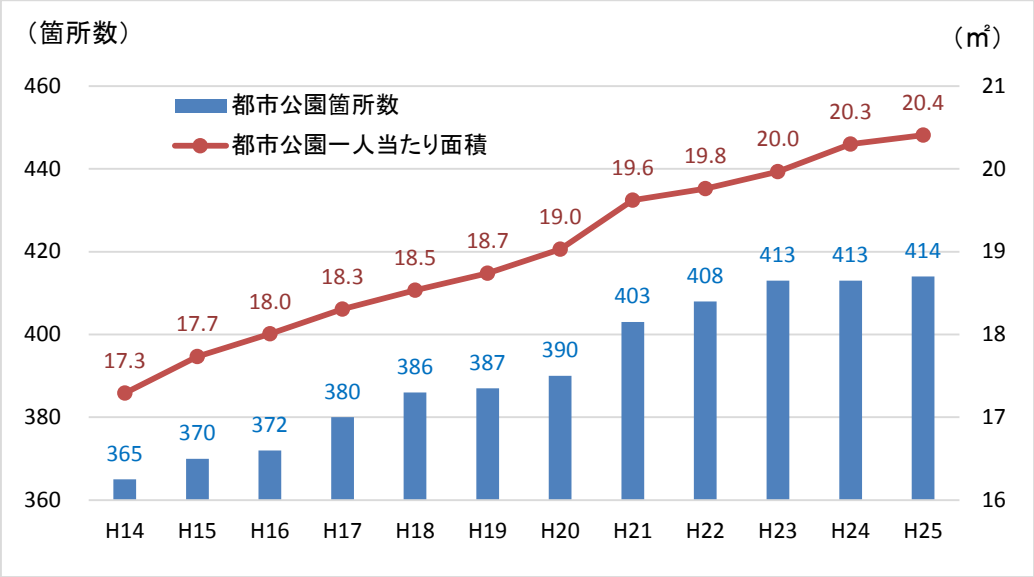
■旭川のみどりのフレーム



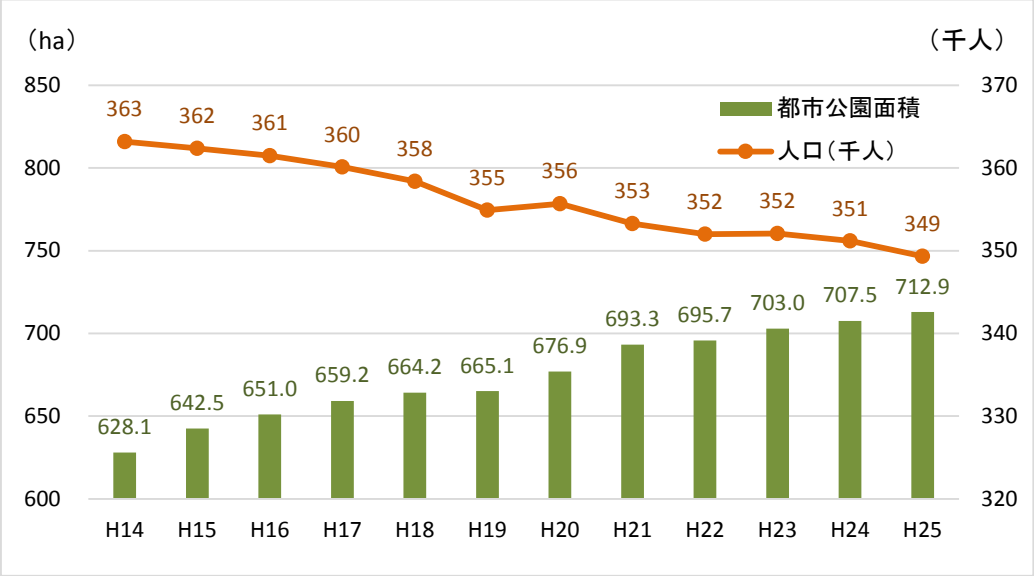
③ 旭川市の公園整備の状況

旭川市の都市公園は，着実に整備が進められており，平成25年度現在414箇所となっています。都市公園一人当たりの面積も漸進的に増加しており，現在20.4㎡/人となっています。これは都市公園が増加している一方，人口減少も影響している結果といえます。

■都市公園数・都市公園一人当たり面積の推移



■都市公園面積と人口の推移



④ 道内主要都市と公園整備の比較

旭川の公園整備の状況を道内他都市と比較すると，人口1,000人当たり都市公園の箇所数，１ヶ所当たり公園面積，公園面積率など比較都市全体の平均値を下回る結果となっています。

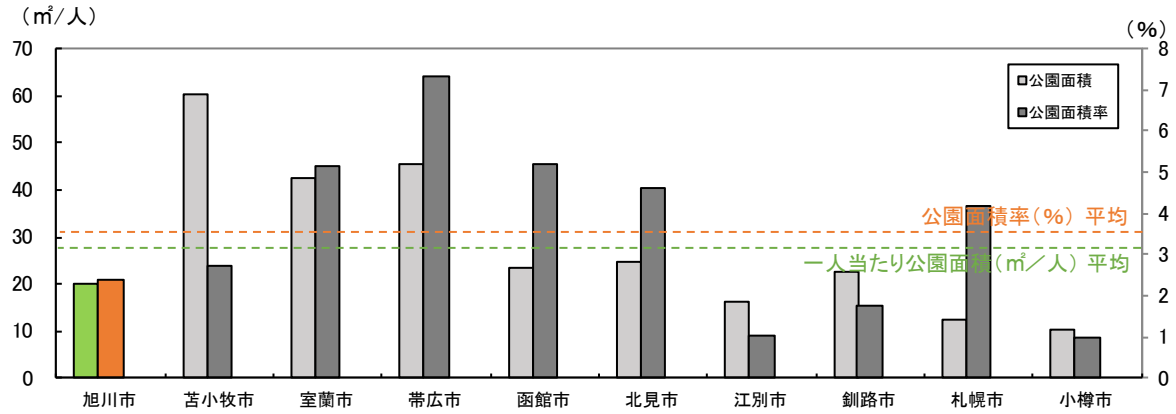
■道内主要都市の都市公園整備状況

（平成23年3月31日現在）

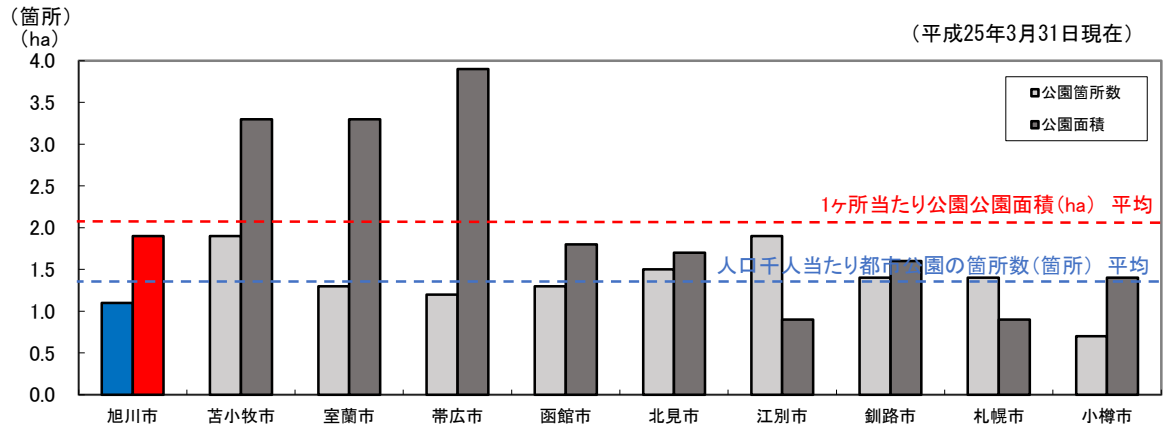
都市名	都市計画区域面積（ha）	都市計画区域内人口（千人）	公園箇所数（ヶ所）	都市計画区域内公園面積（ha）	一人当たり公園面積（㎡／人）	公園面積率（%）	人口千人当たり都市公園の箇所数	1ヶ所当たり公園面積（ha）	備　考
旭　川	30,050	352	372	707.54	20.10	2.4	1.1	1.9	
苫小牧	38,772	174	322	1,050.14	60.35	2.7	1.9	3.3	
室　蘭	7,640	92	119	391.72	42.58	5.1	1.3	3.3	
帯　広	10,210	164	194	747.11	45.56	7.3	1.2	3.9	
函　館	11,723	261	346	607.03	23.26	5.2	1.3	1.8	
北　見	5,973	112	165	275.60	24.61	4.6	1.5	1.7	
江　別	18,883	121	229	198.36	16.39	1.1	1.9	0.9	
釧　路	22,176	173	249	387.48	22.40	1.7	1.4	1.6	
札　幌	56,795	1,927	2,706	2,384.53	12.37	4.2	1.4	0.9	札幌市には，国営公園として滝野すずらん丘陵公園がある
小　樽	12,956	128	93	129.62	10.13	1.0	0.7	1.4	
平　均	ー	ー	ー	ー	27.78		1.4	2.0	

（※「北海道の都市公園」より作成する）

■道内主要都市の一人当たりの都市公園面積と都市公園面積率



■道内主要都市の人口千人当たりの都市公園整備数と1ヶ所当たり公園面積



⑤ 全国類似都市と公園整備の比較

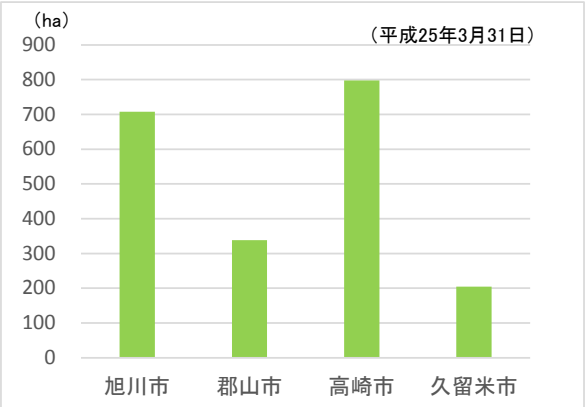
旭川市と立地環境の類似する都市を抽出して，公園整備の状況を比較してみました。比較都市は人口規模，産業構造が類似し，且つ内陸部に位置し，県内の中核都市であること，さらに3大都市圏の影響を受けないものとし，福島県郡山市，群馬県高崎市，福岡県久留米市の3都市を抽出しました。これらの都市と比較すると，旭川市は，都市公園面積，箇所数，一人当たりの都市公園面積はいずれも高い方であるといえます。

■全国類似都市の都市公園整備状況

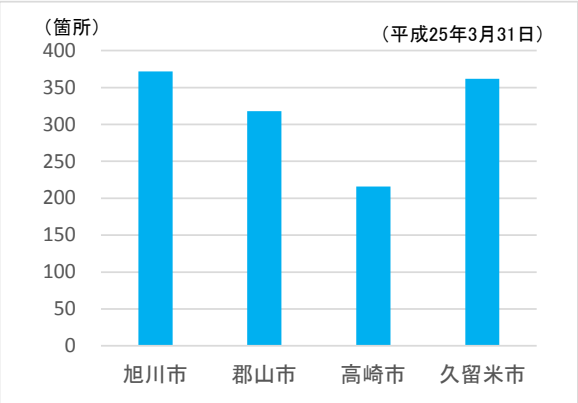
（平成25年3月31日現在）

都道府県名	市町村名	都市計画区域		都市公園		都市公園の箇所数（人口千人当たり）	1箇所当たり公園面積（ha）	1人当たり都市公園面積（㎡）	公園面積率（%）
		面積（ha）	人口（千人）	面積（ha）	箇所数				
北海道	旭川市	30,050	349.3	707.54	372	1.06	1.90	20.30	2.4
福島県	郡山市	27,030	324.3	338.32	318	0.98	1.06	10.90	1.3
群馬県	高崎市	33,220	374.7	797.72	216	0.58	3.69	21.30	2.4
福岡県	久留米市	16,130	304.8	204.50	362	1.19	0.56	6.71	1.3

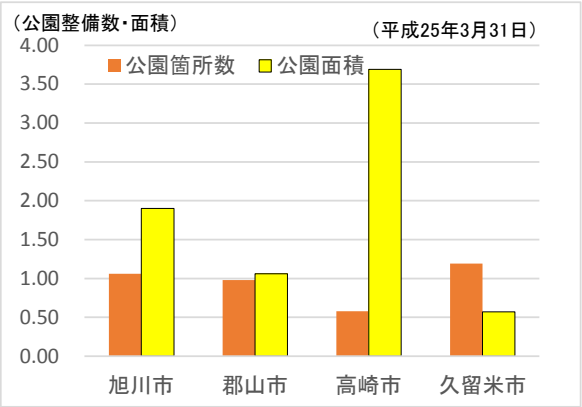
■全国類似都市の合計都市公園面積



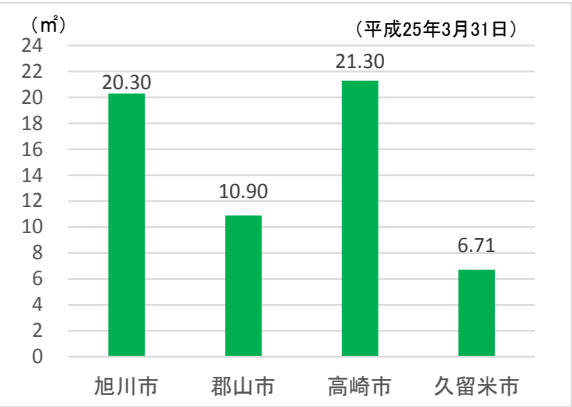
■全国類似都市の都市公園の箇所数



■全国類似都市の人口千人当たりの都市公園箇所数と平均公園面積



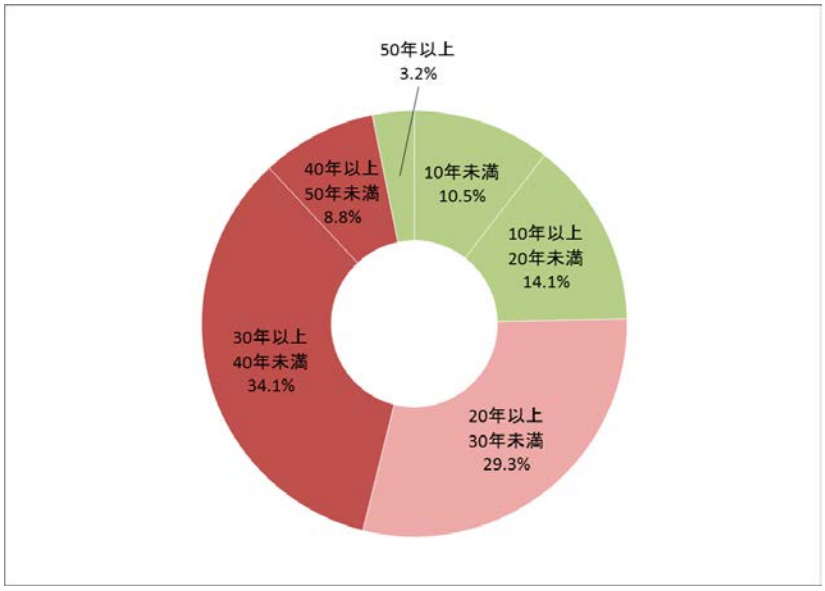
■全国類似都市の一人当たりの都市公園面積



⑥ 都市公園の経年数

旭川市の都市公園の経年数をみると，20年以上経過が約76%，30年以上経過が約46%となっており，施設の補修や更新を進めているものの，公園施設の老朽化が進んでいます。

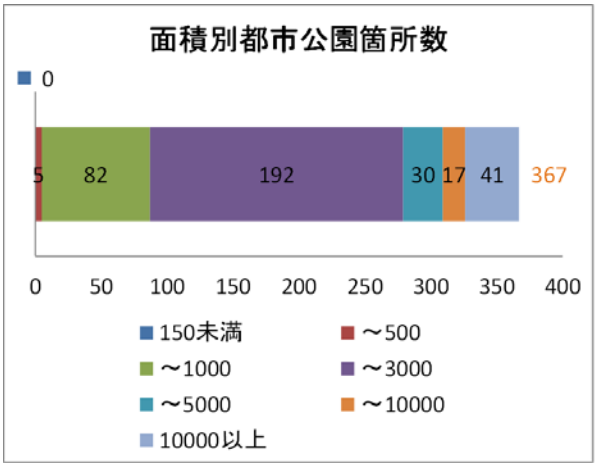
■都市公園の経年数

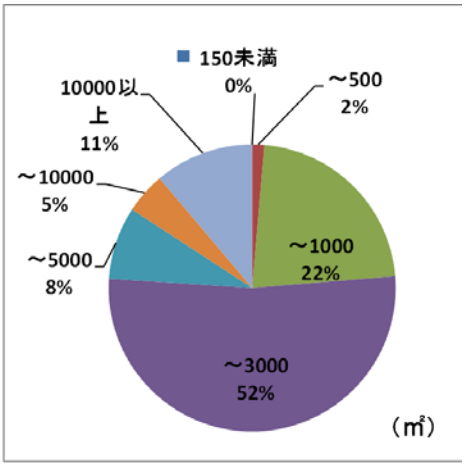


⑦ 都市公園および児童遊園の規模

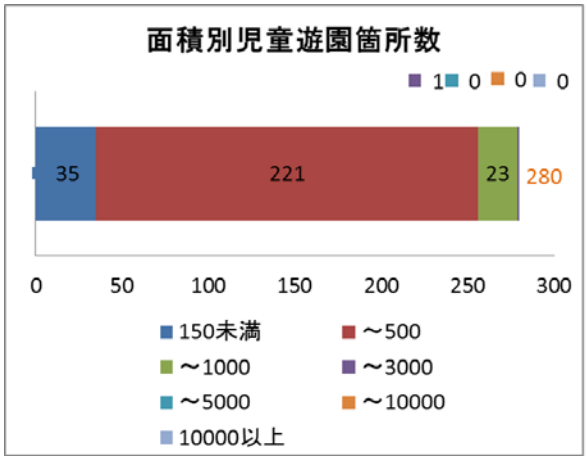
旭川市の都市公園の規模は，3,000㎡未満が全体の3/4を占めており，1,000㎡未満は約1/4となっています。また，児童遊園は500㎡未満が約8割を占めており，近接して設置されて遊具などが似たような構成になっている場合もみられます。

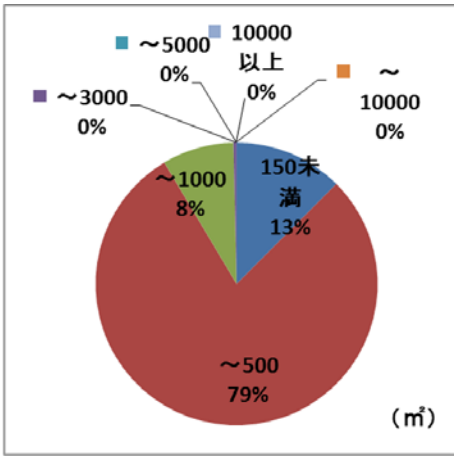
■都市公園の規模別割合



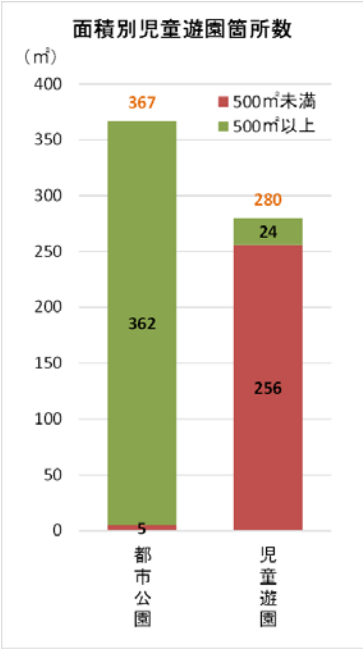


■児童遊園の規模別割合





■面積別都市公園及び児童遊園数



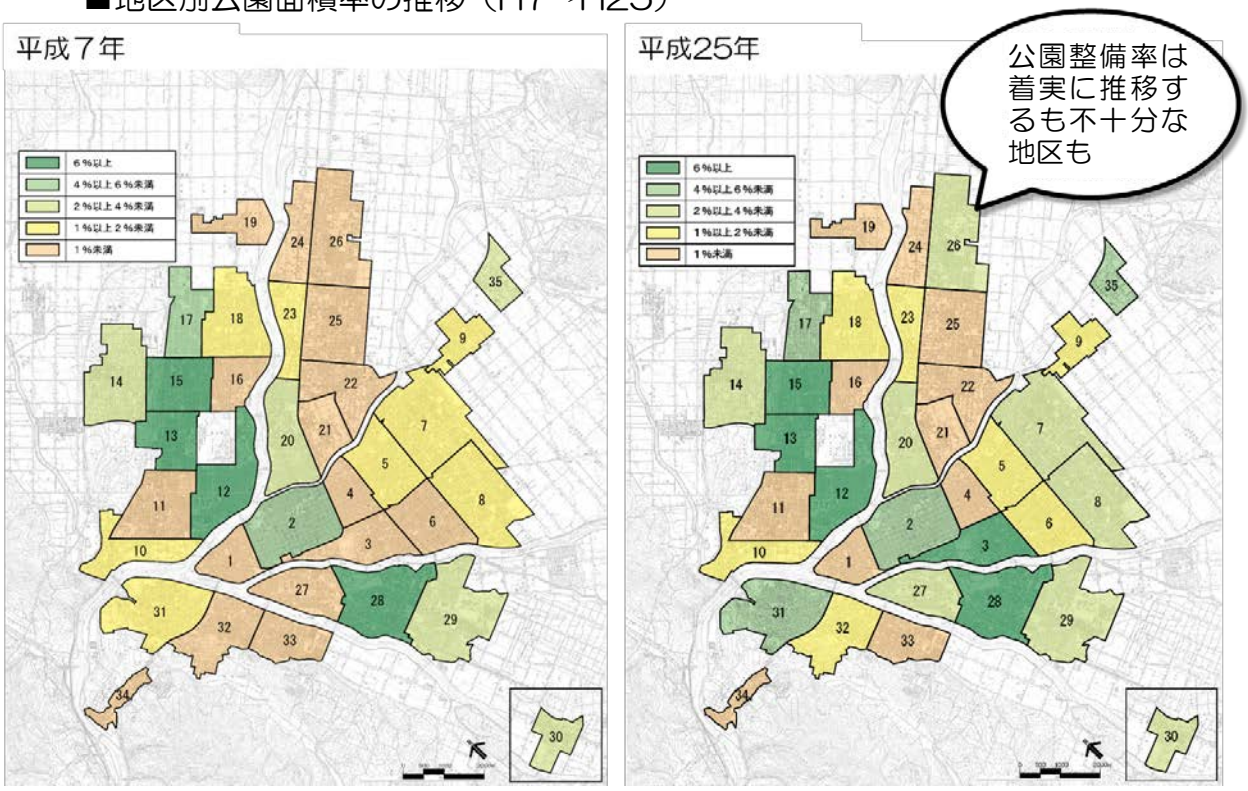
500㎡未満の児童遊園は数も多く、遊具等の機能重複や維持管理費の増大がみられ、今後のあり方の方向づけが必要。

■狭小な児童遊園の例
（神居1･5児童遊園・143㎡）

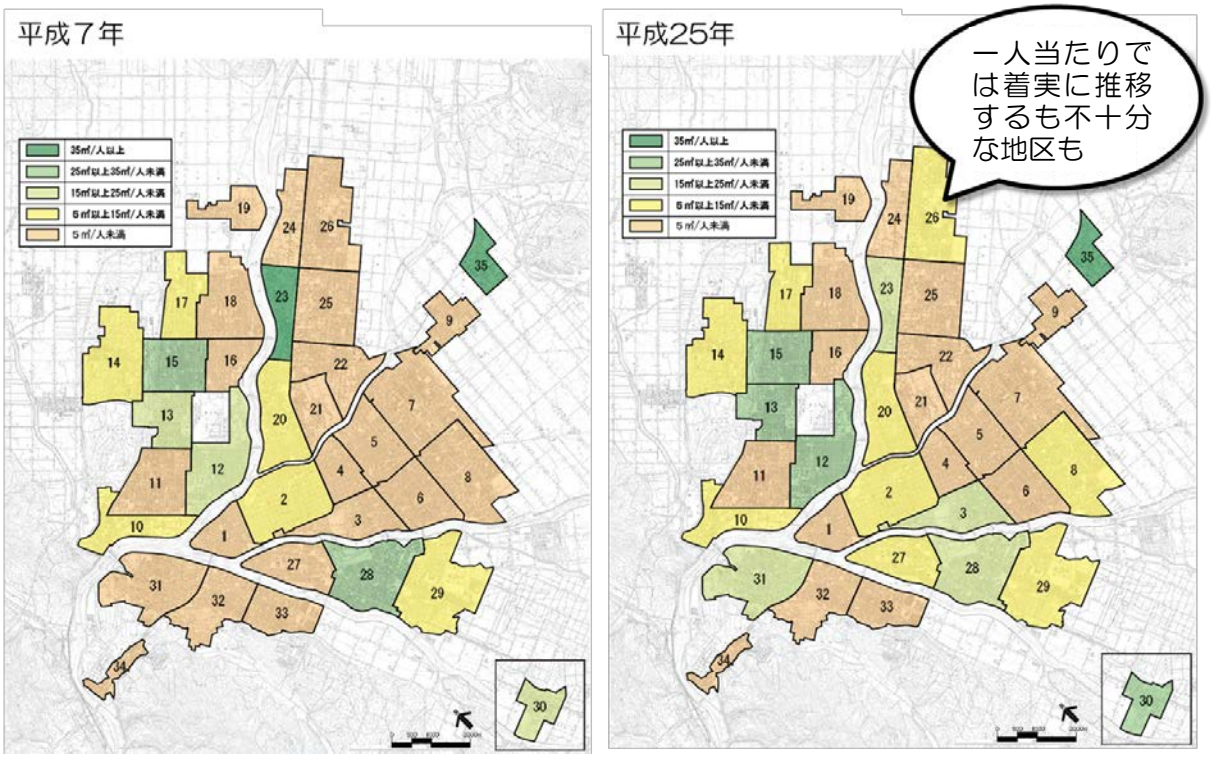
⑧ 地区別の公園整備の状況

旭川市の公園整備状況を地区別みると，平成7年から25年までに公園整備率，一人当たりの公園緑地面積ともに増加傾向にあります。しかしながらその整備率が低い状況のままの地区もみられ，不均衡の是正が必要な状況にあります。

■地区別公園面積率の推移（H7→H25）

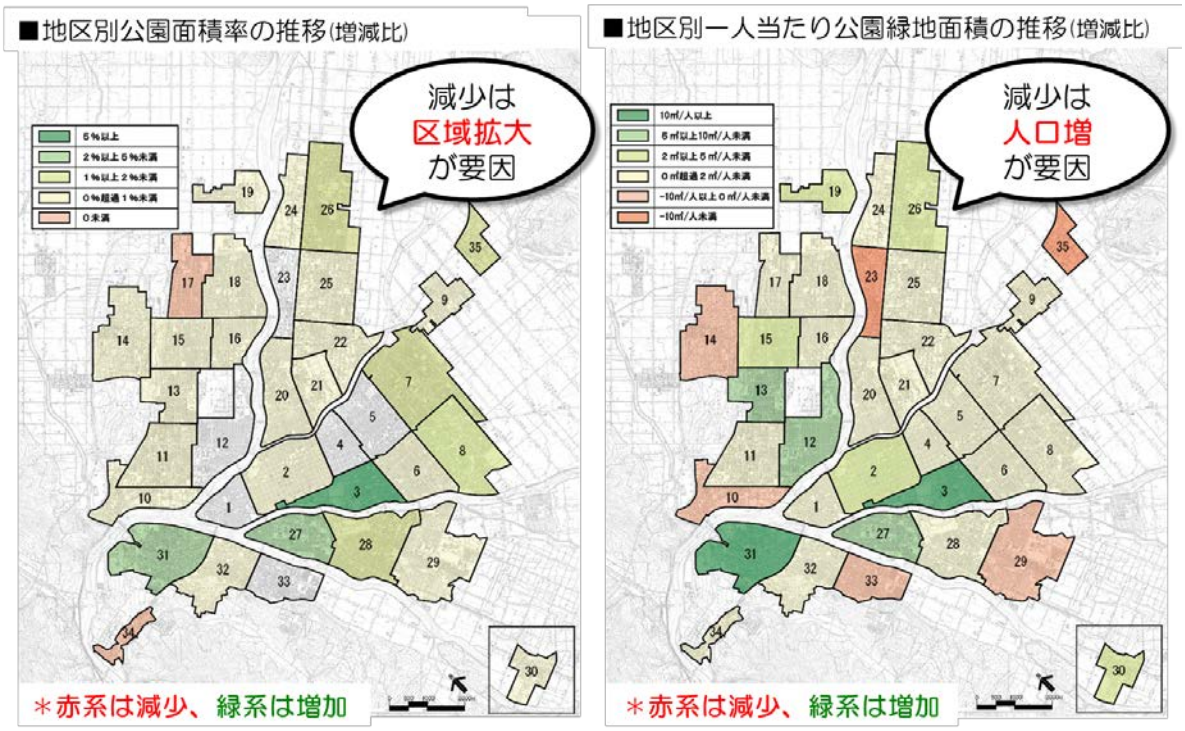


■地区別一人当たりの公園緑地面積の推移（H7→H25）

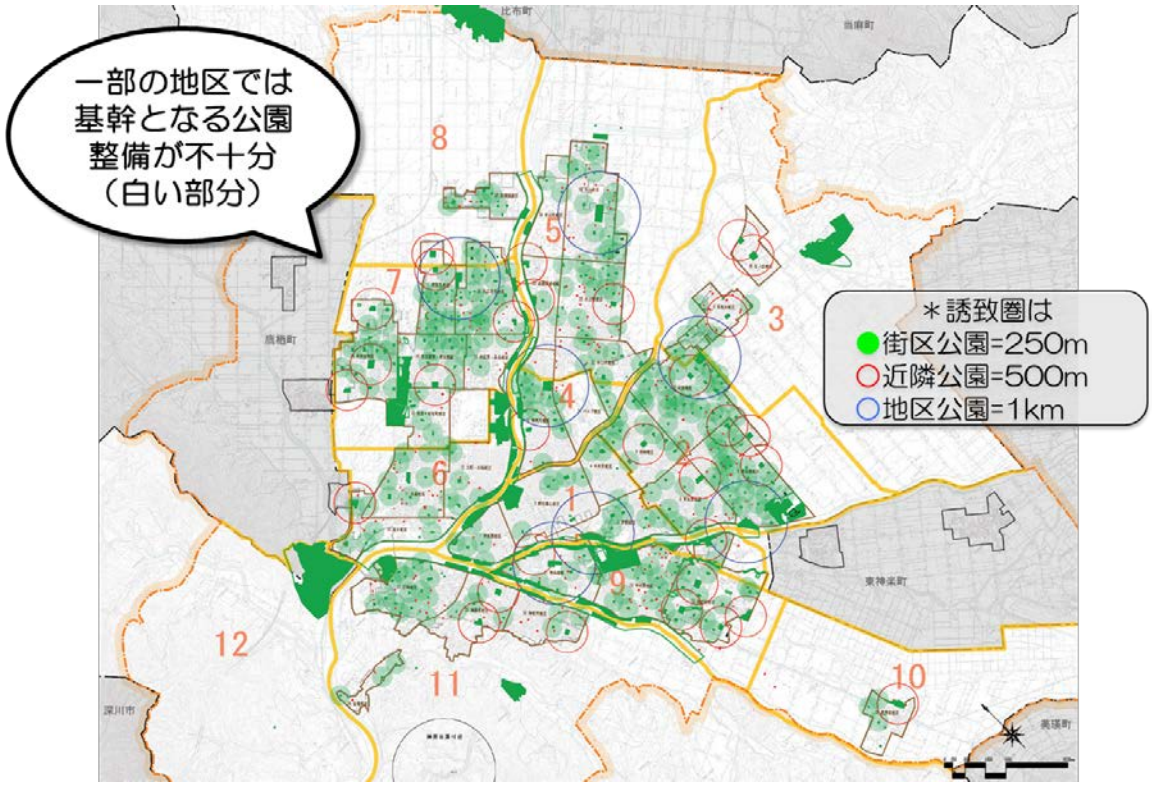


また，公園の誘致圏でその充足状況をみると，誘致圏でカバーしきれていないエリアがみられ，逆に誘致圏の重複（街区公園の密集状況）もあり，新設と統廃合の検討など，公園単体ではなく地区全体の適切な公園配置の是正を検討する必要があります。

■地区別の公園緑地状況の推移（H7→H25）



■住区基幹公園の誘致圏分布

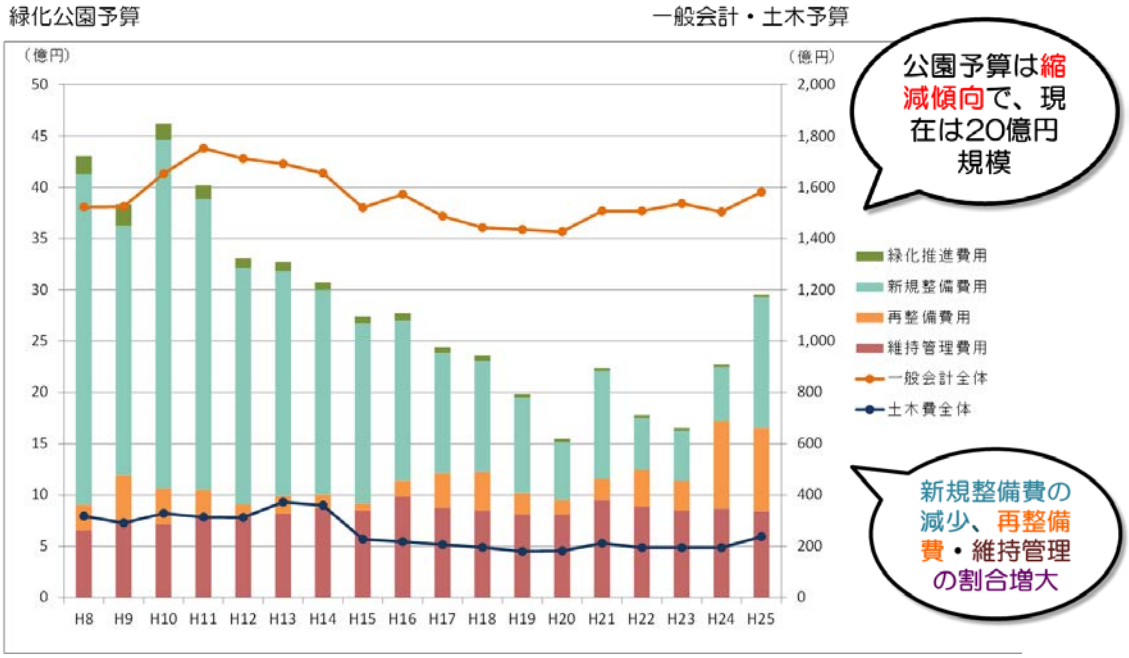


⑨ 公園予算および緑化基金の推移

旭川市の公園予算は，一般会計が横ばいとなっているのに対し縮減傾向にあり，現在約20億円規模となっています。また，新規整備費は減少傾向の反面，再整備費や維持管理費の割合が増加傾向にあります。

旭川市都市緑化基金は，平成14年の3.8億円をピークに，平成15年から取り崩しが始まり，年々規模が縮小し現在，約2億円程度となっています。現在の運用状況が続くと10年余で基金の消失が懸念され，今後のあり方の検討が必要です。

■旭川市の公園予算の推移（規模推移）



■旭川市緑化基金の推移

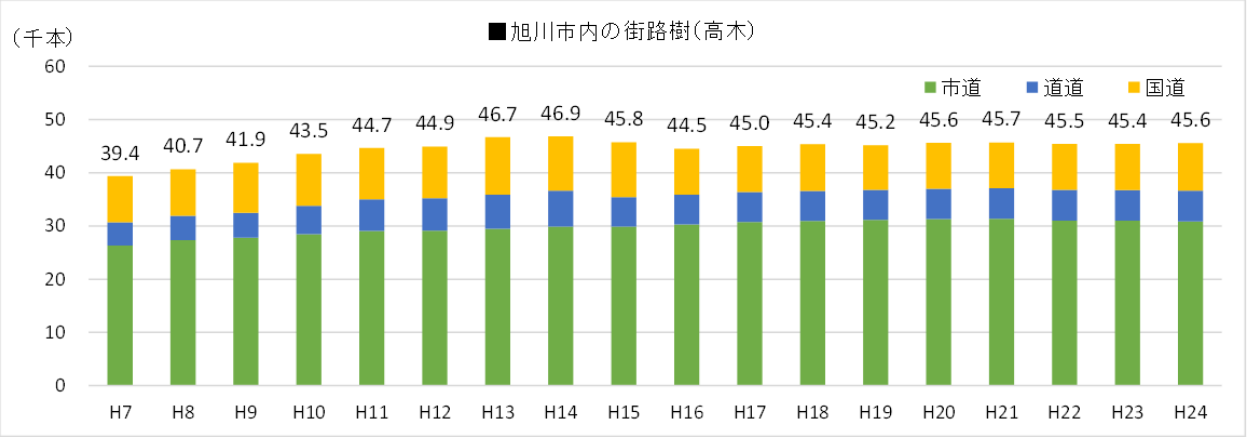
現在の運用状況だと、10年余で基金の消失が懸念

2-2) 道路のみどり

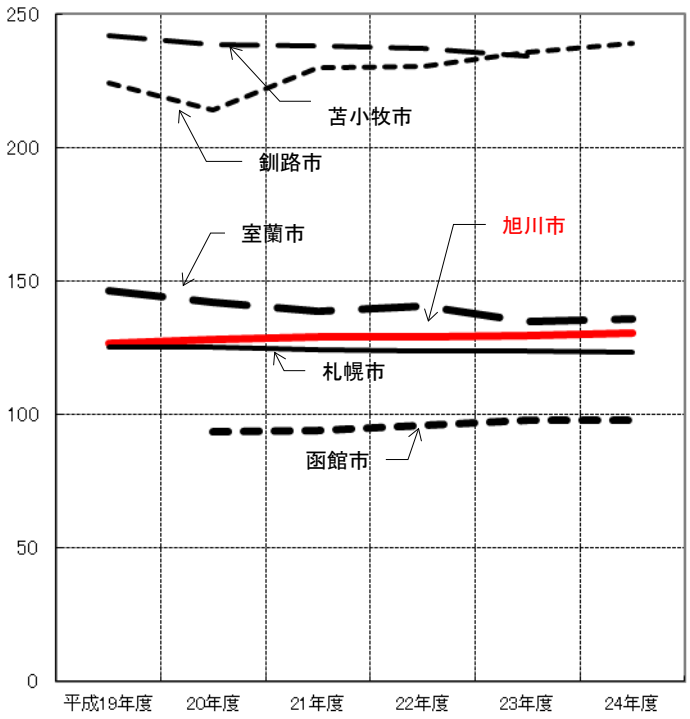
旭川市の街路樹数は近年，横ばい傾向にあります。

また，人口千人あたりの街路樹本数をみると，旭川市は，道内比較都市中第４位という結果になっています。旭川市の街路樹は，神楽岡通(プラタナス)のように大きく美しい樹冠を持つ並木となっている箇所も一部に見られますが，信号機や電線などと競合するため強めの剪定を必要とし，緑量感に欠けるものとなっています。

■旭川市内の街路樹数（高木）の推移

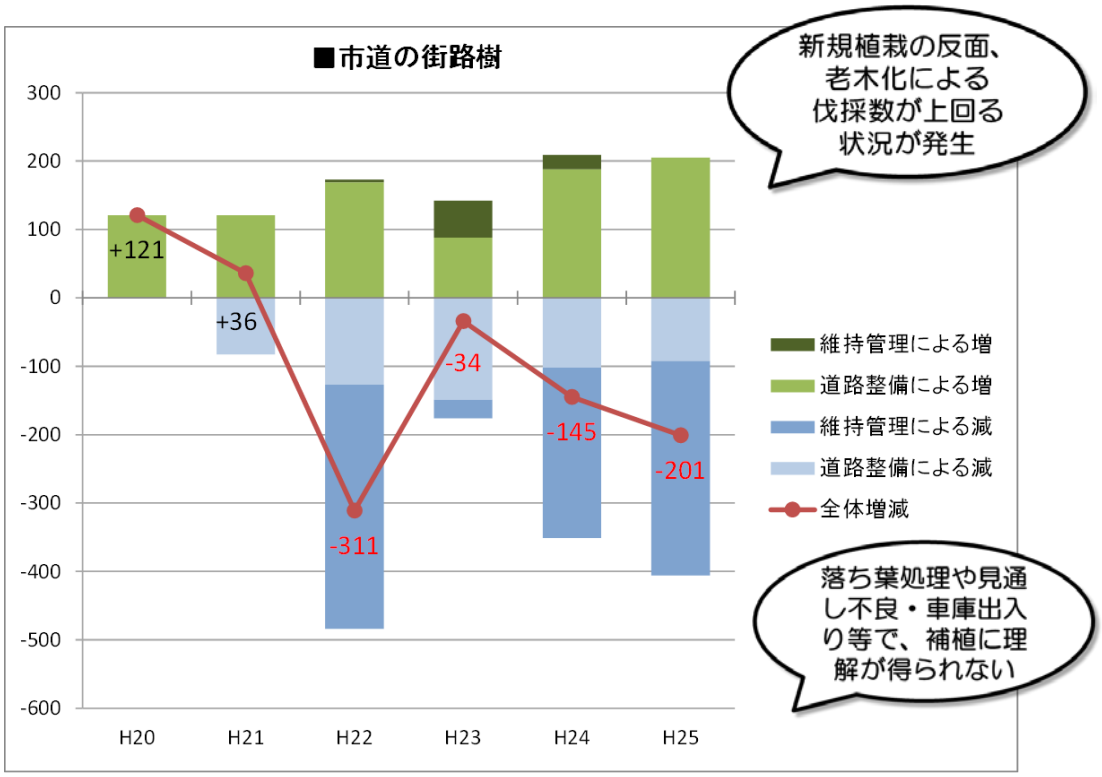


■道内主要都市の人口千人当たりの街路樹本数推移



近年の市道の街路樹の増減をみると，新規植栽を進めている一方，老木化による伐採数が新植を上回るなど，これから街路樹の更新時期に差し掛かることが予想されます。また，危険木化にともなう街路樹の更新の際，落葉処理や見通し不良，車庫等の出入り等の理由で，街路樹の補植に地先住民から理解が得られない状況が発生しています。

■近年の街路樹の増減（老木化の進行）



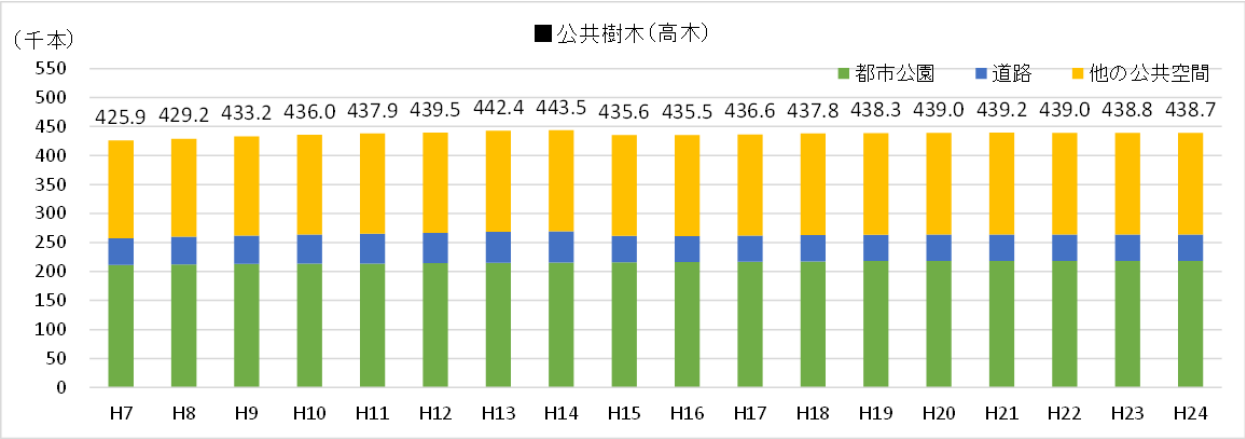
2-3) 公共公益施設のみどり

旭川市の公共施設や公益施設の樹木数（高木）は，この20年間では微増で，近年はおおむね横ばいの状況にあります。

道路や公園以外の公共公益施設の緑化状況は，文化施設や高等学校以上の教育施設では比較的高水準にあるものの，小・中学校，保育園，行政施設では低い傾向がみられます。また，保育園や幼稚園は，どの施設も敷地面積が狭小で十分な緑化スペースを確保することが困難な状況にあり，比較的敷地に余裕のある小・中学校も，十分な緑地を有していない現状がうかがえます。

保育園，幼稚園，小学校等は，敷地面積は狭小であっても市域全体に点在し，その箇所数が最も多いことから，地区の緑化に果たす役割は大きく，子供たちの緑化意識の醸成，啓発という観点からも積極的な緑化が望まれます。

■旭川市内の公共樹木数（高木）の推移



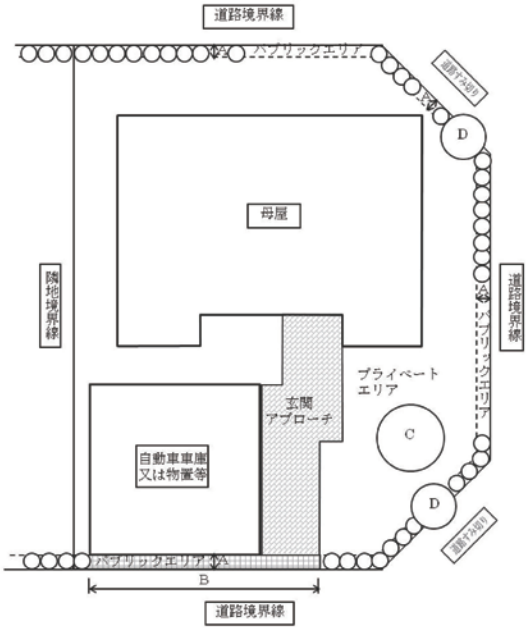
2-4) 民有地のみどり

市街地における民有地のみどりは，地域に散在する社寺林や屋敷林など存在価値の高い樹林地も多く見られ，地域の環境形成に大きく寄与しています。土地利用別のみどりの現状は，次のようにまとめることができます。

1)住宅地

- 住宅地は，戸建住宅地と集合住宅地に区分できます。戸建住宅の緑化状況は，個々の住宅地によって差が大きく，また一戸の敷地面積も狭く，十分な緑化スペースが確保されていない状況下にあります。緑地の余地が十分に確保できない住宅地では，草花を利用して明るく美しい雰囲気の演出を行っている家庭も見られ，街並み景観の向上に役立っている例もみられます。
- 集合住宅の緑化スペースは，戸建住宅に比べて広い場所が確保しやすく，都市緑地が整備されている例もあり，団地の敷地内の緑被状況も比較的高いレベルにあります。しかし，集合住宅のみどりは草地が多いといった印象があり，緑視的には不足感があります。
- 近年，民間の住宅地開発では景観協定を締結し，緑化の義務やシンボルツリーの植栽など宅地緑化に関する基準を導入し，良好な緑環境を担保する取り組みもみられ，今後の住宅地緑化の推進が期待されます。

■旭川市内の住宅地における景観協定締結例



A：パブリックエリアには，統一植栽により緑化する。
B：パブリックエリアのうち駐車スペースと玄関アプローチとなる部分の開口は，１区画当たり最大で９ｍまで（沿道利用ゾーンは除く）とし，その部分は自然石等により舗装する。
C：プライベートエリアには，玄関及び道路から見える位置にシンボルツリーとして樹木１本以上を植樹する。
D：すみ切りを有する宅地は，すみ切り周辺にシンボルツリーとは別にコーナーツリーを植樹する。

アーバンスクエア八条さくや町景観協定の例

2)商業地・工業地

・旭川市の商業地は，ＪＲ駅周辺や主要幹線道路沿線に形成されています。
・商業空間のみどりは，街路樹に負うところが大きく，商店街の緑化運動の取り組みは不十分と言えます。その中にあって近年，整備が進められている北彩都ガーデン（H27グランドオープン予定）では街中と河川空間を結ぶ豊かな自然空間形成への市民参加など，民有地の緑化促進への波及効果が期待されます。
・工業地の多くは，市街地周辺部に位置していますが，なかでも新旭川地域の日本製紙旭川工場は，木材産業のまち旭川をイメージするにふさわしい緑地帯を有しています。しかしながら，大部分の工業地では住宅地との緩衝が不十分です。

2-5)農地のみどり

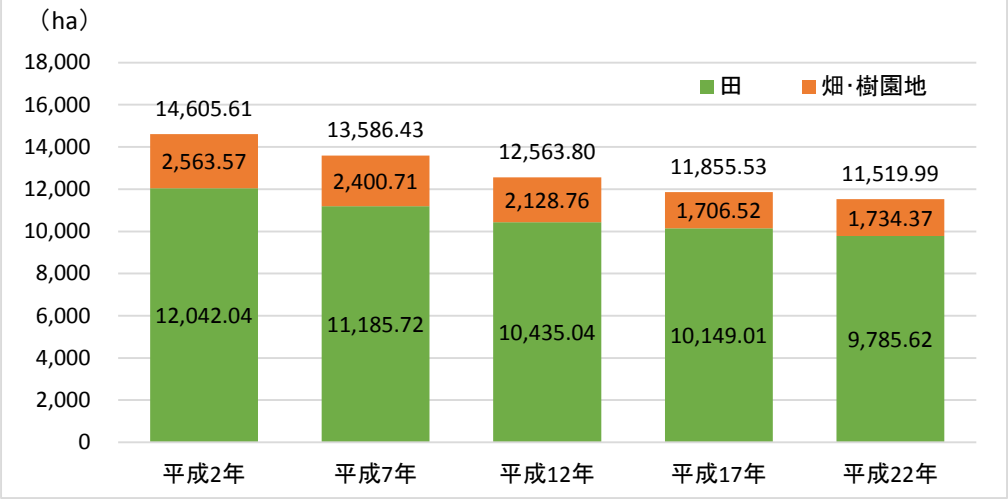
① 農地の動向

旭川市の農地は市街化区域の外側に広がっており，市域全体の15%を占めています。平地に広がる水田は農地全体の約６割を占め，良質米の産地として知られています。美瑛川沿い等の河岸段丘や山地寄りでは畑地となり，江丹別のソバ生産量は国内第３位などが知られています。

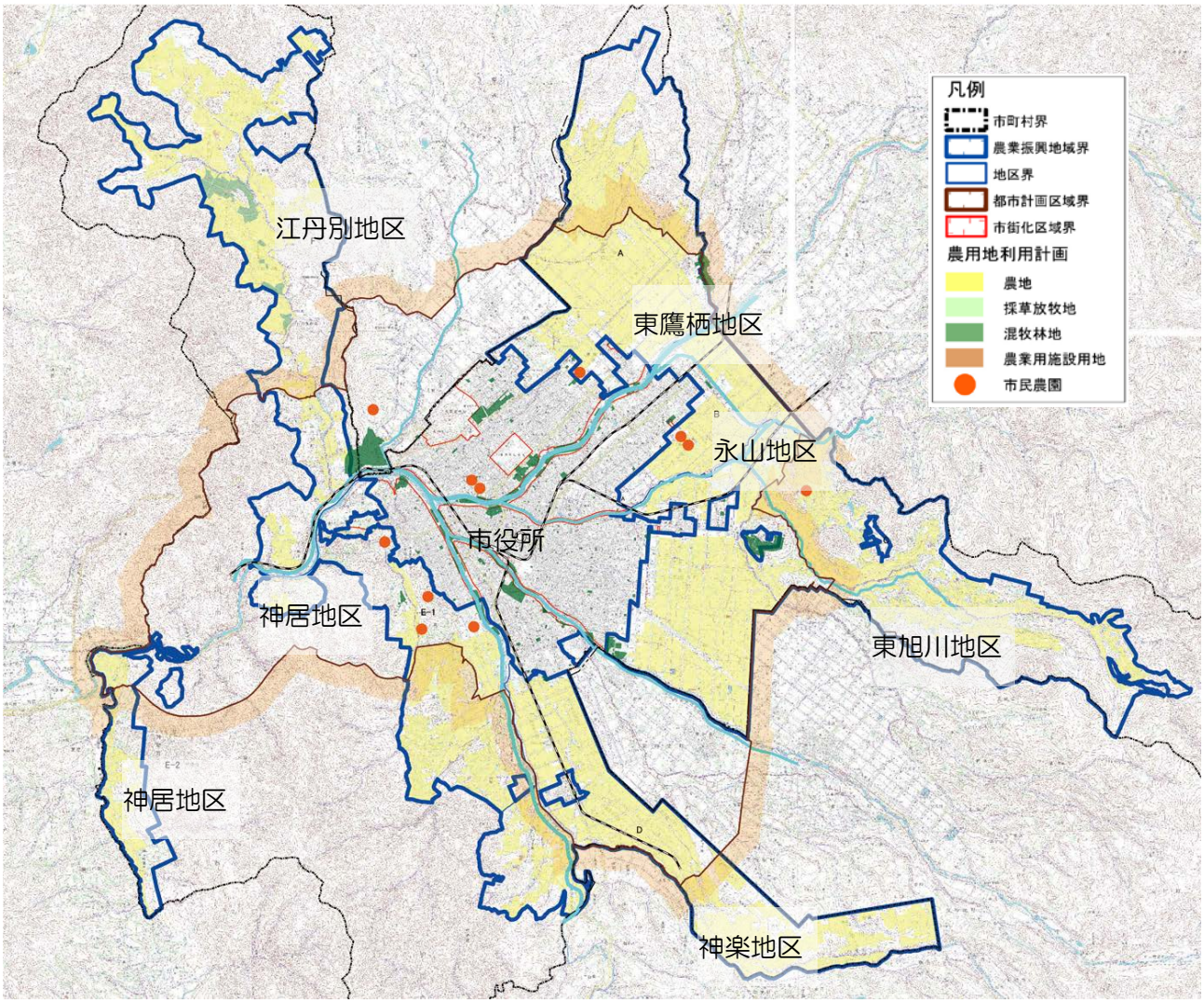
農家数は1,647戸（H22）で20年前の４割程度に減少しており，耕地面積も減少傾向が顕著です。農業者の高齢化や後継者不足が深刻になっている一方，戸あたり耕地面積は，約７haと大規模化の傾向（H2の3.5倍）にあります。耕作放棄地は，北海道では平成12年の15,442haに対し平成17年には19,470haと1.26倍に拡大しており，旭川市においては，現在，258ha（平成22年）と全体耕地面積（11,520ha）の2.2%と今後，その増加が懸念されます。

一方近年，市民農園の人気が高まり，市内12箇所で市及び農業者により運営されています。

■旭川市の経営耕地面積の推移



■旭川市の農地分布

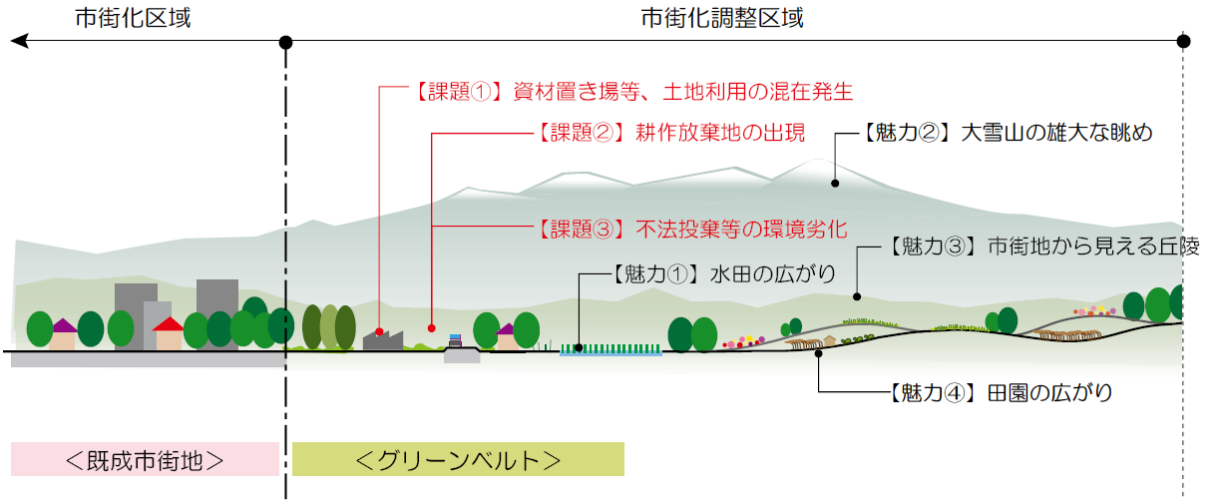


※旭川農業振興地域土地利用計画図

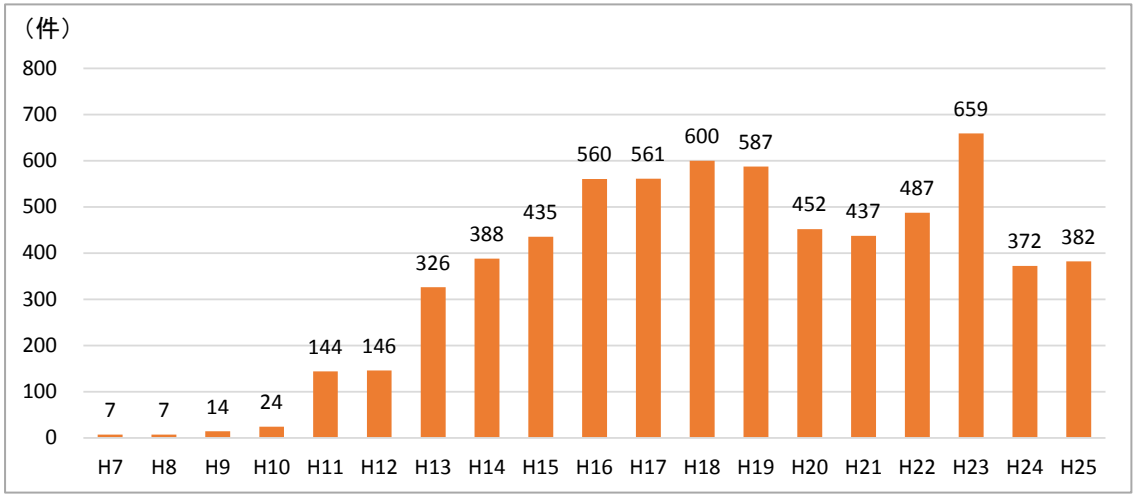
② 市街地縁辺の状況

旭川市の市街化区域の縁辺は，水田や丘陵の田園の広がり・大雪山への雄大な眺望など，旭川らしい魅力を有しています。しかし近年，耕作放棄地の増加，資材置き場などが農地に混在する土地利用の混乱，不法投棄の増加などの環境劣化が進展しており，農地の保全活用と共にその対策が必要となっています。

■市街地縁辺の魅力と課題



■不法投棄件数の推移



■旭川市内の不法投棄例

市街地縁辺の林や農地周辺では不法投棄が増加。近年，パトロールなどの対策により一定の抑制が得られているものの，依然として年間300件以上の発生がみられる。

３　旭川市民のみどりに対する意識

3-1）市民アンケート結果

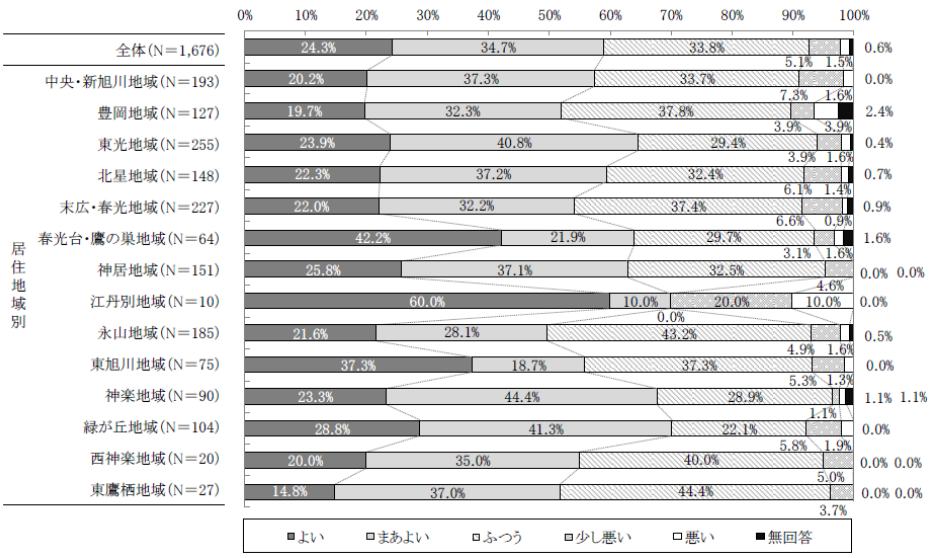
① みどりなどの自然環境の評価

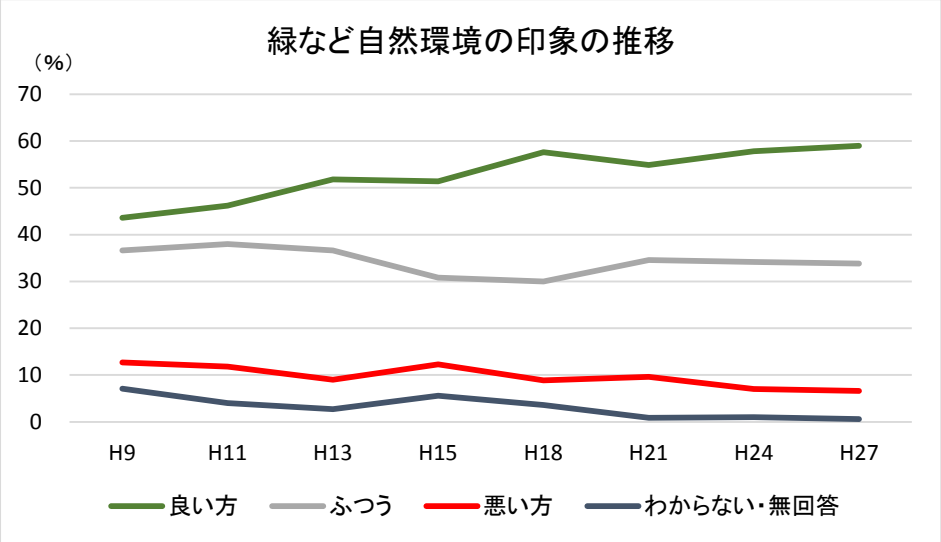
旭川市民のみどりに対する評価の推移は，次のとおりです。

＊平成9～27年度(1997～2015年)旭川市民アンケート調査（郵送による配布回収。配布数3000通（18歳以上の市民を無作為抽出)。回収率=各年50%程度）

- みどりなどの自然環境の評価は，全体で６割近くと比較的高い。
- 山地系の江丹別地区では高く，平地系の永山地区では低いなど地域差がみられる。
- 意識の推移をみると「良い」が増加傾向にある。

〔平成 27 年 10 月公表〕





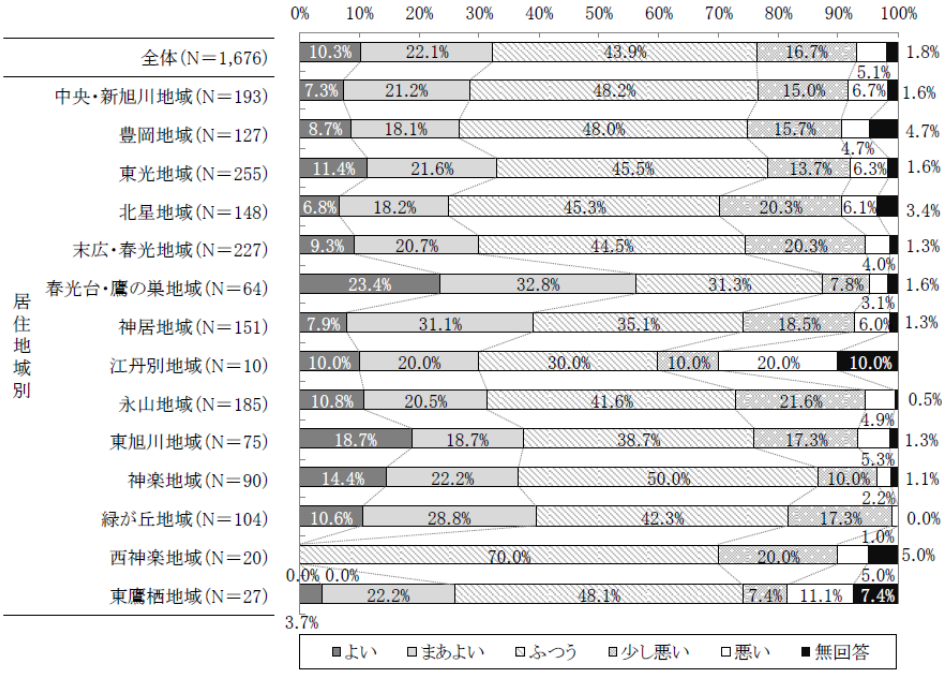
＊「良い方」＝「非常に良い」と「まあまあ良い」の合計。
「悪い方」＝「あまり良くない」と「悪い」の合計

② 公園や遊び場の整備状況

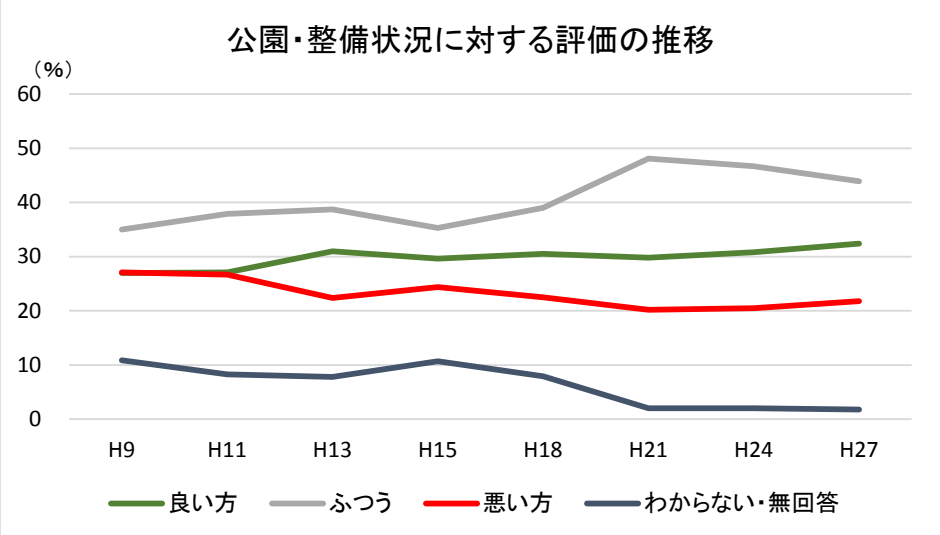
- 公園等の整備状況に対する評価は，３割が「良い」とやや低い。
- 評価の推移をみると「普通」が増加傾向にあり，「悪い」が減少している。「良い」は微増。

■公園や遊び場の整備状況の印象

〔平成 27 年 3 月 31 日現在〕



■公園等の整備状況に対する評価の推移



＊「良い方」＝「非常に良い」と「まあまあ良い」の合計。
「悪い方」＝「あまり良くない」と「悪い」の合計

3-2)みどりの市民アンケート結果

「みどりの市民アンケート」は，旭川市民のみどりに関する意識や行動の現状を把握するとともに，「緑の基本計画」の将来像の実現に向けて設定する目標及び進行管理上の指標について，その達成状況や市民意識の変化に基づき，各施策の見直しや充実化などを図るための基礎資料とすることを目的として，平成27年(2015年)に実施しました。実施の概要は，次のとおりです。

① 平成 27 年度(2015 年度)旭川市みどりの市民アンケートの実施概要

①調査の対象

・旭川市全域。旭川市民のうち，18歳以上の男女3,000人

②抽出方法

・35の地区，性別，年齢のバランスをとって無作為抽出

③実施方法

・調査票の郵送及び郵送による回収

④調査期間

・平成27年(2015年)8月10日発送（記載期間：2週間程度，回収期間：1か月程度）

⑤回収状況

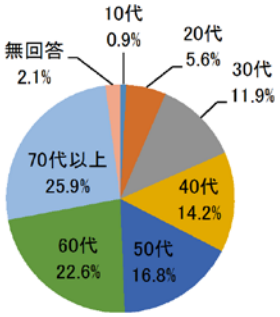
・1,175通（回収率39.5%）

② 基礎データ

あなたの年代はどれですか？（平成27年4月1日現在）

◆60代以上が半数

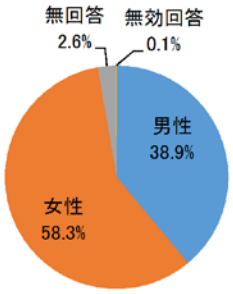
		（人）	（割合）
×	10代	10	0.9%
	20代	66	5.6%
	30代	140	11.9%
	40代	167	14.2%
	50代	198	16.8%
○	60代	266	22.6%
◎	70代以上	304	25.9%
	無回答	25	2.1%
	無効回答	0	0.0%
	合　計	1,176	100.0%



あなたの性別はどちらですか？

◆女性が6割

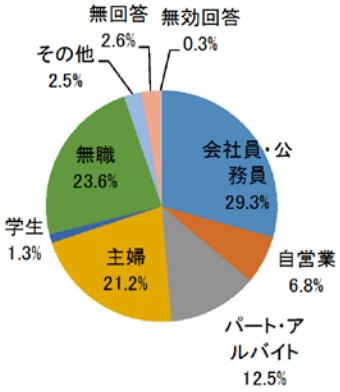
		（人）	（割合）
×	男性	458	38.9%
◎	女性	686	58.3%
	無回答	31	2.6%
	無効回答	1	0.1%
	合　計	1,176	100.0%



あなたのお仕事はどれに当たりますか？

◆会社員公務員が3割で、続いて無職・主婦が2割強

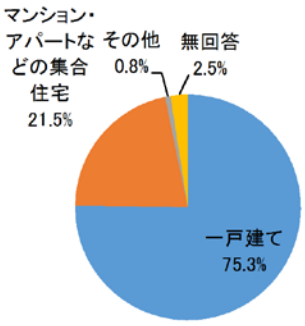
		（人）	（割合）
◎	会社員・公務員	345	29.3%
	自営業	80	6.8%
	パート・アルバイト	147	12.5%
	主婦	249	21.2%
×	学生	15	1.3%
○	無職	278	23.6%
	その他	29	2.5%
	無回答	30	2.6%
	無効回答	3	0.3%
	合　計	1,176	100.0%



あなたのお住まいはどのような形態ですか？

◆一戸建が3/4を占めている

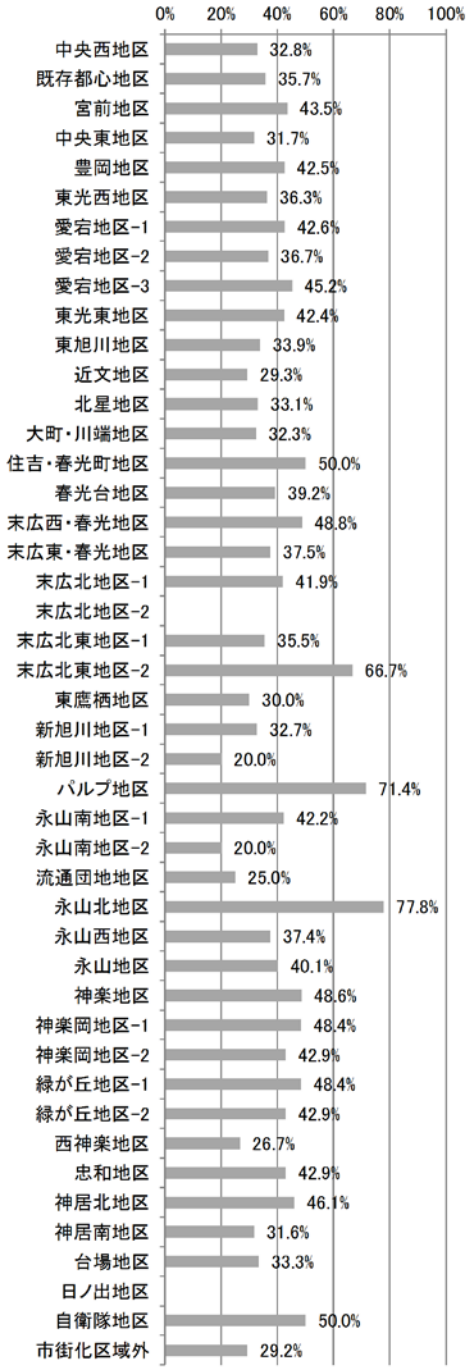
		（人）	（割合）
◎	一戸建て	885	75.3%
○	マンション・アパートなどの集合住宅	253	21.5%
×	その他	9	0.8%
	無回答	29	2.5%
	無効回答	0	0.0%
	合　計	1,176	100.0%



あなたのお住まいの地区は？

◆回答率が高いのは、永山北地区・パルプ地区など

		（人）	（割合）	（送付人数）
	中央西地区	20	32.8%	61
	既存都心地区	45	35.7%	126
	宮前地区	30	43.5%	69
	中央東地区	20	31.7%	63
	豊岡地区	48	42.5%	113
	東光西地区	49	36.3%	135
	愛宕地区-1	49	42.6%	115
	愛宕地区-2	22	36.7%	60
	愛宕地区-3	14	45.2%	31
◎	東光東地区	72	42.4%	170
	東旭川地区	20	33.9%	59
	近文地区	17	29.3%	58
	北星地区	40	33.1%	121
	大町・川端地区	31	32.3%	96
	住吉・春光町地区	31	50.0%	62
	春光台地区	38	39.2%	97
	末広西・春光地区	41	48.8%	84
	末広東・春光地区	27	37.5%	72
	末広北地区-1	31	41.9%	74
×	末広北地区-2	0		0
	末広北東地区-1	39	35.5%	110
	末広北東地区-2	6	66.7%	9
	東鷹栖地区	6	30.0%	20
	新旭川地区-1	32	32.7%	98
	新旭川地区-2	4	20.0%	20
	パルプ地区	5	71.4%	7
	永山南地区-1	27	42.2%	64
	永山南地区-2	1	20.0%	5
	流通団地地区	3	25.0%	12
	永山北地区	7	77.8%	9
	永山西地区	49	37.4%	131
	永山地区	55	40.1%	137
	神楽地区	34	48.6%	70
	神楽岡地区-1	31	48.4%	64
	神楽岡地区-2	21	42.9%	49
○	緑が丘地区-1	59	48.4%	122
	緑が丘地区-2	3	42.9%	7
	西神楽地区	4	26.7%	15
	忠和地区	45	42.9%	105
	神居北地区	35	46.1%	76
	神居南地区	25	31.6%	79
	台場地区	3	33.3%	9
×	日ノ出地区	0		0
	自衛隊地区	5	50.0%	10
	市街化区域外	31	29.2%	106
	無回答	1		
	合　　計	1,176	39.2%	3,000



③ アンケート結果

質問1-1　あなたは，お住まいのまわりのみどりについて，どのような感想をお持ちですか。

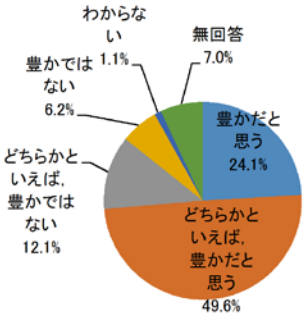
（1）あなたは，住まいのまわりが，みどり豊かだと思いますか。

単数回答

◆7割強が「住いのまわりがみどり豊か」

		（人）	（割合）	（人数合計）	（割合合計）
○	豊かだと思う	283	24.1%	866	73.6%
◎	どちらかといえば，豊かだと思う	583	49.6%		
	どちらかといえば，豊かではない	142	12.1%	215	18.3%
	豊かではない	73	6.2%		
×	わからない	13	1.1%		
	無回答	82	7.0%		
	無効回答	0	0.0%		
	合計	1,176	100.0%		

	（人）	（割合）	
身近な地域においてみどりが豊かであると感じている市民の割合	866	73.6%	★数値目標2-1

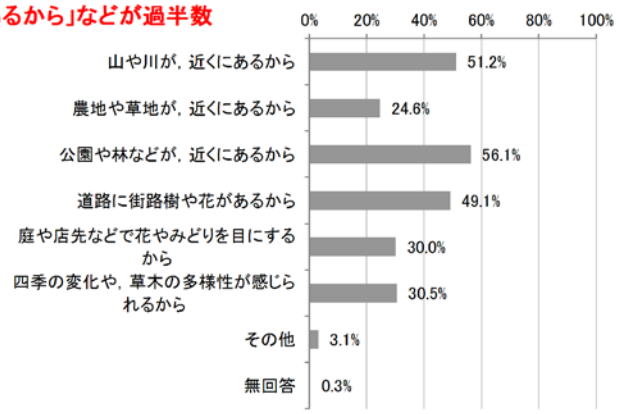


（2）上の（1）の項目で，「1　豊かだと思う」「2　どちらかといえば，豊かだと思う」を選んだ方にお聞きします。
みどり豊かだと思う理由は何ですか。

複数回答　(1)が1or2

◆「公園や林が近くにあるから」「山や川が近くにあるから」などが過半数

		（回答数）	（割合）
○	山や川が，近くにあるから	443	51.2%
	農地や草地が，近くにあるから	213	24.6%
◎	公園や林などが，近くにあるから	486	56.1%
	道路に街路樹や花があるから	425	49.1%
	庭や店先などで花やみどりを目にするから	260	30.0%
	四季の変化や，草木の多様性が感じられるから	264	30.5%
×	その他	27	3.1%
	無回答	3	0.3%
	回答者数	866	244.9%

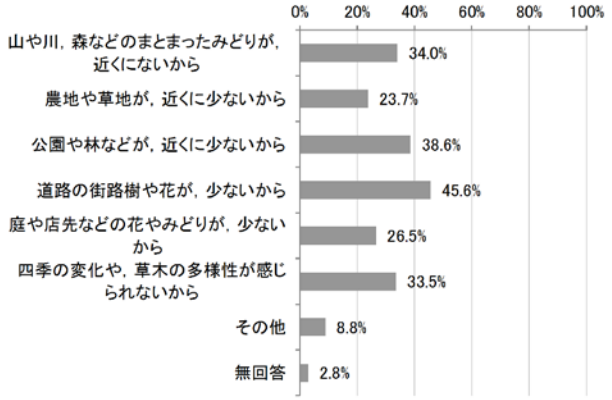


（3）上上の（1）の項目で，「3　どちらかといえば，豊かではない」「4　豊かではない」を選んだ方にお聞きします。
みどり豊かではない理由は何ですか。

複数回答　(1)が3or4

◆「道路の街路樹や花が少ないから」が半数近く

		（回答数）	（割合）
	山や川，森などのまとまったみどりが，近くにないから	73	34.0%
	農地や草地が，近くに少ないから	51	23.7%
○	公園や林などが，近くに少ないから	83	38.6%
◎	道路の街路樹や花が，少ないから	98	45.6%
	庭や店先などの花やみどりが，少ないから	57	26.5%
	四季の変化や，草木の多様性が感じられないから	72	33.5%
×	その他	19	8.8%
	無回答	6	2.8%
	回答者数	215	213.5%



質問1-2　あなたは，都心(買物公園や旭川駅周辺)のみどりについて，どのような感想をお持ちですか。

(1)あなたは，都心(買物公園や旭川駅周辺)が，みどり豊かだと思いますか。

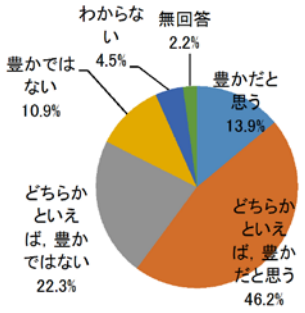
単数回答

◆「都心部がみどり豊か」は6割

		(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
◎	豊かだと思う	164	13.9%	707	60.1%
○	どちらかといえば，豊かだと思う	543	46.2%		
○	どちらかといえば，豊かではない	262	22.3%	390	33.2%
×	豊かではない	128	10.9%		
×	わからない	53	4.5%		
	無回答	26	2.2%		
	無効回答	0	0.0%		
	合計	1,176	100.0%		

	(人)	(割合)
都心部がみどり豊かであると感じている市民の割合	707	60.1%

★数値目標1-1

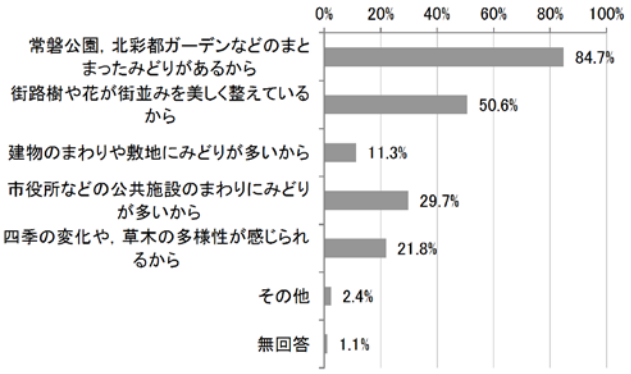


(2)上の(1)の項目で，「1　豊かだと思う」「2　どちらかといえば，豊かだと思う」を選んだ方にお聞きします。
みどり豊かだと思う理由は何ですか。

複数回答　(1)が1or2

◆「常盤公園、北彩都ガーデンなどのまとまったみどりがあるから」が8割強

		(回答数)	(割合)
◎	常磐公園，北彩都ガーデンなどのまとまったみどりがあるから	599	84.7%
○	街路樹や花が街並みを美しく整えているから	358	50.6%
	建物のまわりや敷地にみどりが多いから	80	11.3%
	市役所などの公共施設のまわりにみどりが多いから	210	29.7%
	四季の変化や，草木の多様性が感じられるから	154	21.8%
×	その他	17	2.4%
	無回答	8	1.1%
	回答者数	707	201.7%

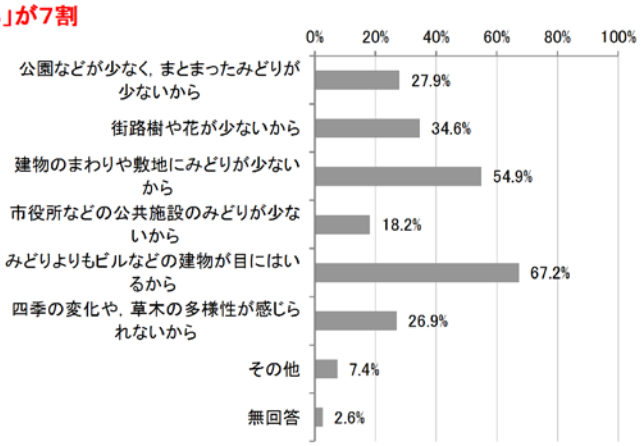


(3)上の(1)の項目で，「3　どちらかといえば，豊かではない」「4　豊かではない」を選んだ方にお聞きします。
みどり豊かではない理由は何ですか。

複数回答　(1)が3or4

◆「みどりよりもビルなどの建物が目にはいるから」が7割

		(回答数)	(割合)
	公園などが少なく，まとまったみどりが少ないから	109	27.9%
	街路樹や花が少ないから	135	34.6%
○	建物のまわりや敷地にみどりが少ないから	214	54.9%
	市役所などの公共施設のみどりが少ないから	71	18.2%
◎	みどりよりもビルなどの建物が目にはいるから	262	67.2%
	四季の変化や，草木の多様性が感じられないから	105	26.9%
×	その他	29	7.4%
	無回答	10	2.6%
	回答者数	390	239.7%



質問1-3　あなたは，お住まいのまわりの道路やよく通る道路のみどりについて，どのような感想をお持ちですか。

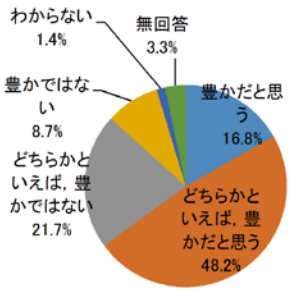
（1）あなたは，お住まいのまわりの道路が，みどり豊かだと思いますか。

単数回答

◆「道路のみどりが豊か」と感じる市民は2/3

		（人）	（割合）	（人数合計）	（割合合計）
	豊かだと思う	197	16.8%	764	65.0%
◎	どちらかといえば，豊かだと思う	567	48.2%		
○	どちらかといえば，豊かではない	255	21.7%	357	30.4%
	豊かではない	102	8.7%		
×	わからない	16	1.4%		
	無回答	39	3.3%		
	無効回答	0	0.0%		
	合計	1,176	100.0%		

	（人）	（割合）
街路樹や道路景観の満足度	764	65.0%

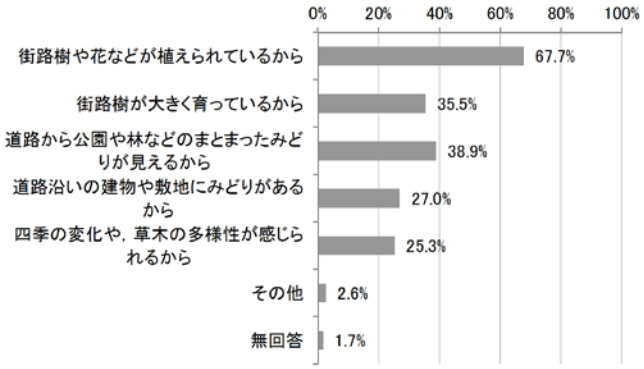


（2）上の（1）の項目で，「1　豊かだと思う」「2　どちらかといえば，豊かだと思う」を選んだ方にお聞きします。みどり豊かだと思う理由は何ですか。

複数回答　(1)が1or2

◆道路が豊かな理由は、「街路樹や花などが植えられているから」が7割近く

		（回答数）	（割合）
◎	街路樹や花などが植えられているから	517	67.7%
	街路樹が大きく育っているから	271	35.5%
○	道路から公園や林などのまとまったみどりが見えるから	297	38.9%
	道路沿いの建物や敷地にみどりがあるから	206	27.0%
	四季の変化や，草木の多様性が感じられるから	193	25.3%
×	その他	20	2.6%
	無回答	13	1.7%
	回答者数	764	198.6%

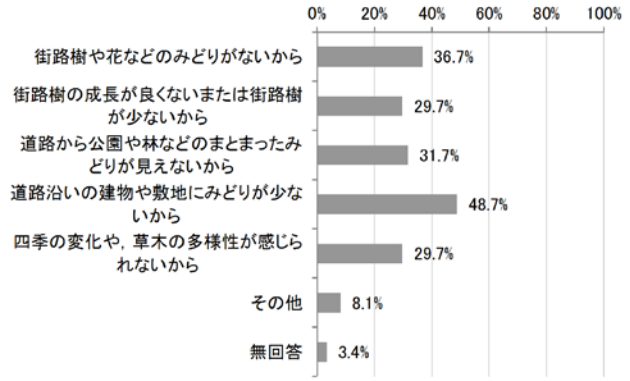


（3）上の（1）の項目で，「3　どちらかといえば，豊かではない」「4　豊かではない」を選んだ方にお聞きします。みどり豊かではない理由は何ですか。

複数回答　(1)が3or4

◆道路のみどりが豊かではない理由は、「道路沿いの建物や敷地にみどりが少ないから」が半数

		（回答数）	（割合）
○	街路樹や花などのみどりがないから	131	36.7%
	街路樹の成長が良くないまたは街路樹が少ないから	106	29.7%
	道路から公園や林などのまとまったみどりが見えないから	113	31.7%
◎	道路沿いの建物や敷地にみどりが少ないから	174	48.7%
	四季の変化や，草木の多様性が感じられないから	106	29.7%
×	その他	29	8.1%
	無回答	12	3.4%
	回答者数	357	188.0%

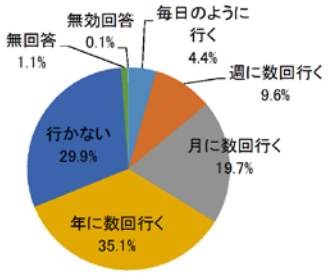


質問2-1　あなたは，身近な公園にどれくらい行きますか。

単数回答

◆「年に数回」が1/3（「行かない」が3割）

		（人）	（割合）
×	毎日のように行く	52	4.4%
	週に数回行く	113	9.6%
	月に数回行く	232	19.7%
◎	年に数回行く	413	35.1%
○	行かない	352	29.9%
	無回答	13	1.1%
	無効回答	1	0.1%
	合計	1,176	100.0%



質問2-2　あなたは，身近な公園に対してどのような感想やお考えをお持ちですか。

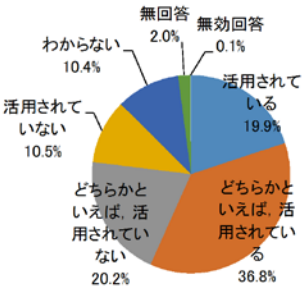
（1）身近な公園は，普段からみなさんの交流の場，遊び場などとして活用されていると思いますか。

単数回答

◆「活用されている」が6割

		（人）	（割合）	（人数合計）	（割合合計）
	活用されている	234	19.9%	667	56.7%
◎	どちらかといえば，活用されている	433	36.8%		
○	どちらかといえば，活用されていない	238	20.2%	362	30.8%
	活用されていない	124	10.5%		
×	わからない	122	10.4%		
	無回答	24	2.0%		
	無効回答	1	0.1%		
	合計	1,176	100.0%		

	（人）	（割合）
公園の活用率	667	56.7%

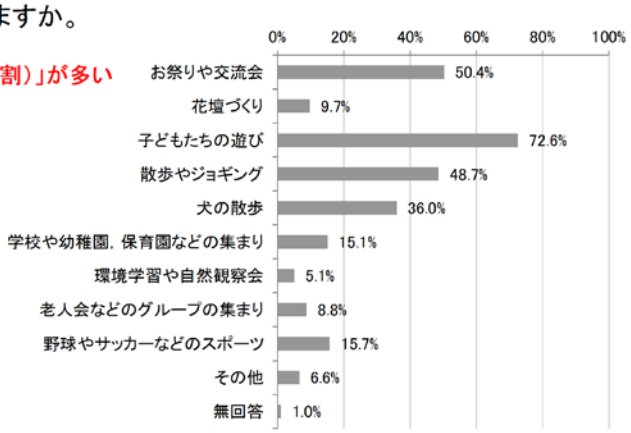


（2）上の（1）の項目で，「1　活用されている」「2　どちらかといえば，活用されている」を選んだ方にお聞きします。
身近な公園は，普段どのように活用されていますか。

複数回答　(1)が1or2

◆「子どもたちの遊び（7割）」「お祭りや交流会（5割）」が多い

		（回答数）	（割合）
○	お祭りや交流会	336	50.4%
	花壇づくり	65	9.7%
◎	子どもたちの遊び	484	72.6%
	散歩やジョギング	325	48.7%
	犬の散歩	240	36.0%
	学校や幼稚園，保育園などの集まり	101	15.1%
×	環境学習や自然観察会	34	5.1%
	老人会などのグループの集まり	59	8.8%
	野球やサッカーなどのスポーツ	105	15.7%
	その他	44	6.6%
	無回答	7	1.0%
	回答者数	667	269.9%



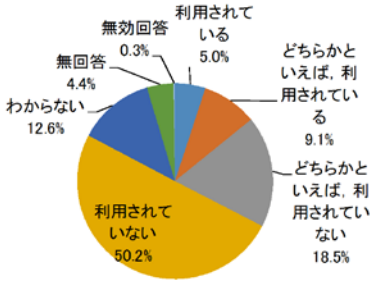
(3) 身近な公園は，冬も利用されていると思いますか。

単数回答

◆「利用されていない」が半数

		(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
×	利用されている	59	5.0%	166	14.1%
	どちらかといえば，利用されている	107	9.1%		
○	どちらかといえば，利用されていない	217	18.5%	807	68.6%
◎	利用されていない	590	50.2%		
	わからない	148	12.6%		
	無回答	52	4.4%		
	無効回答	3	0.3%		
	合計	1,176	100.0%		

	(人)	(割合)
公園の冬季間の活用率	166	14.1%

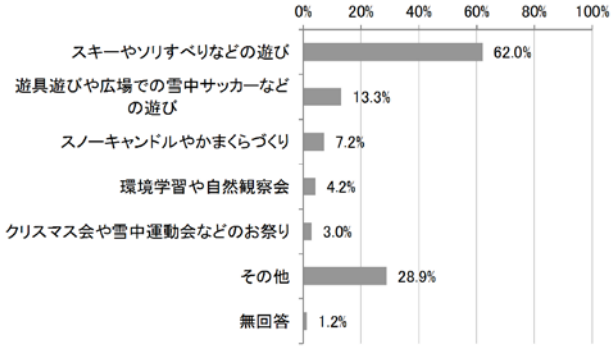


(4) 上の(3)の項目で，「1　利用されている」「2　どちらかといえば，利用されている」を選んだ方にお聞きします。
身近な公園は，冬はどのように利用されていますか。

複数回答　(3)が1or2

◆「スキーやそりすべり」が6割と多い

		(回答数)	(割合)
◎	スキーやソリすべりなどの遊び	103	62.0%
	遊具遊びや広場での雪中サッカーなどの遊び	22	13.3%
	スノーキャンドルやかまくらづくり	12	7.2%
	環境学習や自然観察会	7	4.2%
×	クリスマス会や雪中運動会などのお祭り	5	3.0%
○	その他	48	28.9%
	無回答	2	1.2%
	回答者数	166	119.9%



質問2-3　あなたは，公園の安全・安心について，どのような感想やお考えをお持ちですか。

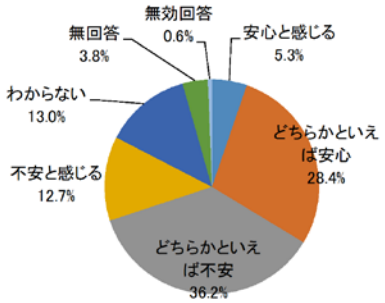
（1）あなたは公園が防犯などにおいて，安全で，安心できる場所だと感じていますか。

単数回答

◆「不安を感じる」が約半数

		（人）	（割合）	（人数合計）	（割合合計）
×	安心と感じる	62	5.3%	396	33.7%
○	どちらかといえば安心	334	28.4%		
◎	どちらかといえば不安	426	36.2%	575	48.9%
	不安と感じる	149	12.7%		
	わからない	153	13.0%		
	無回答	45	3.8%		
	無効回答	7	0.6%		
	合計	1,176	100.0%		

	（人）	（割合）	
公園への安心度	396	33.7%	★数値目標4-2

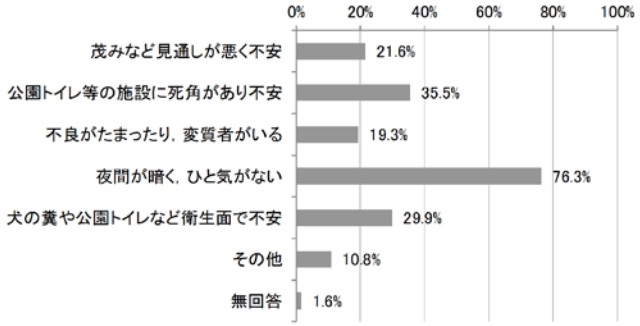


（2）上の（1）の項目で，「3　どちらかといえば不安」「4　不安と感じる」を選んだ方にお聞きします。

複数回答　(3)が3or4

◆「夜間が暗く，ひと気がない」が7割

		（回答数）	（割合）
	茂みなど見通しが悪く不安	124	21.6%
○	公園トイレ等の施設に死角があり不安	204	35.5%
	不良がたまったり，変質者がいる	111	19.3%
◎	夜間が暗く，ひと気がない	439	76.3%
	犬の糞や公園トイレなど衛生面で不安	172	29.9%
×	その他	62	10.8%
	無回答	9	1.6%
	回答者数	575	195.0%



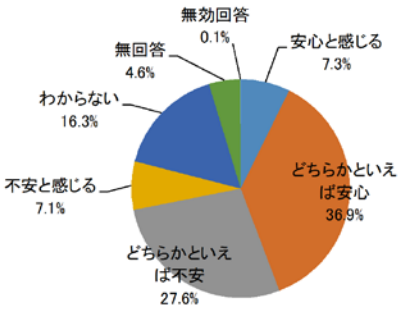
（3）あなたは，公園の施設について，安全で安心できると感じていますか。

単数回答

◆「公園の施設が安心」は4割強

		（人）	（割合）	（人数合計）	（割合合計）
	安心と感じる	86	7.3%	520	44.2%
◎	どちらかといえば安心	434	36.9%		
○	どちらかといえば不安	325	27.6%	409	34.8%
×	不安と感じる	84	7.1%		
	わからない	192	16.3%		
	無回答	54	4.6%		
	無効回答	1	0.1%		
	合計	1,176	100.0%		

	（人）	（割合）	
公園への安心度	520	44.2%	★数値目標4-2

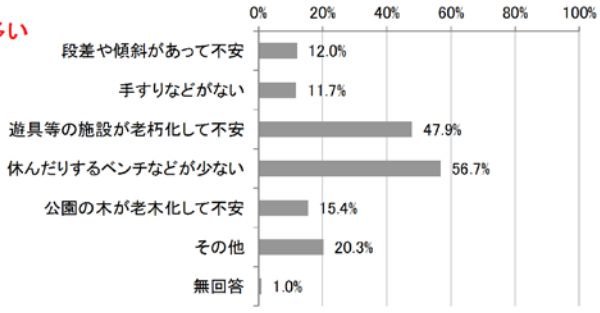


（4）上の（3）の項目で，「3　どちらかといえば不安」「4　不安と感じる」を選んだ方にお聞きします。

複数回答　(3)が3or4

◆不安の理由は、「ベンチがない」「遊具等の老朽化」が多い

		（回答数）	（割合）
	段差や傾斜があって不安	49	12.0%
×	手すりなどがない	48	11.7%
○	遊具等の施設が老朽化して不安	196	47.9%
◎	休んだりするベンチなどが少ない	232	56.7%
	公園の木が老木化して不安	63	15.4%
	その他	83	20.3%
	無回答	4	1.0%
	回答者数	409	165.0%



質問2-4　あなたは，身近な公園に対して総合的に満足していますか。

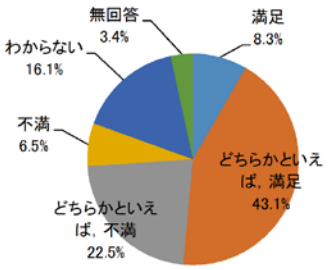
（1）あなたは，身近な公園に対して，総合的に満足していますか。

単数回答

◆約半数が「身近な公園に満足」

		（人）	（割合）	（人数合計）	（割合合計）
	満足	98	8.3%	605	51.4%
◎	どちらかといえば，満足	507	43.1%		
○	どちらかといえば，不満	265	22.5%	342	29.1%
×	不満	77	6.5%		
	わからない	189	16.1%		
	無回答	40	3.4%		
	無効回答	0	0.0%		
	合計	1,176	100.0%		

	（人）	（割合）
身近な公園の総合的な満足度	605	51.4%

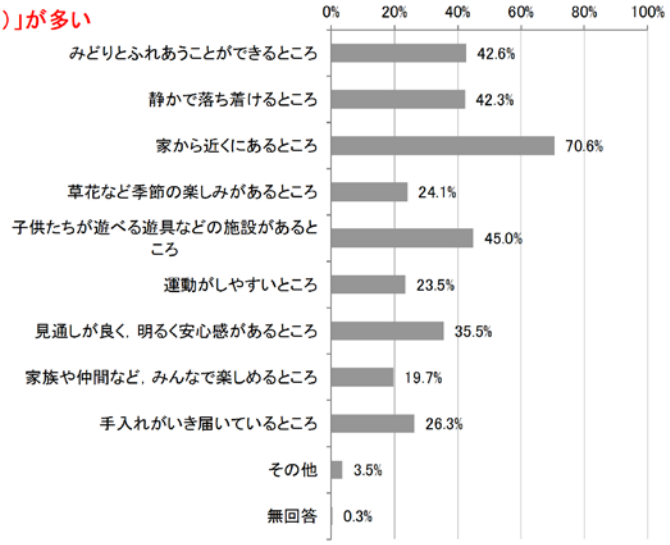


（2）上の（1）の項目で「1　満足」「2　どちらかといえば，満足」を選んだ方にお聞きします。
　　どんなところが満足ですか。

複数回答　(3)が1or2

◆「家の近く（7割）」「子どもたちが遊べる遊具（5割）」が多い

		（回答数）	（割合）
	みどりとふれあうことができるところ	258	42.6%
	静かで落ち着けるところ	256	42.3%
◎	家から近くにあるところ	427	70.6%
	草花など季節の楽しみがあるところ	146	24.1%
○	子供たちが遊べる遊具などの施設があるところ	272	45.0%
	運動がしやすいところ	142	23.5%
	見通しが良く，明るく安心感があるところ	215	35.5%
	家族や仲間など，みんなで楽しめるところ	119	19.7%
	手入れがいき届いているところ	159	26.3%
×	その他	21	3.5%
	無回答	2	0.3%
	回答者数	605	333.4%

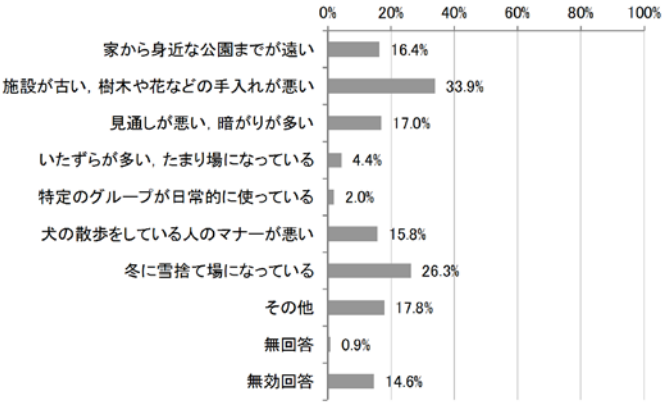


（3）上の（1）の項目で「3　どちらかといえば，不満」「4　不満」を選んだ方にお聞きします。
　　不満の理由はどんなことですか

2つまで回答　(3)が3or4

◆「施設が古い，手入れが悪い（3割）」が多い

		（回答数）	（割合）
	家から身近な公園までが遠い	56	16.4%
◎	施設が古い，樹木や花などの手入れが悪い	116	33.9%
	見通しが悪い，暗がりが多い	58	17.0%
	いたずらが多い，たまり場になっている	15	4.4%
×	特定のグループが日常的に使っている	7	2.0%
	犬の散歩をしている人のマナーが悪い	54	15.8%
○	冬に雪捨て場になっている	90	26.3%
	その他	61	17.8%
	無回答	3	0.9%
	無効回答	50	14.6%
	回答者数	342	149.1%



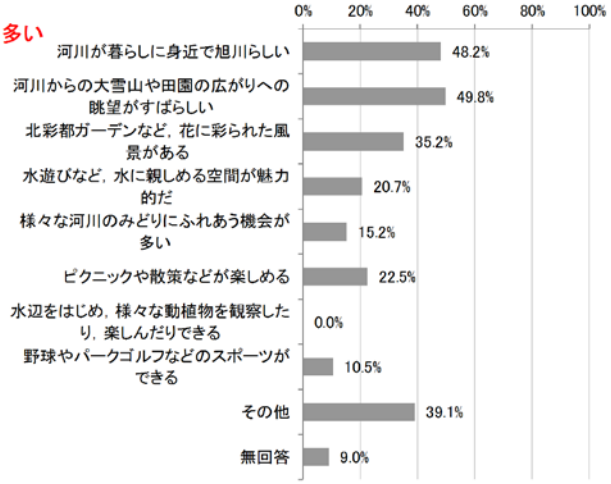
質問3-1　旭川の河川について，どのような感想をお持ちですか。

（1）旭川の河川は，どのような魅力を持っていると感じますか。

複数回答

◆「河川が身近」「大雪山や田園の広がり」が5割と多い

		（回答数）	（割合）
○	河川が暮らしに身近で旭川らしい	567	48.2%
◎	河川からの大雪山や田園の広がりへの眺望がすばらしい	586	49.8%
	北彩都ガーデンなど，花に彩られた風景がある	414	35.2%
	水遊びなど，水に親しめる空間が魅力的だ	243	20.7%
	様々な河川のみどりにふれあう機会が多い	179	15.2%
	ピクニックや散策などが楽しめる	265	22.5%
×	水辺をはじめ，様々な動植物を観察したり，楽しんだりできる	0	0.0%
	野球やパークゴルフなどのスポーツができる	123	10.5%
	その他	460	39.1%
	無回答	106	9.0%
	回答者数	1,176	250.3%

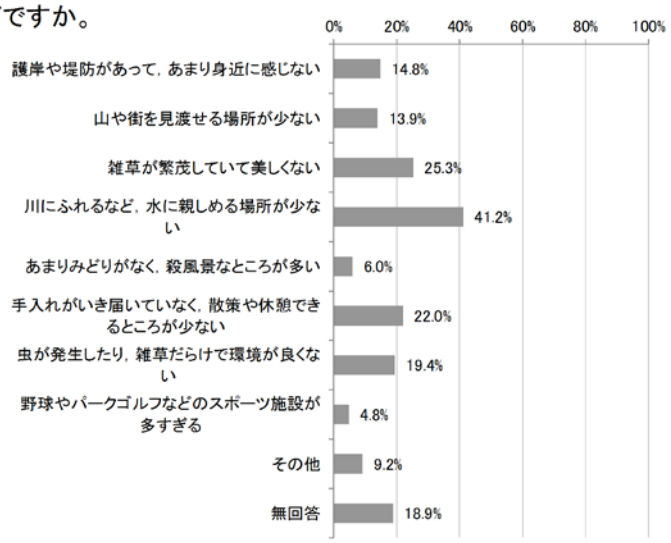


（2）旭川の河川について，気になっていることは何ですか。

複数回答

◆「水に親しめる場所が少ない（4割）」が多い

		（回答数）	（割合）
	護岸や堤防があって，あまり身近に感じない	174	14.8%
	山や街を見渡せる場所が少ない	164	13.9%
○	雑草が繁茂していて美しくない	298	25.3%
◎	川にふれるなど，水に親しめる場所が少ない	485	41.2%
	あまりみどりがなく，殺風景なところが多い	70	6.0%
	手入れがいき届いていなく，散策や休憩できるところが少ない	259	22.0%
	虫が発生したり，雑草だらけで環境が良くない	228	19.4%
×	野球やパークゴルフなどのスポーツ施設が多すぎる	56	4.8%
	その他	108	9.2%
	無回答	222	18.9%
	回答者数	1,176	175.5%

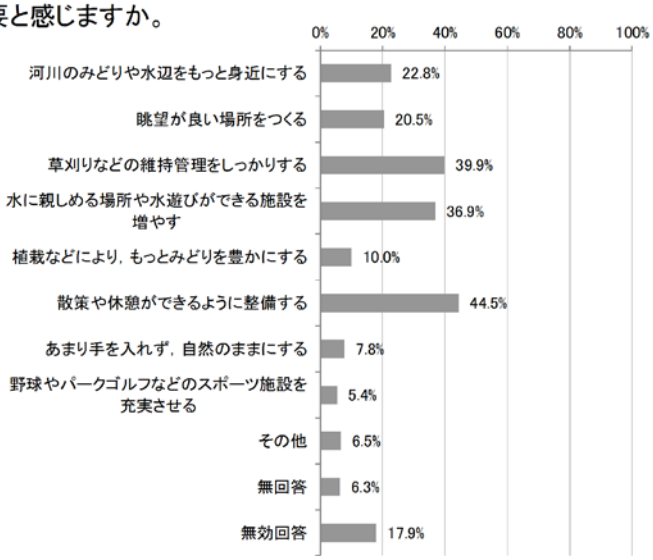


（3）旭川の河川について今後，どのようなことが必要と感じますか。

2つまで回答

◆「散策や休憩ができるように整備する」が約半数

		（回答数）	（割合）
	河川のみどりや水辺をもっと身近にする	268	22.8%
	眺望が良い場所をつくる	241	20.5%
○	草刈りなどの維持管理をしっかりする	469	39.9%
	水に親しめる場所や水遊びができる施設を増やす	434	36.9%
	植栽などにより，もっとみどりを豊かにする	118	10.0%
◎	散策や休憩ができるように整備する	523	44.5%
	あまり手を入れず，自然のままにする	92	7.8%
×	野球やパークゴルフなどのスポーツ施設を充実させる	63	5.4%
	その他	77	6.5%
	無回答	74	6.3%
	無効回答	211	17.9%
	回答者数	1,176	218.5%



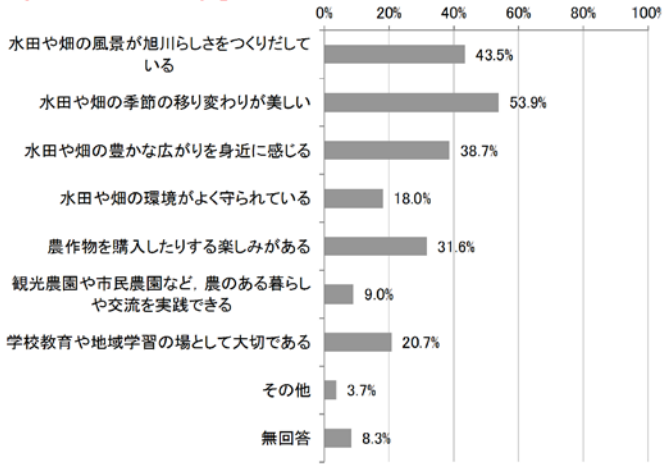
質問3-2　旭川の田園について，どのような感想をお持ちですか。

（1）旭川の田園は，どのような魅力を持っていると感じますか。

複数回答

◆「田園の季節の移り変わり（5割）」「水田や畑の風景が旭川らしさ（4割）」が多い

		（回答数）	（割合）
○	水田や畑の風景が旭川らしさをつくりだしている	511	43.5%
◎	水田や畑の季節の移り変わりが美しい	634	53.9%
	水田や畑の豊かな広がりを身近に感じる	455	38.7%
	水田や畑の環境がよく守られている	212	18.0%
	農作物を購入したりする楽しみがある	372	31.6%
	観光農園や市民農園など，農のある暮らしや交流を実践できる	106	9.0%
	学校教育や地域学習の場として大切である	244	20.7%
×	その他	43	3.7%
	無回答	98	8.3%
	回答者数	1,176	227.5%

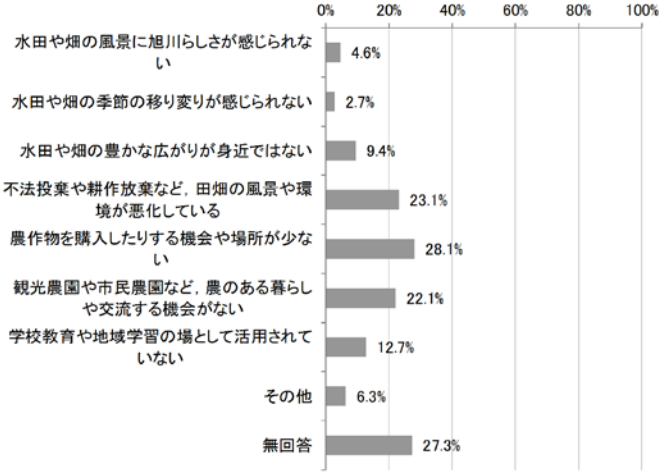


（2）旭川の田園について，困っていることや気になっていることは何ですか。

複数回答

◆「農作物を購入する機会や場所が少ない（3割弱）」「田園の風景や環境が悪化（2割）」が多い

		（回答数）	（割合）
	水田や畑の風景に旭川らしさが感じられない	54	4.6%
×	水田や畑の季節の移り変りが感じられない	32	2.7%
	水田や畑の豊かな広がりが身近ではない	111	9.4%
○	不法投棄や耕作放棄など，田畑の風景や環境が悪化している	272	23.1%
◎	農作物を購入したりする機会や場所が少ない	330	28.1%
	観光農園や市民農園など，農のある暮らしや交流する機会がない	260	22.1%
	学校教育や地域学習の場として活用されていない	149	12.7%
	その他	74	6.3%
	無回答	321	27.3%
	回答者数	1,176	136.3%

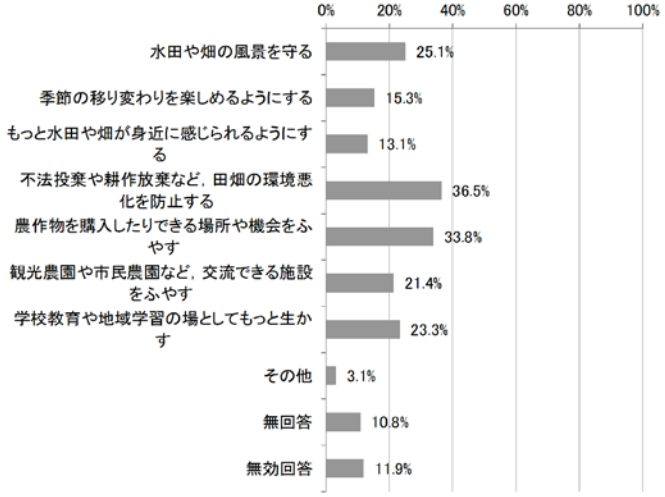


（3）旭川の田園について今後，どのようなことが必要と感じますか。

2つまで回答

◆「環境悪化の防止（4割弱）」「農作物購入の場所や機会の拡大（3割強）」が多い

		（回答数）	（割合）
	水田や畑の風景を守る	295	25.1%
	季節の移り変わりを楽しめるようにする	180	15.3%
	もっと水田や畑が身近に感じられるようにする	154	13.1%
◎	不法投棄や耕作放棄など，田畑の環境悪化を防止する	429	36.5%
○	農作物を購入したりできる場所や機会をふやす	398	33.8%
	観光農園や市民農園など，交流できる施設をふやす	252	21.4%
	学校教育や地域学習の場としてもっと生かす	274	23.3%
×	その他	37	3.1%
	無回答	127	10.8%
	無効回答	140	11.9%
	回答者数	1,176	388.8%



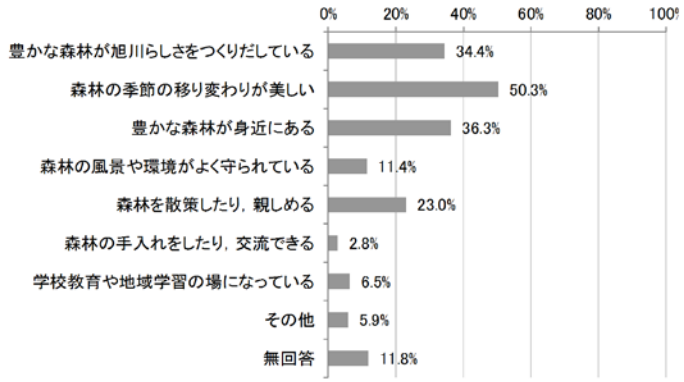
質問3-3　森林について，どのような感想をお持ちですか。

（1）旭川の森林は，どのような魅力を持っていると感じますか。

複数回答

◆「季節の移り変わりが美しい（5割）」「豊かな森林が身近にある（4割弱）」が多い

		（回答数）	（割合）
	豊かな森林が旭川らしさをつくりだしている	405	34.4%
◎	森林の季節の移り変わりが美しい	592	50.3%
○	豊かな森林が身近にある	427	36.3%
	森林の風景や環境がよく守られている	134	11.4%
	森林を散策したり，親しめる	271	23.0%
×	森林の手入れをしたり，交流できる	33	2.8%
	学校教育や地域学習の場になっている	76	6.5%
	その他	69	5.9%
	無回答	139	11.8%
	回答者数	1,176	182.5%

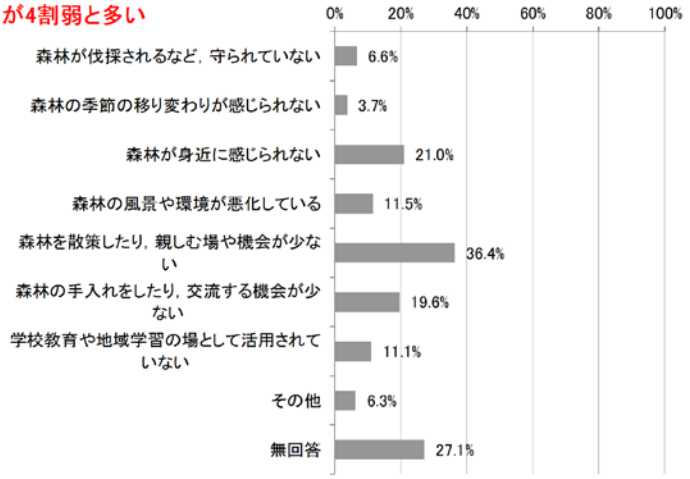


（2）旭川の森林について，困っていることや気になっていることは何ですか。

複数回答

◆「森林を散策したり、親しむ場や機会が少ない」が4割弱と多い

		（回答数）	（割合）
	森林が伐採されるなど，守られていない	78	6.6%
×	森林の季節の移り変わりが感じられない	43	3.7%
○	森林が身近に感じられない	247	21.0%
	森林の風景や環境が悪化している	135	11.5%
◎	森林を散策したり，親しむ場や機会が少ない	428	36.4%
	森林の手入れをしたり，交流する機会が少ない	230	19.6%
	学校教育や地域学習の場として活用されていない	130	11.1%
	その他	74	6.3%
	無回答	319	27.1%
	回答者数	1,176	299.0%

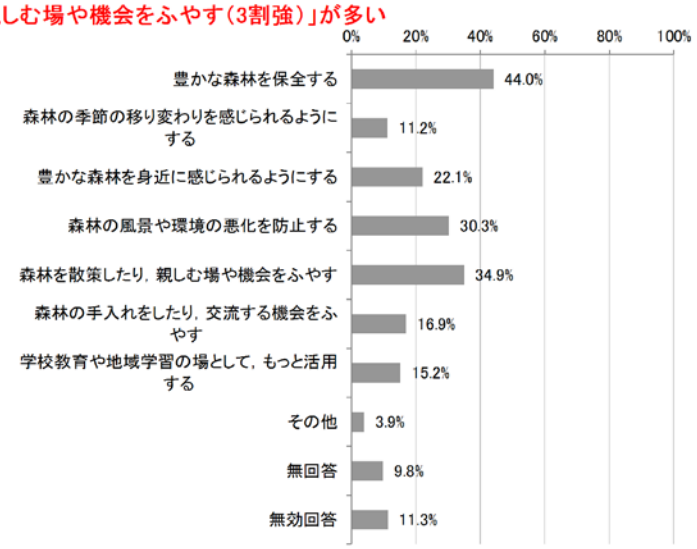


（3）旭川の森林について今後，どのようなことが必要と感じますか。

2つまで回答

◆「豊かな森林を保全（4割強）」「散策したり，親しむ場や機会をふやす（3割強）」が多い

		（回答数）	（割合）
◎	豊かな森林を保全する	518	44.0%
	森林の季節の移り変わりを感じられるようにする	132	11.2%
	豊かな森林を身近に感じられるようにする	260	22.1%
	森林の風景や環境の悪化を防止する	356	30.3%
○	森林を散策したり，親しむ場や機会をふやす	411	34.9%
	森林の手入れをしたり，交流する機会をふやす	199	16.9%
	学校教育や地域学習の場として，もっと活用する	179	15.2%
×	その他	46	3.9%
	無回答	115	9.8%
	無効回答	133	11.3%
	回答者数	1,176	399.5%



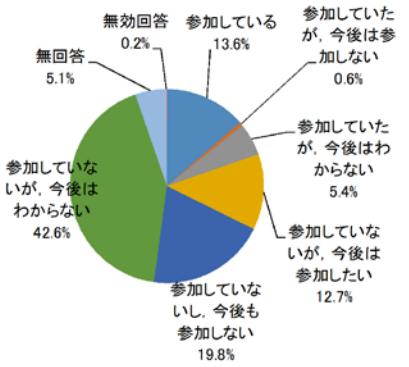
質問4-1　みどりとのふれあいや関わりについてお聞きします。

(1)公園・道路の花壇づくりやみどりの維持管理に参加していますか。

単数回答

◆「参加していない」が8割弱

		(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
	参加している	160	13.6%	231	19.6%
×	参加していたが，今後は参加しない	7	0.6%		
	参加していたが，今後はわからない	64	5.4%		
	参加していないが，今後は参加したい	149	12.7%	883	75.1%
○	参加していないし，今後も参加しない	233	19.8%		
◎	参加していないが，今後はわからない	501	42.6%		
	無回答	60	5.1%		
	無効回答	2	0.2%		
	合計	1,176	100.0%		



	(人)	(割合)
みどりの維持管理への参加	231	19.6%
今後について「参加しない」，または「わからない」	805	68.5%

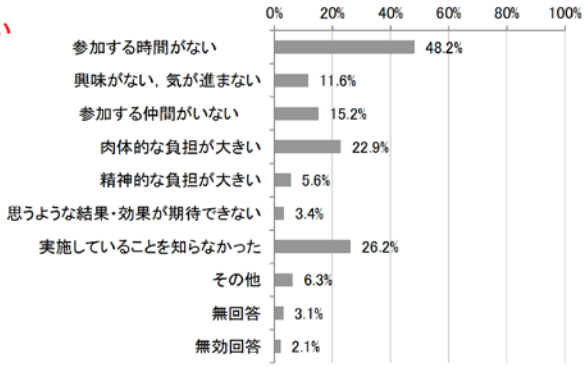
★数値目標3-1

(2)上の(1)で，今後について「参加しない」または，「わからない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何で

2つまで回答

◆「時間がない(5割)」「知らなかった(3割弱)」が多い

		(回答数)	(割合)
◎	参加する時間がない	388	48.2%
	興味がない，気が進まない	93	11.6%
	参加する仲間がいない	122	15.2%
	肉体的な負担が大きい	184	22.9%
	精神的な負担が大きい	45	5.6%
×	思うような結果・効果が期待できない	27	3.4%
○	実施していることを知らなかった	211	26.2%
	その他	51	6.3%
	無回答	25	3.1%
	無効回答	17	2.1%
	回答者数	805	144.5%

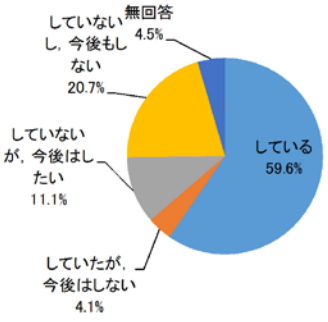


(3)家庭菜園や庭づくり(貸農園やベランダを含む)をしていますか。

単数回答

◆「している」が6割と多い

		(人)	(割合)	(人数合計)	(割合合計)
◎	している	701	59.6%	749	63.7%
×	していたが，今後はしない	48	4.1%		
	していないが，今後はしたい	131	11.1%	374	31.8%
○	していないし，今後もしない	243	20.7%		
	無回答	53	4.5%		
	無効回答	0	0.0%		
	合計	1,176	100.0%		



	(人)	(割合)
家庭菜園や庭づくりをした	749	63.7%
今後について「しない」	291	24.7%

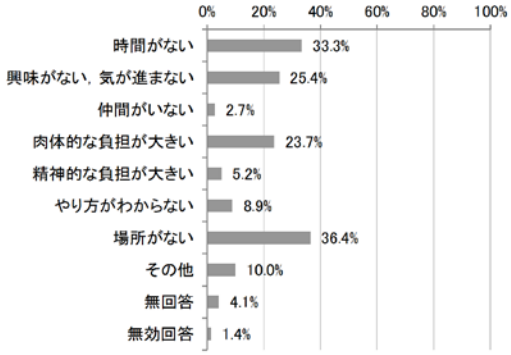
★数値目標2-2

(4)上の(3)で，今後について「しない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。

2つまで回答

◆「場所がない(4割弱)」「時間がない(3割)」が多い

		(回答数)	(割合)
○	時間がない	97	33.3%
	興味がない，気が進まない	74	25.4%
×	仲間がいない	8	2.7%
	肉体的な負担が大きい	69	23.7%
	精神的な負担が大きい	15	5.2%
	やり方がわからない	26	8.9%
◎	場所がない	106	36.4%
	その他	29	10.0%
	無回答	12	4.1%
	無効回答	4	1.4%
	回答者数	291	151.2%

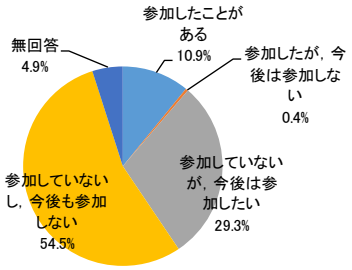


（5）市内で行われている花やみどり，環境についての講習会やセミナーなどに参加したことがありますか。

単数回答

◆「参加していない」が8割、「していないが今後は参加したい」は3割

		（人）	（割合）	（人数合計）	（割合合計）
	参加したことがある	128	10.9%	133	11.3%
×	参加したが，今後は参加しない	5	0.4%		
○	参加していないが，今後は参加したい	344	29.3%	985	83.8%
◎	参加していないし，今後も参加しない	641	54.5%		
	無回答	58	4.9%		
	無効回答	0	0.0%		
	合計	1,176	100.0%		



	（人）	（割合）
講習会やセミナーなどへ参加	133	11.3%
今後について「参加しない」	646	54.9%

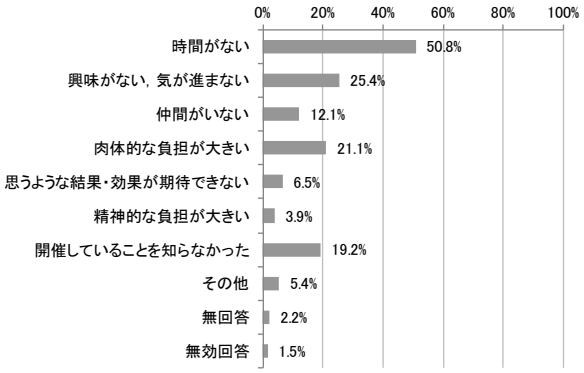
★数値目標5-2

（6）上の（5）で，今後について「参加しない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。

2つまで回答

◆参加しない理由は「時間がない」が5割

		（回答数）	（割合）
◎	時間がない	328	50.8%
○	興味がない，気が進まない	164	25.4%
	仲間がいない	78	12.1%
	肉体的な負担が大きい	136	21.1%
	思うような結果・効果が期待できない	42	6.5%
×	精神的な負担が大きい	25	3.9%
	開催していることを知らなかった	124	19.2%
	その他	35	5.4%
	無回答	14	2.2%
	無効回答	10	1.5%
	回答者数	646	148.0%

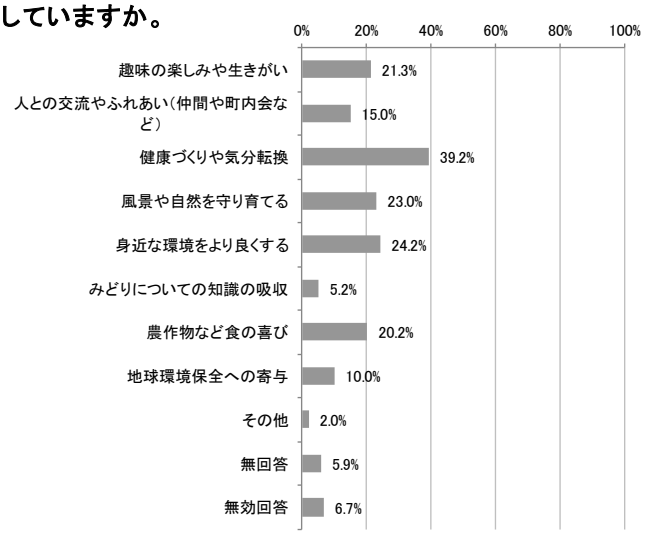


質問4-2　あなたは，みどりとのふれあいに何を期待していますか。

2つまで回答

◆「健康づくりや気分転換」が4割と多い

		（回答数）	（割合）
	趣味の楽しみや生きがい	250	21.3%
	人との交流やふれあい（仲間や町内会など）	176	15.0%
◎	健康づくりや気分転換	461	39.2%
	風景や自然を守り育てる	271	23.0%
○	身近な環境をより良くする	285	24.2%
	みどりについての知識の吸収	61	5.2%
	農作物など食の喜び	238	20.2%
	地球環境保全への寄与	118	10.0%
×	その他	24	2.0%
	無回答	69	5.9%
	無効回答	79	6.7%
	回答者数	1,176	172.8%



質問5-1　旭川のみどりをより良くしていく上で，どのようなことが大事だと感じますか。

3つまで回答

◆「安全安心を大事にする（4割弱）」「多世代で楽しめる公園の充実（3割）」が多い

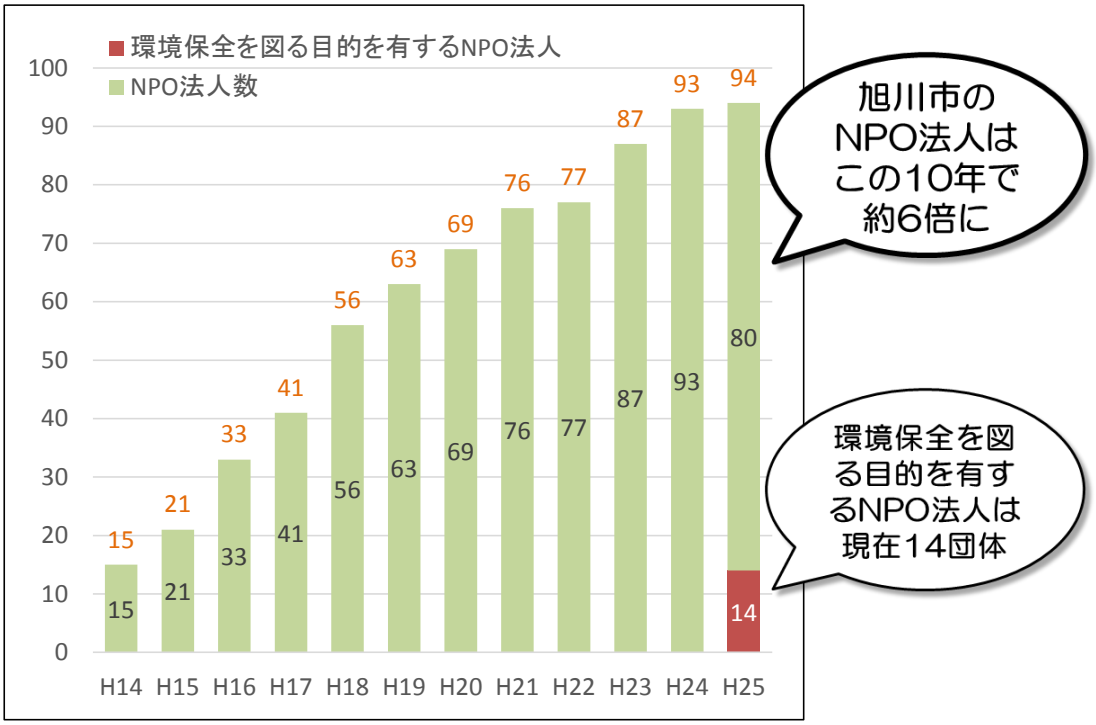
	（回答数）	（割合）
1. 河川や大きな公園，農地や森林などの，骨格となるみどりを守り育てる	344	29.3%
2. 都心（中心市街地）のみどりをふやし，うるおいづくりを進める	257	21.9%
3. 旭川らしいみどりの文化やブランドを創っていく	273	23.2%
4. 花壇づくりなど，にぎわいを生む彩りあるみどりづくりを進める	131	11.1%
○ 5. 多世代で多様に楽しめる公園を充実させる	392	33.3%
6. 地域ぐるみでみどりと花づくりを推進する	91	7.7%
7. 地域のシンボルとなるみどりづくりを進める	101	8.6%
8. 家庭菜園や市民農園など，田園生活を楽しむみどりを増やしていく	128	10.9%
9. 花やみどりの維持管理で，市民協働を促進する	68	5.8%
10. 省エネルギー化（LED化等）や，みどりのリサイクル（落ち葉の堆肥化等）などを進める	188	16.0%
11. みどりづくりを支える制度や仕組みづくりを強化する	94	8.0%
12. 公園の防災施設を充実したり，斜面地のみどりを守るなど，防災面を強化する	174	14.8%
◎ 13. 公園の防犯や遊具の安全など，安全・安心を大事にする	432	36.7%
14. 河川を活かすなど，生態系ネットワークづくりに力を入れる	154	13.1%
15. 生物多様性に配慮し，拠点となるみどりづくりを進める	97	8.2%
16. みどりの環境教育や知識の普及啓発を強化する	96	8.2%
× 17. その他	26	2.2%
無回答	60	5.1%
無効回答	26	2.2%
回答者数	1,176	266.3%

3-3)みどりの市民活動の動向

旭川市のみどりの市民活動には，昭和48年(1973年)から活動を行っている「旭川市を緑にする会」があり，自ら緑化活動を行うほか，町内会などの花壇づくりや記念植樹を支援する活動など，多様な協働が行われています。しかしながら，他の活動団体がこの20年で統廃合されるなど，市民団体の活力低下が懸念されます。

一方，旭川市の市民活動は，NPO法人数がこの10年間で約6倍になるなど，活発化の傾向にあります。現在94あるNPO法人のうち，環境保全を図る目的を有する団体数は14法人あり，今後，こうしたみどりの市民活動団体と連携して緑化の推進を図っていくことが期待されます。

■旭川市の市民活動団体の動向



４　旭川市緑の基本計画（前計画）の概要

4-1)前計画の基本的視点

旭川市緑の基本計画(平成8年策定)は，次の基本的視点に基づいています。

①地球環境の保全

環境の悪化は，経済活動の上でも精神的な面においても様々な問題となってわきだしており，連鎖反応として地球規模の問題となっています。その中で私たちは，限りある資源を保全し，未来にわたって責任のもてる成長の方向を探り，新たな地球環境時代を見据えた計画づくりが必要となっています。

②自然との共生

緑と太陽や風，緑と水や土，緑と動物など，そのどれもが環境をつくる上で大切な役割を果たしており，共生の関係にあります。市民一人ひとりが自然との共生に関心を持ち，自分が果たすべき役割と目標を理解した上で，街と自然が適度な距離をもって接する人間的な感性の豊かなまちづくりが必要です。

③安全で快適な街

より高密になっていく都市空間には，これまで以上に防災上の安全性や空間的なゆとりが必要になってきます。住みよい環境は，暮らす上で基本的な要件が整っていることが大前提です。こうした快適性を考えたまちづくりが必要です。

④四季を楽しむゆとりある暮らし

樹木や草花のすばらしい点は，季節や天候によって成長し，動物と互いに影響しあいながら高めあっていくことにあります。また，寒さや雪も見かたを変えれば他の地域では得られない私たちの財産です。この豊かな環境に価値を見出し，個性的なまちづくりを進めることで，より豊かな生活を実現し，活きいきとした街の魅力づくりを進めることが必要です。

4-2)前計画の課題

前計画では，旭川市の緑の状況と分析（平成８年時点）の結果をもとに，緑が果たす４つの基本的な機能を視点として，旭川市の緑の課題を抽出しています。

■環境保全の視点での課題

①河川の保全と生物空間としての利用
②市街地近郊の丘陵地などの保全と活用
③田園の保全
④線的な緑地の確保
⑤市街地に残る樹林地の保全や創出
⑥公園緑地の適正配置と多自然型整備の推進

■レクリエーションの視点での課題

①広域レクリエーションネットワークの構築
②自然に親しむレクリエーション活動の場の提供
③総合公園や運動公園の整備促進
④街区公園や近隣公園などの適正な配置
⑤公園や主要施設を結ぶネットワークの形成
⑥公的緑地の確保や民有地誘導施策の展開
⑦差別化や状況に合った多様な公園緑地の整備
⑧公共公益施設のレクリエーション利用

■防災の視点での課題

①河川を利用した避難地，避難路の確保
②斜面崩壊や土砂流出の防止
③無秩序な市街化や開発の防止
④身近な避難地の配置や緑化の推進
⑤安全な避難路の確保や保全と活用
⑥災害防止や公害の軽減
⑦広域・一次避難地の機能強化

■景観の視点での課題

①河川によって特徴づけられる特色ある景観形成
②自然豊かな旭川を印象づける景観の形成
③既存樹木の保全や民有地の緑化推進
④公園緑地や公共施設の緑化による景観向上
⑤無秩序な市街化や開発の防止
⑥道路の修景による景観の向上と特徴づけ
⑦旭川らしい個性的な施設整備

■前計画で抽出された課題（平成8年時点）

	現況と分析結果	環境保全の視点での課題	レクリエーションの視点での課題	防災の視点での課題	景観の視点での課題
自然	冷涼な気候で寒暖の差が大きい	水面など旭川の都市気候と関連する場所の保全や創出	特徴的な気候風土を活かした公園緑地の利用や施設整備		特徴的な気候によってもたらされる旭川らしい風景の保全
	風が弱い	市街地近郊の丘陵地などの保全			
	大雪山系を源とする多くの河川が市内に貫入する	生物等の回廊としての保全や活用	広域的なレクリエーションネットワークの骨格化	広域避難所や避難地としての利用	旭川を特徴づける重要な景観資源としての印象づけ
	山地や丘陵地に囲まれる地形である		自然に親しむレクリエーション活動の場としての利用	斜面崩壊や土砂流出などの災害の防止	豊かな緑に囲まれた旭川の景観のイメージづくり
	多様な植生と植生に合わせた動物の棲み分けや市街地による東西の移動阻害が見られる	現存植生の保全と生物移動空間の確保			
	亜高山植物など草本の基準標本産地が周辺丘陵地に分布する	丘陵地の保全と自然に親しむ施策の展開			自然豊かな旭川を象徴する景観資源としての活用
社会	人口増加は横ばいの傾向を示す	優れた環境形成による旭川の魅力づくり	多様なレクリエーション活動の場の提供による旭川の魅力づくり	安全で快適な施策の展開による安心感の形成	
	20年後には人口の1/4程度まで老齢人口が増加する		利用者層の変化に合わせた公園等の整備や身近な場所への配置	高齢者が移動しやすい避難路の整備と身近な場所への避難地の配置	
	世帯数の増加が顕著である			無秩序な市街地の拡大や開発の防止	
	第3次産業を中心とする消費型都市の傾向が見られる		産業や歴史的背景などを踏まえた個性的なレクリエーション施設の整備		産業や歴史的背景などを踏まえた個性的な公園緑地や街路整備などの推進
	木材加工を主体とする第2次産業が特徴となっている				
	農地開拓を目的として明治23年に石狩川の氾濫源にか神居、永山、旭川の村落が開かれた				
	軍都、鉄道の要衝として大きく発展し、戦後は北海道の拠点都市となっている				
	産業構造上、財政力指数は低めである				
みどり	河川、丘陵地、田園の緑に依存した構造を有している	河川・丘陵地・田園の保全と活用			
	神楽、神居，春光などの丘陵地に接する古くからの市街地の緑被率が高い	樹林地などの保全による生物の生息域の確保		延焼の防止など災害防止の面からの保全と育成	深みと潤いのある景観を形成する景観資源としての保全と育成
	新興住宅地の緑被率が低い	まとまった樹林地の創出や貴重な既存林の保全	公園緑地などの樹林地率の向上	連続的な防災樹林などの確保や避難地となる施設の緑化推進	街路樹の整備などによる景観の改善
	公園緑地の整備は、道内都市と比較すると低い水準にある	地区公園クラスの公園緑地の配置による環境保全上の拠点整備	住区基幹公園や都市基幹公園の適正配置	広域・一次避難地の機能強化	
	街路樹は、中心市街地周辺が多く、それ以外は少ない	線的な緑地の確保による環境保全の推進	緑道や道路環境施設帯などの確保による多様なレクリエーション空間の提供	避難路のネットワークの形成	街路樹などによる街並みの修景
	小中学校、行政施設、幼稚園などの公共公益施設の緑化が立ち遅れている		施設と一体となった新しいレクリエーション空間の確保	避難地となる施設の緑化推進	公共公益施設の緑化による景観形成の誘導
	商業地や民有地は全体に低い緑化状況となっている	民有地緑化修景の誘導施策の導入			
	緑豊かな印象は、丘陵地周辺など高いが市内全体でみると希薄な印象をうける	公園緑地などの適正配置			
	公園緑地の整備は、古くからの市街地が高密度で公園緑地などが少ない	地区公園クラスの公園緑地の配置による環境保全上の拠点整備	住区基幹公園や都市基幹公園の適正配置	身近な避難地の確保	緑地などの整備による都市景観の向上

4-3)前計画の目標と基本方針

① 前計画目標

旭川市緑の基本計画は，旭川市都市計画マスタープランに定める「都市整備の理念」に基づく計画です。

都市整備の理念：自然が輝き，人がにぎわう都市の形成

旭川市緑の基本計画では，水や緑，花によって旭川の特色ある緑づくりを進めることで，自然に親しみやすく，やさしい環境を形成し，市民の住む喜びや誇りを育んでいく，旭川の緑のまちづくりの目標を次のように定めています。

前計画の目標

水と緑と人が輝くまちづくり

② 前計画の基本方針

前計画の基本方針は，次の４つとなっています。

１．緑の骨格をつくる

旭川には街をとりまく豊かな緑があり，水などの涵養に有効であるのはもちろん，動植物の生きる場所としても重要な役割を担っています。これらの緑を保全していくとともに，活用したり再生したりしながら，市街地にも取り込み，さらに街のシンボルとなる緑を創出して緑の骨格をつくります。これによって周辺町村も視野に含めた広域的なつながりを形成するとともに，景観的にも生態系にとっても豊かな緑を形成できます。

２．緑をつなぐ

点在型の整備では，防災効果や生活快適性の見地からも緑は有効に機能できず現在の市街地多くの地区でそのような状況が見られます。市街地にゆとりある空間を提供し，景観的に整えながら，避難路や防火帯となる連続する緑が必要です。道路や河川，利用されていない公有地や民間の空地を有効に活用し，積極的に緑の連なりを形成して安全で快適な街を実現します。

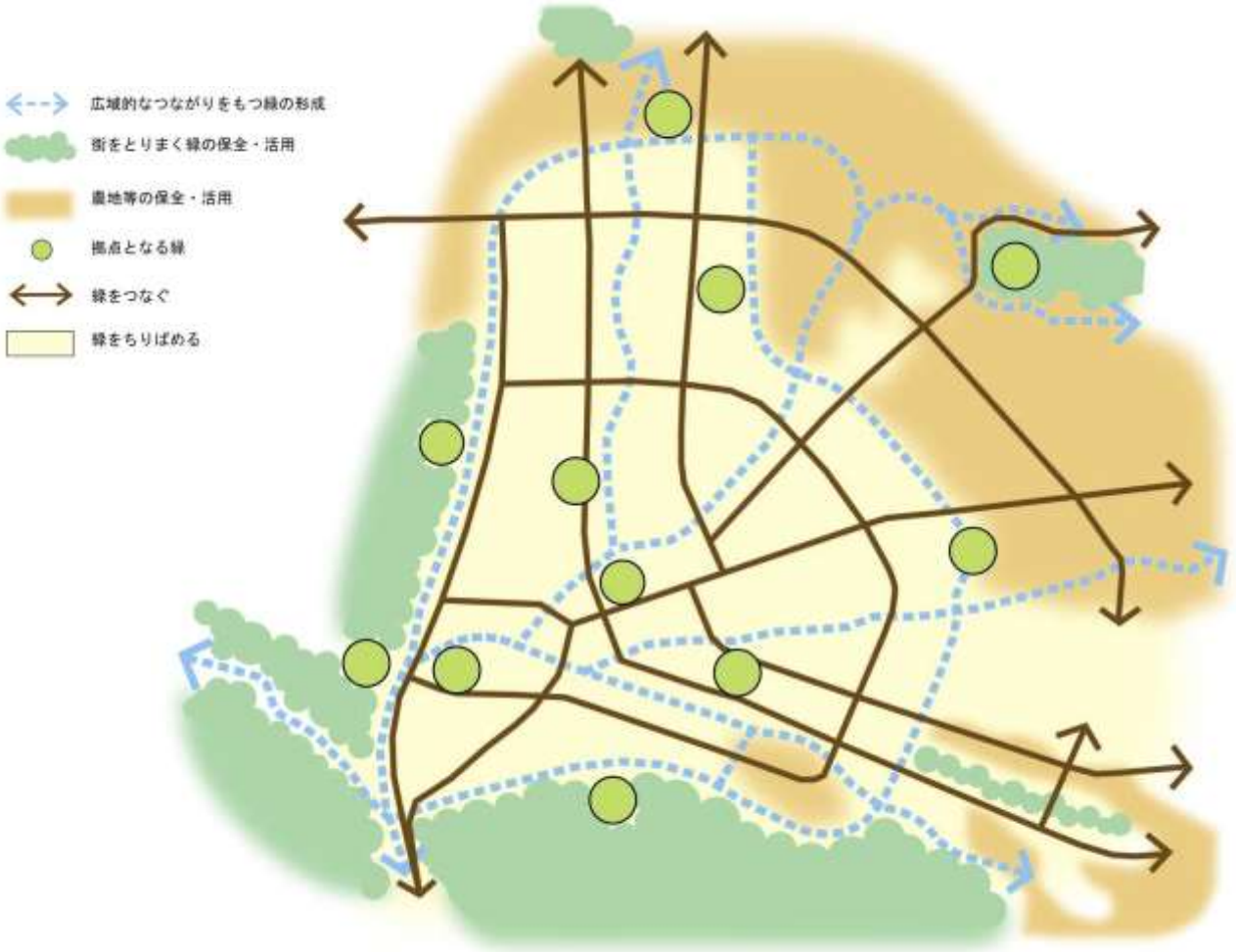
３．緑をちりばめる

公園や住まいのまわりの緑は，遊びや憩いの空間となり，四季のうつろいを感じさせ，暮らしに潤いをもたらします。こうした小さな緑の集まりは，街全体を印象づける大きな要因にもなります。豊かな暮らしを実現していくために，使いやすい場所に地域に適した個性的な公園緑地を整備していくことはもちろん，地区センターや学校などの公的施設，私たちの住まいのまわりにも緑を増やしていくように努めます。

4．緑を磨く

自然や緑は，市民共有の財産であり，みんなで一緒に守り育てていくべきものと考えます。自然との共生を考え，地球環境を思いやる心を育むことで，緑の質を高め，豊かな自然と緑の街としての資質を持つ旭川の本来の魅力を引き出すことが可能です。そのために，みんなで考える土台づくりや援助する仕組みを検討します。また，冬期も快適に暮らせるまちづくりを行うほか，市民参加で公園をつくったり，緑の管理などについても見直しを図ります。

■緑の概念図



③ 前計画の施策の体系

基本方針	施策の柱	主要な施策	総合計画重点目標
緑の骨格をつくる	まちをとりまく緑の保全・活用	●特別緑地保全地区等の指定	⑤⑦⑨
		●ふれあいの森づくり・市民緑地の活用	⑤
		●緑化基金見直しの検討	⑤
	広域的なつながりをもつ緑の形成	●グリーンベルト整備の促進	⑤⑨
		●自然の保全等個性ある主要河川の整備	⑤⑦⑨
		●生態系に配慮した緑地の整備	②⑤
	まちを特徴づける主要道路の緑化推進	●まちのシンボルとなる道路緑化の推進	⑦
		●まちへ迎える道路緑化の推進	⑦
		●都市景観形成事業との連携	⑦
	まちの拠点・シンボルとなる緑の創出	●拠点となる都心の公園の整備	⑦
		●特徴ある大きな公園の整備	④
	農地等の保全・活用	●休耕地・転作農地の活用	⑦
		●市民農園の整備	②
緑をつなぐ	川のまちを活かした緑の創出	●小河川の緑化	⑤⑦
		●河川敷地等の有効利用の検討	⑤⑦
		●多自然型の川づくり	⑤
	まち並みを整え防災にも役立つ緑の形成	●都心の緑のネットワーク形成	⑦
		●街路樹等の整備の促進	⑦
		●JR沿線の緑化	⑦
緑をちりばめる	公園緑地の整備促進	●既存公園の再整備	⑦
		●身近な公園の整備推進	⑤⑦
		●多様な公園整備の実施	④
	公共公益施設の緑化	●景観事業との連携	⑤⑦
		●公共施設緑化マニュアルの作成	⑤⑦
		●公共公益施設の避難地機能を強化する緑化推進	④
	地域のシンボルとなる緑づくり	●地域の核となる施設周辺の積極的な緑化	⑤⑦
		●保護樹・保護樹林の指定	⑤⑨
		●社寺林の保全	⑤⑦⑨
	地域を彩る花と緑の育成	●道路・河川の未利用空地の緑化	⑤⑦
		●路傍樹の保全と創出	⑤⑦
		●花による緑化の推進	⑦
	民有地の緑化	●緑地協定の締結促進	⑤⑦
		●景観条例の充実化	⑦
		●緑のリサイクル事業の展開	⑤
		●窓辺緑化に対する助成制度の創設	⑦
	水と緑のオアシスづくり	●橋詰空間の緑化	⑦
		●調整池緑地の整備	⑦
		●水に親しめる施設の整備推進	⑦
緑を磨く	緑の魅力を引き出す管理運営の推進	●緑のセンターの充実・強化	①②
		●住民参加による公園計画の推進	②
		●管理体制の強化・充実	①②
	冬の魅力づくり	●冬の公園利用促進	②
		●雪に映える樹木の植栽	⑦
		●ウインターイベントの企画・運営	②
	地域ぐるみの緑化とみどりの管理検討	●緑化手引きの作成配付	②
		●町内会などによる地域緑化の推進	①⑧
		●リサイクル事業の推進	⑤
	啓発活動の推進	●表彰制度の充実	①②
		●緑の広報の強化	①②
		●環境教育の充実	②⑨
		●公的な緑化活動の企画・運営	②
		●市民主体の緑化活動の支援	①⑧

※総合計画重点目標

緑の基本計画の主要な施策と，第７次旭川市総合計画の基本計画に示された重点目標と関係が強いものを表すため記載した総合計画重点目標の番号を示したもの

④ 前計画の重点施策

平成17年の見直し時に，施策の体系を推進していくため，「基本姿勢」に基づき，６つの重点施策を定めています。

［基本姿勢］
ハードからソフトへみどりづくりの中心的施策を転換していく

今後はこれまでの緑化政策に加え，民有地の緑化や今あるみどりの保全，新しいみどりの育生を制度の充実化などを通して進めるソフトを中心とした緑化政策を施策の中心に据え，市民や関係各課・関係機関と協働・連携しながら総合的に展開していきます。

基本的な考え方　1:みどりの地域間格差の是正

公園配置やみどりの地域格差是正，グリーンベルトの実現，みどりのネットワーク化などみどりの育生を柱に据え，生態系や生物多様性にも配慮しつつ，みどりの将来像の具体化を目指します。

基本的な考え方　2:関係各課との連携強化

関係各課との連携を強化し，公園みどり課の事業だけでなく，他部門の施策の中でもみどりの育生を図っていきます。

基本的な考え方　3:市民との協働とみどりの情報発信

市民活動を促進するように努めるとともに，市民との協働を通して，みどりについての情報を集め，発信していきます。

［６つの重点施策］

重点施策１：多様な手法を用いた公園緑地整備の促進
重点施策２：緑を保全・育生する制度の整備と総合的な運用
重点施策３：関係部署・機関との連携の強化と実行
重点施策４：災害に対処できる計画的，効果的な公園配置や機能分担の実施
重点施策５：市民等との協働による緑の保全・育生や公園緑地の利活用
重点施策６：市民等との協働による情報の収集・発信の充実化

4-4)緑の基本計画の達成状況

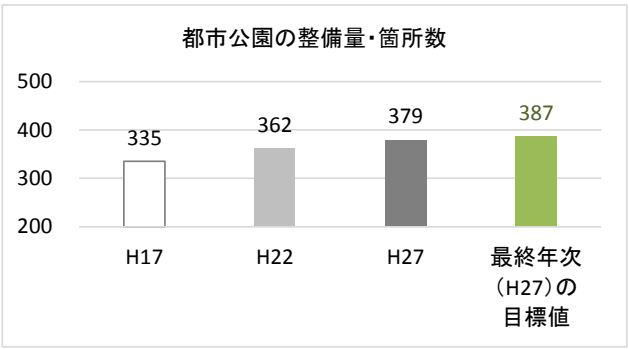
① 計画目標の達成状況

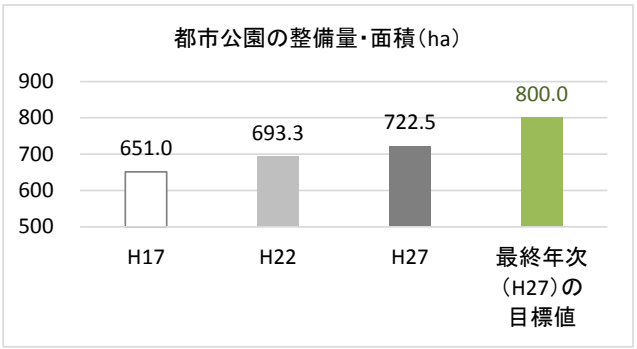
緑の基本計画の計画期間（後期）である平成１７～２７年に対し，平成２７年度時点での主な計画目標の達成状況は，一部に進捗の遅れがあるものの，概ね堅実な進捗状況にあります。

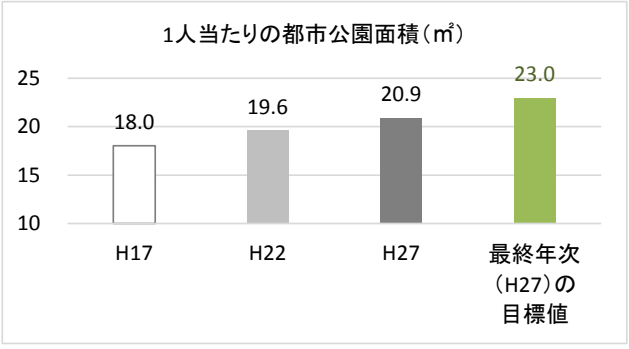
■主な計画目標の達成状況

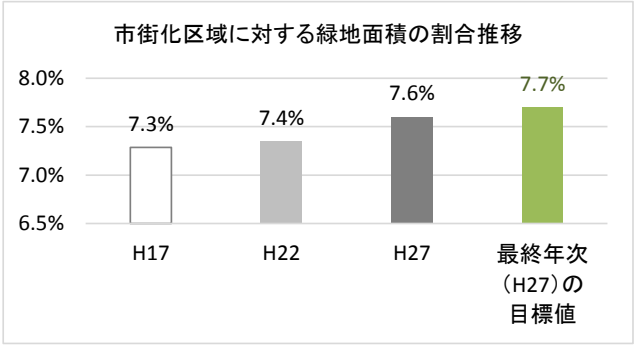
	平成17年値	平成27年現在値	最終年次(H27)の目標値
都市公園の整備量	（335 ヶ所） 651.0 ha	（379 ヶ所） 722.5 ha	（387 ヶ所） 800 ha
1人当たりの都市公園面積	18 ㎡/人	20.9 ㎡/人	23 ㎡/人
市街化区域に対する緑地面積の割合の推移	7.3 %	7.6 %	7.7 %
市街化区域面積の推移(参考)	7,958 ha	7,957 ha	7,957 ha
市街化区域人口の推移(参考)	344 千人	346 千人	333 千人

※個別の統計データを掲載しているため、計算結果が一致しない場合がある







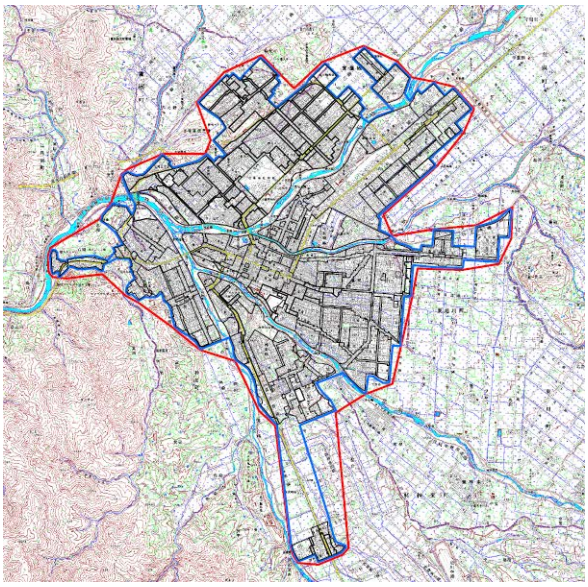


5　平成26年度(2014年度)緑被現況調査の概要

5-1) 調査方法

① 使用画像データ

緑被判読のための画像データは，光学衛星により撮影した衛星写真（プレアデス）を使用する。データの範囲は，旭川市の市街化区域の全域を使用する。

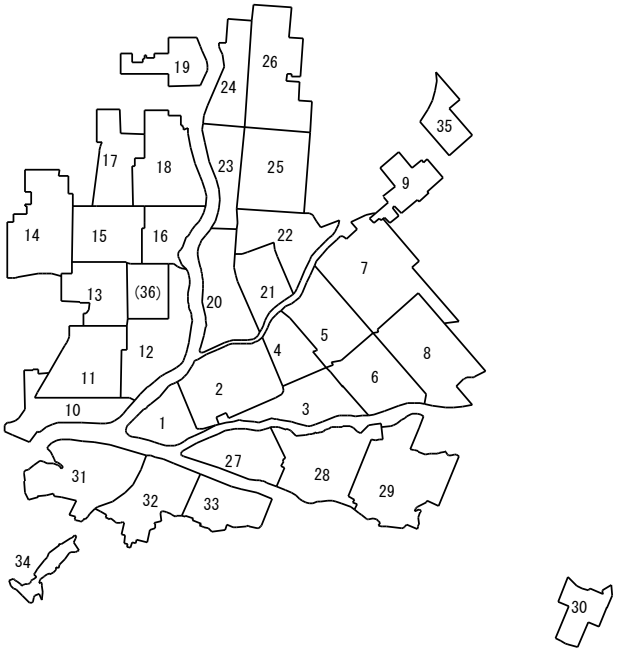


■衛星画像データ（全区域）
撮影日：平成26年(2014年)8月31日
座標：ＪＧＤ2011（12系)。

② 地区区分

緑被判読の算出は，旭川市内の市街化区域（7,957ha）にて行う。市街化区域内を３５の地区に細分化（前回の緑被調査時の地区分けと同じ）して各地区の衛星画像の切出しを行う。

■市街化区域区分け（３５地区）



■地区区分一覧

1	中央西地区
2	既存都心地区
3	宮前地区
4	中央東地区
5	豊岡地区
6	東光西地区
7	愛宕地区
8	東光東地区
9	東旭川地区
10	近文地区
11	北里地区
12	大町・川端地区
13	住吉・春光町地区
14	春光台地区
15	末広西・春光地区
16	末広東・春光地区
17	末広北地区
18	末広北東地区

19	東鷹栖地区
20	新旭川地区
21	パルプ地区
22	永山南地区
23	流通団地地区
24	永山北地区
25	永山西地区
26	永山地区
27	神楽地区
28	神楽岡地区
29	緑が丘地区
30	西神楽地区
31	忠和地区
32	神居北地区
33	神居南地区
34	台場地区
35	日ノ出地区

③ 画像加工・緑被の抽出

各地域区分単位で衛星画像の切出しを行う。

画像判別ソフトにより，画像中の緑色部分の抽出を行う。（2値化処理）

元画像を確認しながら，抽出レベルの範囲（色相，彩度，明度）を調整して算出する。

④ 緑被の区分

2値化処理を行ったデータは，自動抽出であるので植生と同色の人工構造物等がノイズとして含まれている。これらは，元画像との比較を目視で行い除去する。また，下記に示す4区分についても元画像より目視判断を行い細分化している。

■緑被地の区分

区　　分	内　　容	判別色
草　　地	芝地，草地	白
樹　　木	樹木（枝張り部分）	青
田　　畑	田・畑・休耕地	緑
水　　辺	池・河川等の水面	赤

各地区における4色の画素数をそれぞれ算出し，緑被率の算出を行っている。

$$\text{緑被率（\%）} = \frac{\text{草地面積} + \text{樹木面積} + \text{田畑面積} + \text{水辺面積}}{\text{対象区域面積}} \times 100$$

5-2) 地区別緑被調査結果（H17→H26の変化）※河川区域面積算入した場合

【減少の主な要因】
- 建物施設（住宅・商工業施設等）や駐車場整備による緑の減少
- 草地の裸地化

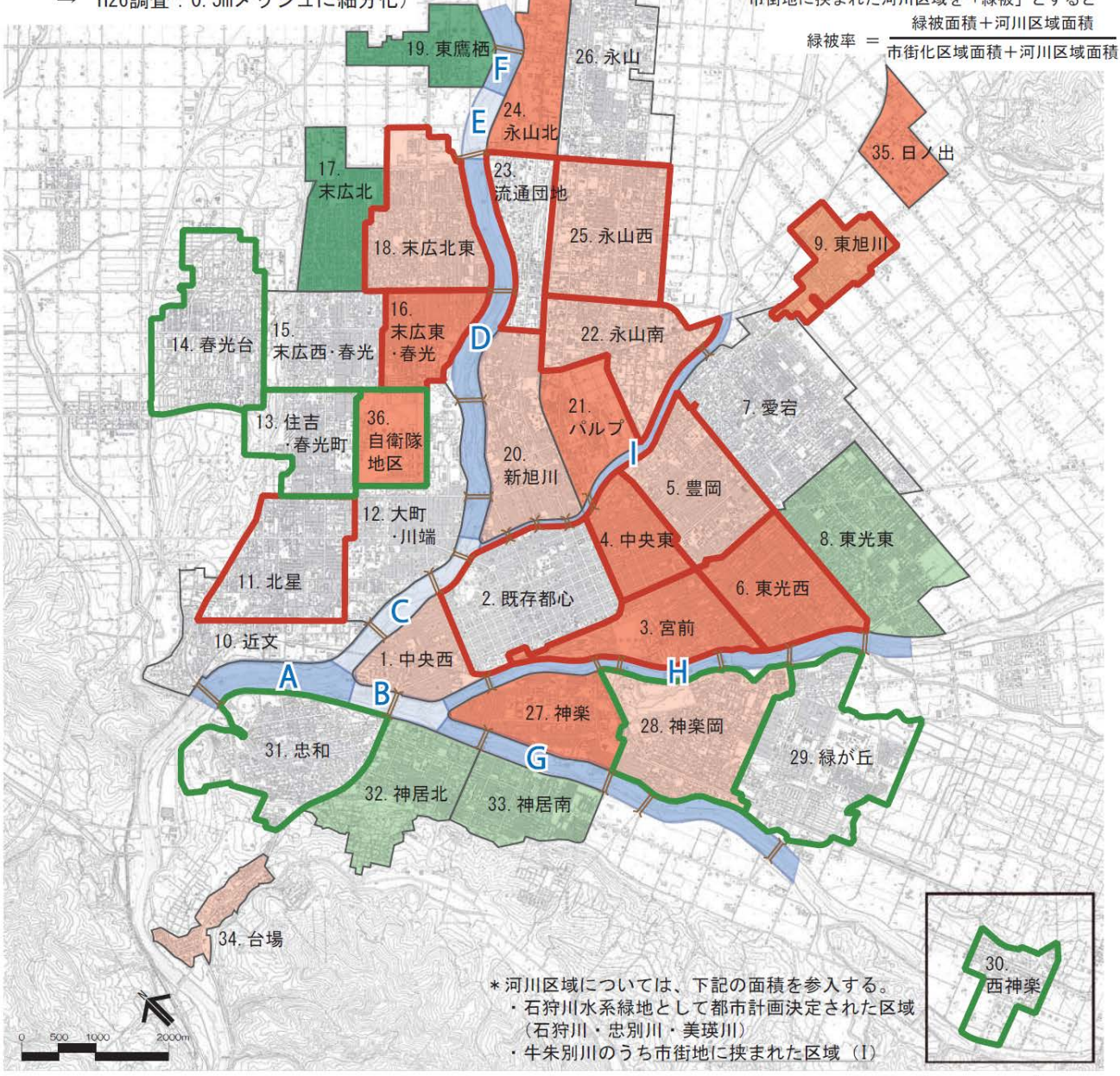
【増加の主な要因】
- 樹木の成長
- 写真精度の向上による細部箇所の算出
  （H17調査：5mメッシュ
  → H26調査：0.5mメッシュに細分化）

	H17	H26	前回調査時との差
市街化区域の緑被面積（緑被率）	1,756.1 ha（22.07%）	1,668.5 ha（20.97%）	87.6 ha（-1.10%）
〃 【河川区域含む】	2,564.3 ha（29.26%）	2,476.7ha（28.26%）	87.6 ha（-1.00%）

■地区全体面積（36.自衛隊地区を除く）7,957 ha
■河川区域面積（A～I）808.2 ha

市街地に挟まれた河川区域を「緑被」とすると

$$緑被率 = \frac{緑被面積＋河川区域面積}{市街化区域面積＋河川区域面積}$$



＊河川区域については、下記の面積を参入する。
- 石狩川水系緑地として都市計画決定された区域（石狩川・忠別川・美瑛川）
- 牛朱別川のうち市街地に挟まれた区域（I）

	緑被率が 30%以上
	〃 15%以上30%未満
	〃 15%未満

	3%以上の増加
	1%以上 〃
	1%未満の増減
	1%以上の減少
	3%以上 〃

		面積(ha)
石狩川	A	93.3
	B	45.9
	C	75.1
	D	176.1
	E	32.6
	F	44.9
美瑛川	G	149.3
忠別川	H	128.1
牛朱別川	I	62.9
計		808.2

■地区別緑被調査集計表（平成26年度(2014年度)）

地区名		今回調査																	
		地区面積（ha）	樹木				草地				田畑				水辺				合計			
			（㎡）	（%）	前回(%)	前回調査時との差(%)	（㎡）	（%）	前回(%)	前回調査時との差(%)	（㎡）	（%）	前回(%)	前回調査時との差(%)	（㎡）	（%）	前回(%)	前回調査時との差(%)	（㎡）	（%）	前回(%)	前回調査時との差(%)
1	中央西地区	145.0	78,445	5.41%	4.90%	0.51%	159,065	10.97%	14.06%	-3.09%	17,835	1.23%	0.46%	0.77%	4,205	0.29%	0.30%	-0.01%	259,550	17.90%	19.72%	-1.82%
2	既存都心地区	323.5	214,157	6.62%	5.52%	1.10%	126,488	3.91%	4.71%	-0.80%	323	0.01%	0.00%	0.01%	15,851	0.49%	0.49%	0.00%	356,820	11.03%	10.72%	0.31%
3	宮前地区	213.9	75,720	3.54%	3.14%	0.40%	212,402	9.93%	19.90%	-9.97%	26,737	1.25%	1.03%	0.22%	1,069	0.05%	0.05%	0.00%	315,930	14.77%	24.12%	-9.35%
4	中央東地区	139.3	59,063	4.24%	3.51%	0.73%	79,540	5.71%	8.86%	-3.15%	14,208	1.02%	1.61%	-0.59%	2,646	0.19%	0.19%	0.00%	155,458	11.16%	14.17%	-3.01%
5	豊岡地区	235.0	102,695	4.37%	3.76%	0.61%	172,020	7.32%	11.33%	-4.01%	23,500	1.00%	0.40%	0.60%	17,625	0.75%	0.74%	0.01%	315,605	13.43%	16.23%	-2.80%
6	東光西地区	231.0	63,756	2.76%	1.75%	1.01%	183,876	7.96%	14.87%	-6.91%	60,522	2.62%	0.91%	1.71%	4,158	0.18%	0.17%	0.01%	312,081	13.51%	17.70%	-4.19%
7	愛宕地区	425.8	106,450	2.50%	0.49%	2.01%	562,481	13.21%	14.78%	-1.57%	61,315	1.44%	1.32%	0.12%	13,199	0.31%	0.25%	0.06%	743,446	17.46%	16.84%	0.62%
8	東光東地区	341.5	77,520	2.27%	0.47%	1.80%	363,697	10.65%	12.96%	-2.31%	77,520	2.27%	0.71%	1.56%	12,294	0.36%	0.23%	0.13%	531,374	15.56%	14.37%	1.19%
9	東旭川地区	126.5	56,419	4.46%	2.27%	2.19%	93,610	7.40%	14.20%	-6.80%	29,095	2.30%	3.41%	-1.11%	379	0.03%	0.07%	-0.04%	179,503	14.19%	19.95%	-5.76%
10	近文地区	194.8	174,735	8.97%	6.64%	2.33%	337,198	17.31%	19.89%	-2.58%	42,466	2.18%	1.48%	0.70%	10,714	0.55%	0.59%	-0.04%	565,114	29.01%	28.60%	0.41%
11	北星地区	266.9	89,411	3.35%	2.85%	0.50%	217,790	8.16%	10.34%	-2.18%	67,525	2.53%	1.79%	0.74%	6,405	0.24%	0.25%	-0.01%	381,133	14.28%	15.23%	-0.95%
12	大町・川端地区	278.3	219,022	7.87%	5.70%	2.17%	339,247	12.19%	14.11%	-1.92%	37,570	1.35%	1.19%	0.16%	1,113	0.04%	0.04%	0.00%	596,953	21.45%	21.04%	0.41%
13	住吉・春光町地区	189.5	396,434	20.92%	19.76%	1.16%	299,599	15.81%	17.13%	-1.32%	21,224	1.12%	1.60%	-0.48%	9,854	0.52%	0.55%	-0.03%	727,301	38.38%	39.04%	-0.66%
14	春光台地区	314.0	258,108	8.22%	7.21%	1.01%	634,594	20.21%	22.96%	-2.75%	86,036	2.74%	1.38%	1.36%	628	0.02%	0.02%	0.00%	979,366	31.19%	31.57%	-0.38%
15	末広西・春光地区	216.4	334,121	15.44%	16.09%	-0.65%	258,165	11.93%	11.78%	0.15%	34,191	1.58%	1.83%	-0.25%	5,410	0.25%	0.25%	0.00%	631,888	29.20%	29.95%	-0.75%
16	末広東・春光地区	149.8	57,822	3.86%	2.85%	1.01%	118,941	7.94%	13.22%	-5.28%	21,121	1.41%	0.45%	0.96%	0	0.00%	0.02%	-0.02%	197,736	13.20%	16.54%	-3.34%
17	末広北地区	189.0	57,456	3.04%	2.36%	0.68%	330,372	17.48%	15.86%	1.62%	34,587	1.83%	0.95%	0.88%	11,529	0.61%	0.65%	-0.04%	433,755	22.95%	19.82%	3.13%
18	末広北東地区	283.8	53,070	1.87%	1.35%	0.52%	283,232	9.98%	14.09%	-4.11%	72,936	2.57%	1.32%	1.25%	0	0.00%	0.00%	0.00%	409,239	14.42%	16.76%	-2.34%
19	東鷹栖地区	137.5	33,962	2.47%	1.83%	0.64%	150,287	10.93%	10.80%	0.13%	72,875	5.30%	2.10%	3.20%	0	0.00%	0.00%	0.00%	257,262	18.71%	14.73%	3.98%
20	新旭川地区	255.5	70,007	2.74%	2.05%	0.69%	254,733	9.97%	13.26%	-3.29%	60,553	2.37%	0.78%	1.59%	2,810	0.11%	0.11%	0.00%	388,104	15.19%	16.20%	-1.01%
21	パルプ地区	156.3	131,917	8.44%	7.47%	0.97%	296,501	18.97%	26.08%	-7.11%	2,813	0.18%	0.08%	0.10%	7,033	0.45%	0.59%	-0.14%	438,265	28.04%	34.22%	-6.18%
22	永山南地区	233.4	59,750	2.56%	1.37%	1.19%	112,032	4.80%	9.33%	-4.53%	104,796	4.49%	0.00%	4.49%	8,402	0.36%	0.39%	-0.03%	285,214	12.22%	11.09%	1.13%
23	流通団地地区	155.5	51,159	3.29%	1.60%	1.69%	111,182	7.15%	8.58%	-1.43%	10,574	0.68%	0.47%	0.21%	933	0.06%	0.00%	0.06%	174,004	11.19%	10.65%	0.54%
24	永山北地区	176.8	75,670	4.28%	3.45%	0.83%	192,712	10.90%	15.85%	-4.95%	66,653	3.77%	4.76%	-0.99%	2,828	0.16%	0.00%	0.16%	338,041	19.12%	24.06%	-4.94%
25	永山西地区	292.9	79,375	2.71%	0.94%	1.77%	174,275	5.95%	11.79%	-5.84%	117,160	4.00%	1.85%	2.15%	3,514	0.12%	0.20%	-0.08%	374,326	12.78%	14.78%	-2.00%
26	永山地区	344.5	122,642	3.56%	1.40%	2.16%	443,716	12.88%	14.28%	-1.40%	133,321	3.87%	5.64%	-1.77%	5,512	0.16%		0.09%	705,536	20.48%	21.39%	-0.91%
27	神楽地区	201.5	191,425	9.50%	4.66%	4.84%	185,380	9.20%	19.24%	-10.04%	48,964	2.43%	1.33%	1.10%	2,418	0.12%	0.11%	0.01%	428,389	21.26%	25.34%	-4.08%
28	神楽岡地区	319.1	663,728	20.80%	16.55%	4.25%	287,190	9.00%	15.20%	-6.20%	88,709	2.78%	2.04%	0.74%	4,786	0.15%	0.22%	-0.07%	1,044,414	32.73%	34.01%	-1.28%
29	緑が丘地区	393.4	398,514	10.13%	4.84%	5.29%	822,599	20.91%	25.26%	-4.35%	59,403	1.51%	2.11%	-0.60%	3,540	0.09%	0.00%	0.09%	1,284,451	32.65%	32.21%	0.44%
30	西神楽地区	115.8	121,705	10.51%	5.64%	4.87%	180,879	15.62%	21.90%	-6.28%	48,172	4.16%	2.96%	1.20%	115	0.01%	0.05%	-0.04%	350,874	30.30%	30.55%	-0.25%
31	忠和地区	325.4	459,139	14.11%	10.71%	3.40%	490,052	15.06%	20.63%	-5.57%	109,009	3.35%	1.17%	2.18%	11,714	0.36%	0.24%	0.12%	1,069,589	32.87%	32.75%	0.12%
32	神居北地区	243.3	352,298	14.48%	10.64%	3.84%	225,052	9.25%	14.05%	-4.80%	108,998	4.48%	1.07%	3.41%	0	0.00%	0.00%	0.00%	686,349	28.21%	25.76%	2.45%
33	神居南地区	175.2	84,972	4.85%	2.55%	2.30%	181,857	10.38%	15.72%	-5.34%	112,653	6.43%	1.83%	4.60%	2,978	0.17%	0.12%	0.05%	382,461	21.83%	20.22%	1.61%
34	台場地区	62.1	45,395	7.31%	8.28%	-0.97%	85,946	13.84%	17.50%	-3.66%	10,805	1.74%	0.07%	1.67%	0	0.00%	0.00%	0.00%	142,146	22.89%	25.85%	-2.96%
35	日ノ出地区	104.8	86,669	8.27%	4.10%	4.17%	153,427	14.64%	28.52%	-13.88%	2,515	0.24%	0.10%	0.14%	419	0.04%	0.10%	-0.06%	242,926	23.18%	32.82%	-9.64%
36	自衛隊地区	123.8	114,391	9.24%	9.01%	0.23%	371,523	30.01%	35.47%	-5.46%	0	0.00%	0.00%	0.00%	8,542	0.69%	0.50%	0.19%	494,457	39.94%	44.98%	-5.04%
	合計（自衛隊除く）	7,957.0	5,502,731	6.92%	5.04%	1.88%	9,120,137	11.48%	15.33%	-3.85%	1,886,684	2.37%	1.49%	0.88%	174,081	0.22%	0.21%	0.01%	16,684,603	20.97%	22.07%	-1.10%
	〃（自衛隊含む）	8,080.8	5,617,122	6.95%	5.18%	1.77%	9,491,660	11.77%	15.88%	-4.11%	1,886,684	2.34%	1.49%	0.85%	182,623	0.23%	0.21%	0.02%	17,179,060	21.26%	22.76%	-1.50%

※前回値との比較条件

・比較のための区域設定はH26区域とする。

・区域面積の算出は図上決定しCAD算出をした値である。

・H17調査値については、区域の形状が現在と一部異なっているので今回区域にあわせた値に補正しH26調査値と対比を行っているものである。

■前回調査時との差

- 3%以上減少
- 3%未満の増減
- 3%以上増加

■今回の全体緑被率

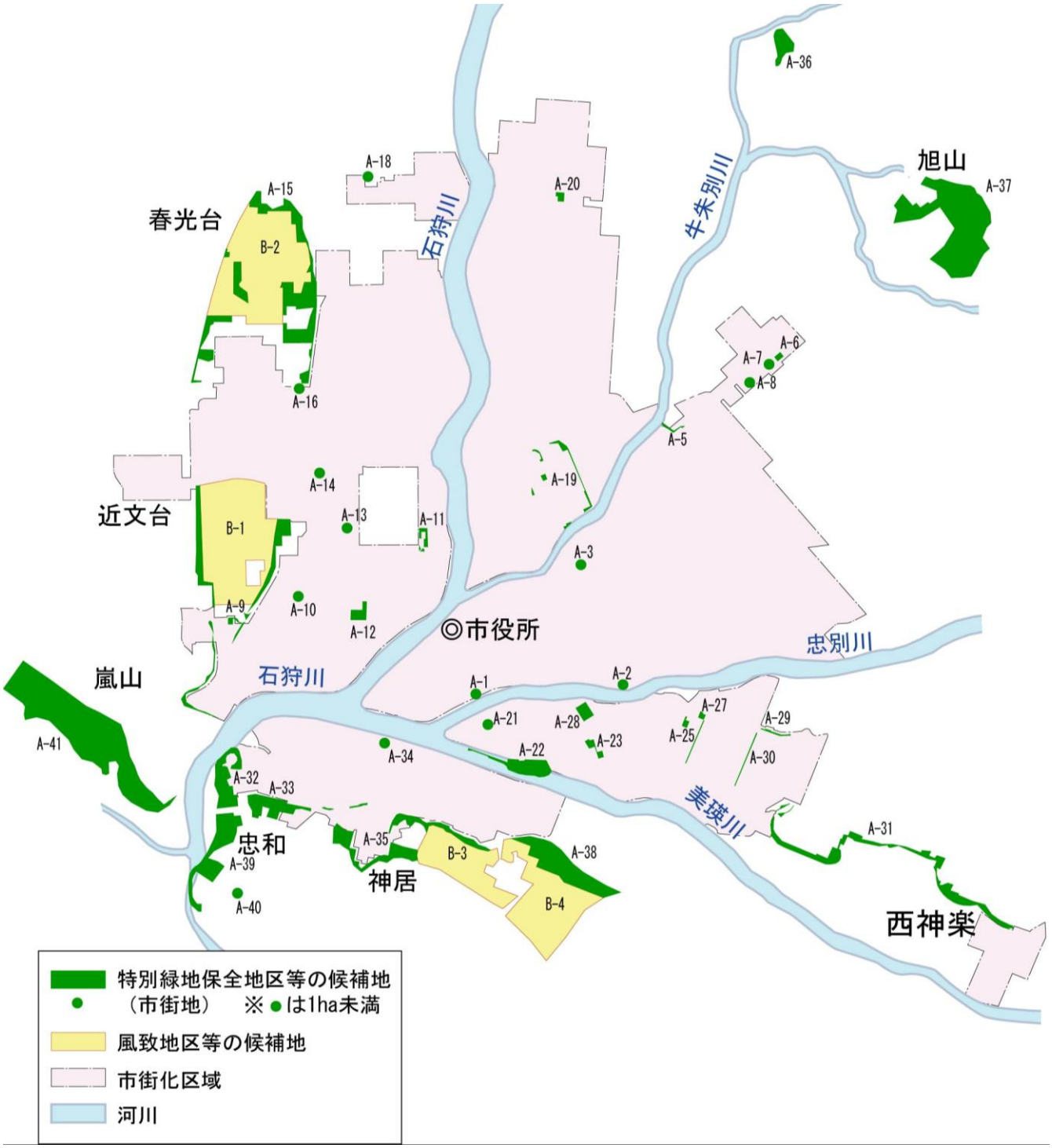
- 15%未満
- 15%以上30%未満
- 30%以上

6 保全を検討すべき樹林地

旭川市には斜面緑地や丘陵地，社寺，学校などの良好な樹林地が残されており，防災や涵養，文化や景観などの観点からも重要な存在となっています。このような貴重な樹林地を守り育てていくために，法律や条例等に基づく制度により保全すべき樹林地は，次のとおり，41箇所・約1,370haとなっています。

＊関連施策：c-3-2，d-1-2，e-2-3

■保全を検討すべき樹林地（候補）



■保全を検討すべき樹林地（候補）の一覧

【特別緑地保全地区等指定候補の一覧】

地区番号	対照番号	名　　称	地区面積（ha）	備　　考
2	A-1	東本願寺	0.30	
3	A-2	南6条川	0.50	
4	A-3	基北川	0.20	
7	A-5	難波田川	1.10	
9	A-6	旭川神社	1.10	
	A-7	旭川中学校	0.20	
	A-8	光明寺	0.10	
10	A-9	近文台一帯	40.90	
11	A-10	北光小学校(ふれあいの森)	0.80	
12	A-11	護国神社	2.70	
	A-12	北海道教育大学旭川分校	5.20	
13	A-13	教育大学付属旭川小中学校	0.70	
	A-14	北鎮小学校隣接地	0.90	
市街化調整区域	A-15	春光台	86.40	
15	A-16	鷹栖神社	0.80	
市街化調整区域	A-18	興国神社	1.00	
21	A-19	日本製紙周辺	6.20	
26	A-20	永山神社	1.70	
27	A-21	旧旭川営林支局みどり荘	0.20	
	A-22	外国樹種見本林	18.42	地区外エリアあり
28	A-23	神楽岡8条1丁目	2.80	
	A-25	神楽岡3条6丁目	1.10	
	A-27	緑が丘1丁目緩衝樹林帯	1.00	
	A-28	上川神社	4.90	
29	A-29	旭神斜面地(緑が丘ふれあいの森を含む)	2.10	
	A-30	緑が丘7丁目緩衝緑地帯	1.40	
29～30	A-31	西御料・西神楽(環境緑地保護地区を含む)	44.90	
31	A-32	北海道東海大学	24.90	
	A-33	忠和斜面地(雪の美術館を含む)	21.00	
市街化調整区域	A-34	忠別太駅逓跡周辺	0.10	
	A-35	神岡斜面地(環境緑地保護地区を含む)	43.00	地区外エリアあり
	A-36	桜岡	12.00	
	A-37	旭山	126.20	
	A-38	富沢(環境緑地保護地区を含む)	51.90	
	A-39	台場	38.20	
34	A-40	小鳥の森(ふれあいの森を含む)	0.80	
市街化調整区域	A-41	嵐山	182.00	
合計		37ヶ所	727.72	

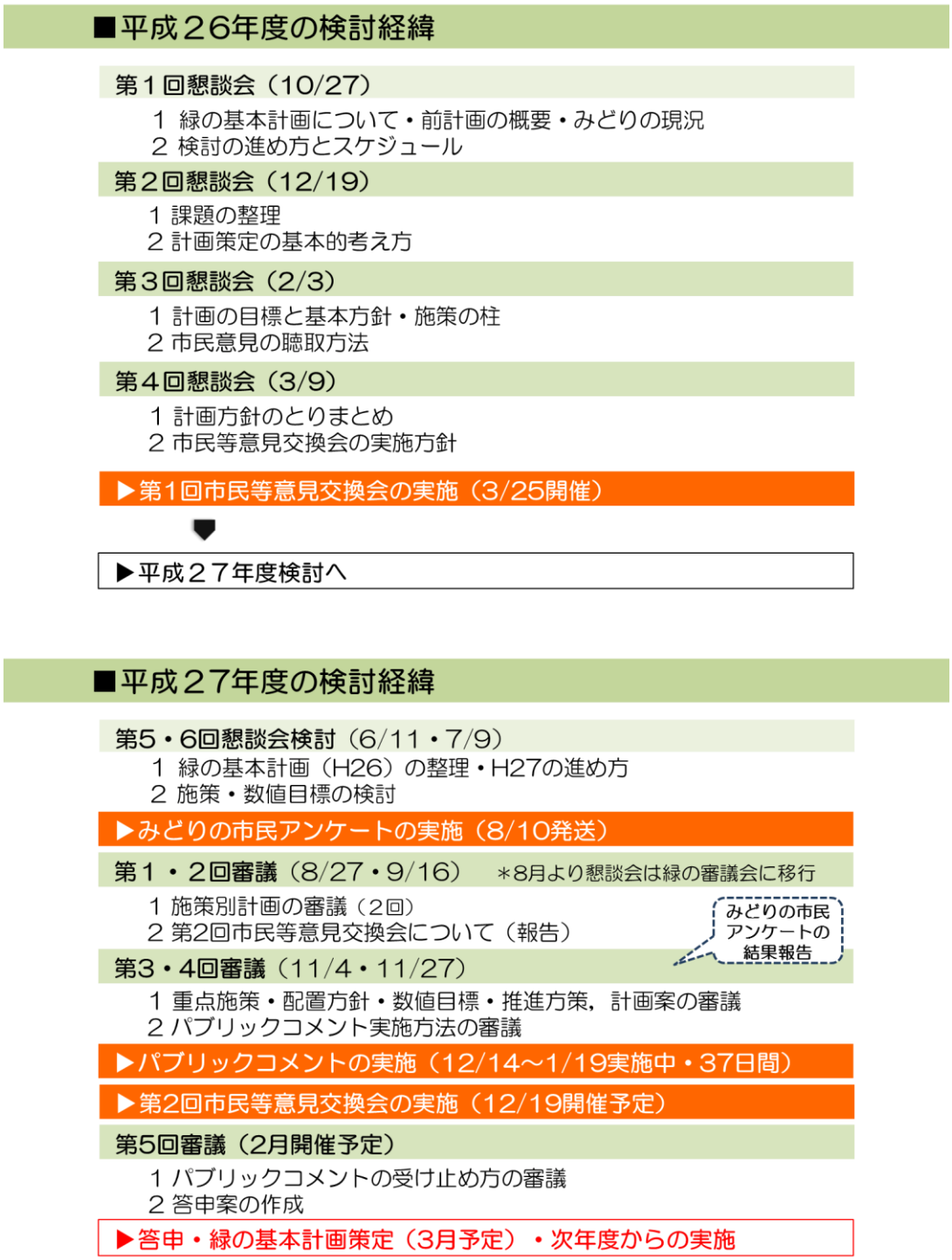
【風致地区等指定候補の一覧】

地区番号	対照番号	名　　称	地区面積（ha）	備　　考
市街化調整区域	B-1	近文台一帯	202.40	
	B-2	春光台	211.10	
	B-3	神岡斜面地	93.30	
	B-4	富沢	134.70	
合計		4ヶ所	641.50	

合計	41ヶ所	1,369.22

※他の地域制緑地・施設緑地との重複を含む

7　計画の検討経緯

第２次旭川市みどりの基本計画は，平成２６年度・平成２７年度（２０１４・2015年度）の２か年をかけて，旭川市緑の審議会（会長：江口尚文　旭川大学経済学部教授　＊平成２７年８月までは旭川市緑の基本計画検討懇談会）で検討が進められてきました。また，平成２６年３月には第１回市民等意見交換会を開催し，計画の目標や基本方針へのご意見をいただいています。

■第２次旭川市緑の基本計画の検討経緯